平成２４年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
閲覧特記事項書

１．工事実績情報登録

工事実績情報の登録について、契約締結後１０日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

２．かし担保：特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律の手続については本工事の範囲として請負者の負担にて行うこと。

３．官庁その他への手続き関係

イ）工事施工に必要な諸手続き（建築確認申請及び建築基準法の仮使用申請手続きを除く)、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ）本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

４．下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷町内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

５．建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

６．諸検査等について

建築確認検査、消防検査、役場検査等の諸検査も工期に含むものとする。

７．縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（二つ折りＡ－４版製本）３部を提出すること。

平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事　参考躯体数量表

科　　目	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	増　築　棟	備　　考
1.コンクリート工事	捨コンクリート	FC-18N S=15	8.2	m3		
	基礎コンクリート	FC-21N＋3N S=15	114.0	m3		
	土間コンクリート	FC-21N＋3N S=15	31.0	m3		
	躯体コンクリート	FC-21N＋3N S=18	402.0	m3		
2.型枠	普通合板型枠	基礎部	446.0	m2		
	普通合板型枠	地上軸部	2,000.0	m2		
	打放合板型枠B種	地上軸部	815.0	m2		
3.鉄筋工事	異形鉄筋	SD295A　D10	13.2	t		
	異形鉄筋	SD295A　D13	37.5	t		
	異形鉄筋	SD295A　D16	2.4	t		
	異形鉄筋	SD345　D19	0.5	t		
	異形鉄筋	SD345　D22	4.4	t		
	異形鉄筋	SD345　D25	25.2	t		

※注
1.この数量書に記載されている数量は、建築積算研究会制定「建築数量積算基準」に基づいて積算した数量です。
2.この数量書は参考数量であって、設計図書ではありません、内容の如何に係わらず、契約上何事の拘束をするものではありません。
3.この数量書は設計寸法に基づく計算数量です、内訳書に用いる所要数量とは異なりますので御了承ください。

平成２４年度　富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図　面　リ　ス　ト

建築意匠図				構造図		電気設備図		機械設備図	
図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
Ａ－　１	特記仕様書（１）	Ａ－２１	展開図（２）	Ｓ－　１	構造設計標準仕様書	Ｅ－　１	特記仕様書	Ｍ－　１	機械設備工事特記仕様書
Ａ－　２	特記仕様書（２）	Ａ－２２	1階天井伏図	Ｓ－　２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	Ｅ－　２	配置図	Ｍ－　２	機器表・器具表
Ａ－　３	特記仕様書（３）	Ａ－２３	２，３階天井伏図	Ｓ－　３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	Ｅ－　３	照明器具姿図・火災報知設備系統図 ・防災区画貫通処理図	Ｍ－　３	配置図
Ａ－　４	特記仕様書（４）	Ａ－２４	１階建具・家具配置図	Ｓ－　４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）	Ｅ－　４	電灯設備１階平面図	Ｍ－　４	給排水衛生設備１階平面図
Ａ－　５	配置図・案内図・仕上表・面積表	Ａ－２５	２階建具・家具配置図	Ｓ－　５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）	Ｅ－　５	電灯設備２階平面図	Ｍ－　５	給排水衛生設備２階平面図
Ａ－　６	面 積 算 定 図	Ａ－２６	３階建具・家具配置図	Ｓ－　６	各階伏図	Ｅ－　６	電灯設備３階平面図	Ｍ－　６	給排水衛生設備３階平面図
Ａ－　７	現況状況図・仮設計画図	Ａ－２７	既存校舎建具表（１）	Ｓ－　７	軸組図（１）	Ｅ－　７	コンセント設備１階平面図	Ｍ－　７	給排水衛生設備便所詳細図
Ａ－　８	現況配置図	Ａ－２８	既存校舎建具表（２）	Ｓ－　８	軸組図（２）	Ｅ－　８	コンセント設備２階平面図	Ｍ－　８	暖房設備１階平面図
Ａ－　９	既存校舎取合い撤去詳細図	Ａ－２９	既存校舎建具表（３）及び増築校舎建具表	Ｓ－　９	基礎リスト	Ｅ－　９	コンセント設備３階平面図	Ｍ－　９	暖房設備２階平面図
Ａ－１０	１階平面図	Ａ－３０	家具リスト	Ｓ－１０	地中大梁リスト 地中小梁リスト 柱リスト			Ｍ－１０	暖房設備３階平面図
Ａ－１１	２階平面図	Ａ－３１	外部 EXP.J・各部詳細１	Ｓ－１１	大梁リスト			Ｍ－１１	換気設備１階平面図
Ａ－１２	３階平面図	Ａ－３２	内部 EXP.J 詳細１	Ｓ－１２	小梁リスト 床版リスト 壁リスト 雑配筋図			Ｍ－１２	換気設備２階平面図
Ａ－１３	屋根伏図	Ａ－３３	各部詳細図２	Ｓ－１３	Ａ通架構詳細図			Ｍ－１３	換気設備３階平面図
Ａ－１４	立面図１	Ａ－３４	各部詳細図３					Ｍ－１４	自動制御設備１階平面図
Ａ－１５	立面図２・断面図	Ａ－３５	外構図					Ｍ－１５	自動制御設備２階平面図
Ａ－１６	矩計詳細図	Ａ－３６	サービスヤード詳細図					Ｍ－１６	自動制御設備３階平面図
Ａ－１７	１階平面詳細図	Ａ－３７	外構詳細図						
Ａ－１８	２階平面詳細図	Ａ－３８	日影図						
Ａ－１９	３階平面詳細図								
Ａ－２０	展開図（１）								

日新設計株式会社

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
2　工　事　場　所　　黒川郡富谷町日吉台１丁目13番１号
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙　内　・　外）　用途地域（第1種中高層住居専用地域）
　防火地域等（・　防火　　・　準防火　　⊙　指定なし　　⊙　２２条　）
　その他の地域・地区（
4　主　要　用　途　　小学校
5　敷　地　面　積　　21173.97㎡
6　工事の概要
　①校舎増築工事
　②屋外整備工事

7　別 途 工 事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。
⊙　構造特記仕様書　　・　外構工事特記仕様書　　・　植栽工事特記仕様書
・　解体工事特記仕様書　　⊙　電気設備工事特記仕様書　　⊙　機械設備工事特記仕様書
・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし，標準仕様書に記載されていない事項は，「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）による。
　なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）、<　>及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項

1　一般共通事項

①. 一般事項
⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。
⊙　請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
⊙　施工体系図を現場に掲示すること。
・　工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。
　調査範囲　　※　図示

②. 適用基準等
⊙　建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)
⊙　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成21年4月1日施行）
⊙　建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版）
⊙　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版）
・　建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成10年版）

3．概成工期
工事工期より　　　　日前　(1.2.1)

④. 工事実績情報(CORINS)の登録
※　適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4)
　受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
　（請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ）
・　適用しない

⑤. 発生材の処理等
発生材の処理　(1.3.8)
・引渡しを要するもの（　　　）
・特別管理産業廃棄物（　　　）
　受入れ施設名・所在地(km)
・再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地(Km)	備　考
・　セメントコンクリート塊			
・　アスファルトコンクリート塊			
・　建設発生木材			
・　建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　　）
・その他の廃棄物（安定型）(　　　）
　受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型）(　　　）
　受入れ施設名・所在地(km)

　上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
　また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

⑥. 電気保安技術者
・　適用する　　※　適用しない　(1.3.3)

⑦. 事故報告
(1.3.10)
　工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等
材料の品質等　(1.4.2)
　本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
　特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　(1.4.1)
　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

ホルムアルデヒド仕様
　使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。
　ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料
　1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
　2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
　3）次の表示のあるＪＡＳ適合品
　　ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
　　ｂ．接着剤等不使用
　　ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
　　ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　　ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定
※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9)
　測試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。

測定対象物質
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　（濃度指針値　100μg/m3　・　0.08ppm）
※ ｽﾁﾚﾝ　（濃度指針値　220μg/m3　・　0.05ppm）
※ ﾄﾙｴﾝ　（濃度指針値　260μg/m3　・　0.07ppm）
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　（濃度指針値　3,800μg/m3　・　0.88ppm）
※ ｷｼﾚﾝ　（濃度指針値　870μg/m3　・　0.20ppm）

測定する室等：（　各階普通教室：３室　）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。

測定結果等報告書の提出
　次の事項を記載した報告書を２部提出する。
　ａ測定結果
　ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数）
　ｃ試料採取方法，測定方法，使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。

・　総揮発性有機化合物の測定
　測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。

⑩. 特別な材料の工法
「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪. 建築基準法による風圧力等の指定
(8.4.3) (8.5.3) (13.2.3) (13.3.3) (13.4.3) (14.7.3) (16.13.5)

適　用　工　事		建築基準法の指定		
・　金属板葺	・　折板葺	風速(V0)	※３０	・
・　粘土瓦葺	・　アルミニウム笠木	地表面粗度区分	・Ⅱ	・Ⅲ
・　ガラスブロック	・　ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定	・有	・無
・　押出成形セメント板外壁パネル				

⑫. 設計G.L.
※　図　示　　・　現状平均地盤高

⑬. 技　能　士
(1.5.2)
・　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。
※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
・　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工（型枠工事作業）
	⊙コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業）
	・とび（とび作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	⊙防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）
木工事	⊙建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）
	・スレート施工（スレート工事作業）
金属工事	⊙内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
	・建築板金（内外装板金作業）
左官工事	⊙左官（左官作業）
建具工事	⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	⊙ガラス施工（ガラス工事作業）
	・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業）
	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	・ガラス施工（ガラス工事作業）
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業　）
	・表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	⊙路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	⊙造園（造園工事作業）

⑭. 完成図等
　営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。

※　完成原図　１部
※　青焼２つ折製本　１部
※　青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部
※　青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部
※　完成図面電子データJWW形式又はDXF形式
　若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚

⑮. 完成写真
※　作成する　　・　作成しない
　宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部 ・　部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

16．設備工事との取合い
施工範囲　　各工事の区分表による。
施 工 図　　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑰. 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。
　保険の種類　　※　火災保険　　※　建設工事保険
　保険期間　　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで

18．住宅瑕疵担保責任
住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け
・あり（新築住宅の場合）　　・なし（新築住宅以外の場合）

2　仮設工事

①. 仮囲い
※　設ける　　・　設けない
　仮囲いの位置及び延長は図示による。
　・シートゲート（H=　，W=　）×　　箇所

②. 危害防止
⊗　シート張り　　⊙　成型鋼板

③. 交通誘導員
⊙　配置する（　184日　×　1人　＝　184人日）　※　配置しない

④. 監督職員事務所
※　設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）
・　設ける（規模　　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否）
　備品（　　　）

⑤. 工事表示板
※　設置する（設置枚数　１枚）　　・　設置しない
　営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑥. 事業コスト表示板
・　設置する（設置枚数　※　１枚　・　枚）　※　設置しない
　営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑦. 工事用水
構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない

⑧. 工事用電力
構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない

⑨. 工事用通路
※　指定しない　⊙　指定する（図示）

⑩. 足場等
(2.2.4)
　足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

11．その他の仮設
・

3　土工事

①. 埋戻し及び盛土の種別
種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1)
　Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　　㎡
　　発生場所

②. 建設発生土の処理
⊙　構外に搬出し適切に処理する。　(3.2.5)
・　構外指示の場所に搬出する。
　　受入れ施設名・所在地（km）
・　構内指示の場所に敷きならす。
・　構内指示の場所にたい積する。

3．山　留　め
(3.3.1)(3.3.3)

4　地業工事

1．既製コンクリート杭・鋼杭事業
杭の種類　(4.3.2)(4.4.2)
・　プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品）
　・Ａ種　　・Ｂ種　　・Ｃ種
・

(4.3.2)

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	〇					

継　手　※　アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手　(4.3.6)(4.4.5)
　・

先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)

杭の施工法
・　掘削打撃併用工法　　プレボーリングの掘削深さ　(4.3.3)(4.4.3)
　杭先端予定レベルの上方　　ｍのレベルまで
　オーガー径　　杭径－５０mm程度
・　セメントミルク工法　(4.3.4)(4.4.3)
・　特定埋込杭工法　(4.3.5)(4.4.4)
　（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）

杭打機の種類
　ハンマーの種別　※　油圧パイルハンマー　　・　ドロップハンマー
　パイルドライバー　※　三点支持式クローラークレーン

騒音・振動の測定　・　行う　　※　行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別　・　Ａ種　　・　Ｂ種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・　アースドリル工法　※　安定液使用　(4.5.4)
　・　リバース工法
　・　オールケーシング工法
　孔内の水張り　※　行う　・　行わない

3．地盤改良
工　法（・　　　）

④. 床下防湿層
(4.6.5)
※　設ける　地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。
・　設けない

⑤. 土間スラブ（土間コン）下断熱材
※　設ける　Ａ種ポリスチレンフォーム３種b　厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。
・　設けない

⑥. 砂利地業
※　再生クラッシャラン　・（　　　）(4.6.2～3)

5　鉄筋工事

①. 鉄筋の種別
(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※　ＳＤ２９５Ａ	※　Ｄ１６以下
	※　ＳＤ３４５	※　Ｄ１９以上

2．溶接金網
※　JIS G 3551のJIS表示認証製品　(5.2.2)
　線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100
　使用箇所（　　　）

③. 鉄筋の継手
(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※　重ね継手	Ｄ１６以下	
※　ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ
(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

⑤. 各部配筋
　各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。　(5.3.7)

⑥. 柱の帯筋
※　Ｈ形　・　Ｗ－１形　・ＳＰ形　(参考図 図2.2)

⑦. 耐震壁を除く壁の開口部補強
・　Ａ形　※　Ｂ形　(参考図 表4.3～4.4)

⑧. はり貫通孔の補強
補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(参考図 表7.1～7.3)

⑨. 圧接完了後の抜取試験
試験方法　※　超音波探傷試験　・　引張り試験　(5.4.9)

6　コンクリート工事

①. 設計基準強度
普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品）　(6.1.4)

Ｆｃ（N/mm２）	適用箇所
⊙　２４	
※　２１	
・　１８	

②. レディーミクスコンクリート
種　別　※　Ⅰ類　・　Ⅱ類　(6.1.5)(表6.1.1)
・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ）
　(アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験）
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③. スランプ
基礎，基礎梁，土間スラブ　※　１５cm　・　１８cm　(6.2.3)(表6.2.1)
柱，梁，スラブ，壁　※　１８cm

④. 打放し仕上げの種類
(6.2.5)(表6.2.3)

種　別	施工箇所
・　Ａ　種	
※　Ｂ　種	
・　Ｃ　種	

⑤. セメントの種類
※　普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.2)

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　特記仕様書１
縮尺　1/100
図面番号　Ａ — １
枚／内

6 コンクリート工事

⑥. 型枠

(6.9.3)

せき板の種類	板　厚(mm)	適用箇所	備　考
※ 合　板	※ １２　・		・宮城県グリーン製品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※ 適用しない　　・ 適用する

⊙ ひび割れ誘発目地 (6.9.2)
目地寸法　※ 図示
位　置　※ 図示

7. 軽量コンクリート

(6.11.1)(表6.11.1)

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（ｔ／m3）

8. 寒中コンクリート

(6.12.2～4)
適用期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/㎜２に達するまで行うこと。

⑨. 無筋コンクリート

適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。 (6.14.1)

適　用　範　囲

10. 流動化コンクリート

(6.16.1)(6.16.3)

種　別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０ ・１２ ・１５	・１８ ・２１	

7 鉄骨工事

1. 鉄骨の製作工場

(7.1.3)
※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2. 施工管理技術者

※ 適用する　・ 適用しない (7.1.3)

3. 鋼材の種別

(7.2.1)(表7.2.1)

材　質	規　格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	

4. 高力ボルト

(7.2.2)
※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ ２種(S10T)　・
・ ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類　※ ２種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種(F8T相当)　・

5. 溶接部の試験

完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 (7.6.11)

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備　考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６　・	
現場溶接			

6. 錆止め塗装

※ 適用する (7.8.3)(7.8.4)(表18.3.2)(表18.3.3)
（標準仕様書18章3節による）
・ 適用しない

7. 耐火被覆

(7.9.2)(7.9.4～7)

種　別	材料及び工法製造所	備　考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※半乾式　・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8. アンカーボルトの保持及び埋込み工法

(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種　別	適　用　箇　所
・ Ａ　種	
※ Ｂ　種	
・ Ｃ　種	

9. 柱底均しモルタル

(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種　別	適　用　箇　所	柱底均しモルタル
※ Ａ　種		※無収縮モルタル
・ Ｂ　種		※無収縮モルタル

10. 溶融亜鉛めっき

(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適　用　箇　所
※ Ａ　種	

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成型セメント板工事

1. 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類 (8.2.2)
※ 空洞ブロック　１６　・

2. コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　１６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　０８とすることができる）

3. ＡＬＣパネル

(8.4.2)(8.4.3～5)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種		
・屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		

④ 押出成形セメント板

(8.5.2～4)(表8.5.1)(表8.5.2)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法	縦張り	60	600	⊙Ａ種　・Ｂ種	外壁（非耐力）	FP060NE-9035
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種　・Ｃ種		

9 防水工事

①. アスファルト防水・改質アスファルトシート防水

(9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
・ Ａ－１		・ ＡⅠ－１	
・ Ｂ－２		・ ＢⅠ－２	
⊙ Ｄ－１	屋根	・ ＡＳ－２	
・ Ｅ－１	室内(便所・浴室)		
・ ＡＳ－１			

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※ ３種

押さえ金物　（※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　）
・ 断熱材　※ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き
厚さ(mm)　・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　）
・ 溶接金網（規格　）
適用防水種別（・　）
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　）
製造所（　）

2. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ（mm）	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
・ 脱気装置　（材質：　数量：　）
・ 絶縁シート　（発泡ポリエチレンシート　）
・ その他の材料（　）

3. 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種　別	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・ウレタン系	・Ｘ－１	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・Ｘ－２	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－１	地下外壁	
	・Ｙ－２	室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　・　）
（設置数量：　箇所）

④. シーリング

※ 被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。 (9.6.2)

5. 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1. 石材

(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品　質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2. 汚れ防止

床のワックスかけ　・ 行う　・行わない (10.1.5)

11 タイル工事

①. タイル

タイルの種類 (11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文
テラス	ノンスリップタイル 60×150	⊙	・	・	⊙	・	・	・	⊙	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う

2. タイル下地コンクリート

後張りタイル下地コンクリート素地面の処理 (11.3.3)
・ 行う（下記のいずれかとする）　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適　用　箇　所
ＭＣＲ工法	（15.2.5(C)）による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	（15.2.5(C)）による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし（6.9.3(e)）による。
目荒し工法の高圧水洗は（15.2.4(C)）による。
ポリマーセメントモルタルの調合は（15.2.3(b)）による。

接着力試験の引張接着強度 (11.1.4)(表11.1.2)

適　用	引張り接着強度（単位:N/mm²）
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3. 陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法 (11.3.3)（表11.3.2）
※ 改良積上げ張り　施工箇所（　）
※ 接着剤張り　施工箇所（　）

外装タイルの工法 (11.3.3)（表11.3.2）
※ 密着張り　施工箇所（　）
・ 改良圧着張り　施工箇所（　）

ユニットタイルの後張り工法 (11.3.3)（表11.3.2）
※ マスク張り

12 木工事

①. 木材

表面仕上げの程度　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種 (12.1.4)(表12.1.1)

含水率　構造材　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.1)
下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種
造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種

造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.2)

代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※ なし　・ あり（　）

2. 集成材

造作用集成材12.2.2.(2)による (12.2.2)

等　級	見掛かり	その他
	※ １等　・ ２等	※ １等　・ ２等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

3. 床張り用合板

床下貼り用合板 (12.2.3)
※ JASの構造用合板　特類　２級　C－D
・（　）

4. 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。 (12.2.6)

5. 木材保存剤

(12.2.8)(12.2.9)
木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。

防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺

(13.2.2)(表13.2.1)

材　種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備　考
・カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	JIS G 3312	※0.4　・	※瓦棒葺（心木なし）	
・ガルバリウム鋼板（※無塗装　）	JIS G 3321	※0.4　・	・横段葺き	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※カラー　）	JIS G 3322	※0.4　・	・横段葺き	AL55%
・		・	・	

※監督員の承諾する業者とする。

2. 折板葺

JIS A 6514のJIS表示認証製品 (13.3.2)(表13.2.1)

材　種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8	・ 0920	・有（　mm）	・有（30分耐火）
・カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322		・ 1525	・無	・無
・ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744		・ 1730		
・			・		

・形　式（・ 重ね形　・ はぜ締め形）
・軒先面戸（　）

3. 粘土瓦葺

JIS A 5208の表示認証製品 (13.4.2)

種　類	大きさ	産　地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する　・ 提出しない

④. とい

といの材質 (13.5.2)(13.5.3)(表13.5.1)(表13.5.3)(表13.5.4)

材　種	防　露
⊙配管用鋼管（ＳＧＰ）	※（表13.5.4）により行う　・ 行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	

鋼管製といの防露巻き工法
※（表13.5.4)による

・ 樋受石（材質・規格　）
※ 第一桝まで接続

⑤. ルーフドレン

※ 鋳鉄製 (13.5.3)
㊟ 縦型　⊙ 横型

14 金属工事

1. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・ 行う　※ 行わない (14.1.3)

2. ステンレス表面処理

※ ＨＬ　・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　類	施　工　箇　所	色　合
・　一　種		
・　一　種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

種　類	施　工　箇　所
・　種	
・　種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※ 行わない　・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※ 行わない　・ 行う

⑤. 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※ １９型　・ ２５型（室名：　）
屋外　・ １９型　※ ２５型

耐震性を考慮した補強 (14.4.3)(14.4.4)
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

⑥. 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表14.5.1)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7. 金属成形板張り

種　別（　） (14.6.2)(14.6.3)
表面処理（　）
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・ 設ける　・ 設けない

⑧. アルミニウム製笠木

表面処理　※ B-1種　・ B-2種 (14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

⑨. 手すり及びタラップ

(14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地材

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

15 左官工事

①. セルフレベリング材

種別　⊙ 石こう系　・ セメント系 (15.4.2)(表15.4.1)
塗厚　※ 10mm　・

②. 仕上げ塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工　法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 Ｅ ・内装薄塗材 Ｅ ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 Ｃ ・内装厚塗材 Ｃ ・外装厚塗材 Ｅ ・	・	※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 ＣＥ ※複層塗材 Ｅ ・複層塗材 ＲＳ ・複層塗材 ＲＥ ・複層塗材 Ｓｉ ・防水形複層塗材 Ｅ ・防水形複層塗材 ＲＳ ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　・ １種　・ ２種　※ ３種

3. ロックウール吹付け（耐火被覆は，７章による）

吹付け厚さ（mm）　※ １０　・ (15.7.3)

16 建具工事

1. 一般事項

防火戸の指定 (16.1.3)
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号の二ロの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない

防火戸との連動 (16.1.3)
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構　・ ヒューズ装置　・ 熱感知器　・ 煙感知器
※ 適用しない

見本の作成等 (16.1.4)
製　作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮　組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による） (16.1.6)

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ Ａ　種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、１００）
・ Ｂ　種	Ｓ－５			
・ Ｃ　種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

※ 適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

③. 網戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式

⊙防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　⊙ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂

・防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

特記事項

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN-ARCHITECTS&ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　特記仕様書２
縮尺　1/100
図面番号　Ａ — ２　枚ノ内
設計番号

16 建具工事

4. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(表16.3.1)(表16.3.2)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

建具寸法が(16.3.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.3.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.3.2)に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.3.6)

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2～4)(表16.4.1)
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性 ※ Ａ－３ ・
・ 使用しない

戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.6)

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～5)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

表面処理 ・ ＨＬ ・
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

7. 木製建具

(16.6.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧ 建具用金物

(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ・ 要 ・ 不要 (16.7.4)
(・) 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9. 自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1～2)
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3)(表16.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
※ 補助センサー併用
・

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10. 重量シャッター

(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

11. 軽量シャッター

(16.11.2～4)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない

⑬ ガラス

(16.13.2)(16.13.3)(表16.13.1)
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ－１類 ・ Ⅱ－２類 ・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能 ・ １類 ・ ２類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン

複層ガラス
性能 ・ １種 ・ ２種
・ ３種 （・ Ｕ３－１ ・Ｕ３－２）
・ ４種
封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性 ・ １種 ・ ２種 ・ ３種
耐久性 ・ Ａ類 ・ Ｂ類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側
映像調整 ・ 行う ・ 行わない

ガラスの留め材
※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

14. ガラスブロック（中空）

(16.13.5)

表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５ ・ ２００×２００	・ １６０×１６０ ・ ３２０×３２０	・ ８０ ・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製（表面処理 ） ・ ステンレス製（表面仕上 ）	・ 規定しない ・ 有（ 分間）

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

① 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (18.1.3)

② 素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ (18.2.2～7)
木部 ※Ａ種（不透明塗料塗）※Ｂ種（透明塗料塗）
鉄鋼面 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
亜鉛めっき鋼面 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
モルタル・プラスター面 ・Ａ種 ※Ｂ種
コンクリート・ALC面 ※Ａ種 ・Ｂ種
ボード面 ※Ａ種（継目処理工法）※Ｂ種（その他）

3. 錆止め塗料塗り

塗料の種別 (18.3.2)
鉄鋼面 ※Ａ種 ※Ｂ種（標準仕様書8節の場合）
亜鉛めっき鋼面 ※Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種(標準仕様書8節の場合)
(18.3.3)
錆止め塗料塗り
鉄鋼面 ※Ａ種（見え掛り） ※Ｂ種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面 ※Ａ種（鋼製建具等）・Ｂ種 ※Ｃ種(その他)

4. 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別 ※１種 ・２種 (18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3～5)
鉄鋼面 ・Ａ種 ※Ｂ種
木部 ※Ａ種（屋外） ※Ｂ種（屋内）

5. クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.5.2)

6. アクリル樹脂非分散系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り (18.6.2)
コンクリート・モルタル面 ・Ａ種 ※Ｂ種

7. 耐候性塗料塗り(屋外)（ＤＰ）

上塗りの等級 (18.7.2～3)(表18.7.1～2)
鉄鋼面 ※１級 ・２級 ・３級
亜鉛めっき鋼面 ※１級 ・２級 ・３級

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 (18.7.4)(表18.7.3)
・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種

⑧ つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

水性つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (18.8.2～4)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）
鉄鋼面（屋内） ・Ａ種 ※Ｂ種

9. 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り (18.9.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(屋内)（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り (18.10.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

11. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り (18.11.2)
・Ａ種 ※Ｂ種

12. 木材保護塗料塗り（ＷＰ）

木材保護塗料塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.13.2)

⑬ マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (18.14.2)
コンクリート(・)押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

19 内装工事

① ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＮＣ ・	※無地 ・マーブル	※ 2.0 (・) 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・	・	・	・	・

2. 化粧ビニル床シート

JIS Ａ5705のJIS表示認証製品で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＮＣ又はＮＦ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3. ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※CT(半硬質) ・CTS(軟質)	※300×300	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・HT	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・帯動荷重

4. ビニル床シート･ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

5. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法（mm）
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	３００×３００

⑥ ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 (19.2.2)
高さ（mm） ・ ６０ ※ ７５ (・) １００
厚さ（mm） ・ １．５ ※ ２．０

7. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧ フローリング張り

・単層フローリング (19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※１５ 幅 ７５ 長さ500以上 ・	・釘止め工法 ・接着工法 ・モルタル埋込み工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※１５ 303×303 ・		
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・６ ・８ ・９ ・		
・	・	・		

(・)複層フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合１種フローリング ・ 複合２種フローリング ・ 複合３種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 (・)接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス (・)既塗装品
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法（体育館床）	

9. 畳敷き

畳の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 (19.6.2)(表19.6.1)
※ Ｃ種 ・ Ｄ種

⑩ 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)(表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚さ (mm)		規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料） ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス（JIS A 3414 EP18程度）額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板（吸音材料） ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品） ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品） ＧＢ－Ｓ		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード（せっこうボード製品） ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品） ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

12. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
		・ １級 ・ ２級
		・ １級 ・ ２級
		・ １級 ・ ２級
		・ １級 ・ ２級

品質は参考商品名である。

⑬ 断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
	※Ａ種押出法３種ｂ（スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種 ・	・		
・ フェノールフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
(・) 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種１ ・	・	※ 25 ・	JIS A 9526による難燃性 ・２級 ※３級
・	・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ	下記以外	※ 25	JIS表示認証製品
	※Ａ種押出法３種ｂ（スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ グラスウール保温材	※ 24Ｋ品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り （重ね100）

特記事項

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし
・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2. 可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色） ｔ＝０．５以上
遮音性 ３６dB以上
防火性能 不燃

3. 移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板（標準色） ｔ＝０．５以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 ３６dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅 木 ステンレス製 H＝６０
フレーム アルミ製
扉 厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材 種 ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 床目地棒 (20.2.7)

ステンレスＦＢ（SUS304） ｔ５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

⑦. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式 ⊙ 平面 ⊙ 曲面

⑧. 鏡 (20.2.9)

耐湿鏡 ｔ＝５ ステンレスフレーム付き

⑨. 表 示 (20.2.10)

衝突防止表示 ステンレス製 ＨＬ仕上げ Φ３０程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札

10. 煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ４００℃

11. ブラインド (20.2.12)

形 式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式・コード式	※ ２本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ ２５ ・	・ ８０ ・ １００

12. ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ スプリング式 ※ チェーン式 ・電動式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひ だ の 種 類	形 式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

14. カーテンレール (20.2.14)

材 質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形 状 ※ Ｄ型又は角型 ・ Ｃ型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種

16. 点 検 口

施工箇所	材 種	寸 法	形 式
天 井	※ アルミニウム製 ・	※ ４５０×４５０ ・ ６００×６００	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

17. くつふきマット

材 種	受 わ く
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

18. ステンレス流し台

※ ＢＬ商品（システム ※ Ａ－１型 ）トラップ付
・

19. コンロ台

※ ＢＬ商品（システム ※ Ａ－１型 ）バックガード（※有 ・無）
・ ・

20. つり戸棚

※ ＢＬ商品（システム ※ Ａ－１型 ）
・ ・

21. 水切棚

※ １段 ・ ２段 ・

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗 竿

形 式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝
材 種 ※ アルミニウム合金 ・ m
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋 外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル
（※ １００角 ・ １５０角）

26. 出隅面取材

材 種 ※ アルミニウム合金製 ・
高 さ ※ 天井まで ・ １．８ｍ程度

27. かぎ箱

市販品 フック数（本） ・ ３０ ・ ４０
・ ６０ ・ １００ ・

28. 身障者用可動手すり

29. 消火器ボックス

鋼製 既製品

30. ピクチャーレール

アルミ製 既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／ｍ）共

31. 郵便受

図示

21 排水工事

①. グレーチング ※ 鋼製 ・ ステンレス製 (21.2.2)

2. 鋳鉄製マンホールふた 簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2)

22 舗装工事

①. 再 生 材 ※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

2. 盛土材料 路床の盛土材料 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 (22.2.3)

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料 (22.2.2)(22.2.3)

遮 断 層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

路床安定処理添加材料
※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントＢ種
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号 ・１号） ・ 消石灰(・特号 ・１号)

⑤. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験 ※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

⑥. 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑦. 砂の粒度試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧. 路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3)

※ 再生クラッシャラン ＲＣ－４０
（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン Ｃ－４０
・ クラッシャランスラグ ＣＳ－４０

⑨. 路盤の締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

⑩. アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表 層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 細粒度アスファルト混合物（１３） ・
基 層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・ 粗粒度アスファルト混合物（２０） ・

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

11. コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (22.5.6)

12. カラー舗装 (22.6.2)

種 類		部 位	厚 さ
加熱系	※ アスファルト混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	・ ３０
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	・ ５０
常温系	・ 樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	・
	・ ニート工法	・ 車道部 ・ 歩道部	・
	・ 塗布工法	・ 車道部 ・ 歩道部	・

着色骨材・自然石（ ） (22.6.3)

13. ブロック系舗装 (22.9.2)(表22.9.1)

・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地
・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑭. 縁石及び側溝 地業の材料 ・再生クラッシャラン ・ (22.10.2)

15. 砂利敷き ・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ (22.11.2)

⑯. 区 画 線 ※ ＪＩＳＫ５６６５ ３種１号白
・

23 植栽工事

1. 植栽地の試験 (23.1.3)

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

②. 植栽基盤 ・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種 別	樹 種 等	植栽基盤の適用
・ Ａ種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ Ｂ種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ Ｃ種		
・ Ｄ種		

③. 植込み用土 ※ 現場発生の良質土 ⊙ 客土 (23.2.3)

④. 土壌改良材 ※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)

土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

5. 芝 種 別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (23.4.2)

6. 屋上緑化 (23.5.2)(23.5.3)

工 法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ ６ｃｍ ・ １２ｃｍ ・ ３０ｃｍ	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材 ・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

24 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定仕様書

1. 一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3. 測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	870 μg/m3	0.20 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m3	0.02 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m3	0.0076 ppm
⑫クロルピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400 μg/m3 （暫定目標値）	

4. 測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・ 室名：

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・ 室名：

・ 屋外(周囲の建物から離れた場所１か所)

5. 測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他

表の化学物質①から⑥のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡ししない。

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 特記仕様書４
縮尺 1/100
図面番号 Ａ － ４ 枚ノ内
設計番号

敷地求積表 （座標求積表）

富谷町日吉台一丁目１３－１

測点	Xn	Yn	(Xn+1-Xn-1)Yn	距離
12	-180812.167	3081.261	-476335.219251	5.05
11	-180808.587	3084.823	-11102.277977	84.86
10	-180808.568	3169.680	107493.357840	49.35
9	-180842.500	3205.509	152550.173310	18.33
8	-180856.158	3217.735	167949.678325	43.68
7	-180894.695	3238.296	179819.338584	20.06
6	-180911.687	3248.951	135175.855306	33.23
5	-180936.301	3226.632	101406.590496	29.79
4	-180943.115	3197.634	97252.840476	25.23
3	-180966.715	3188.720	75276.113040	103.91
2	-180966.722	3084.809	-10910.969433	5.00
1	-180963.178	3081.282	-476227.539510	151.01
		倍面積	42347.941206	
		面積	21173.970603	
		地積	21173.97 ㎡	

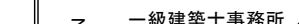
既存建物 棟別 面積表

棟別		校舎棟	屋内運動場棟	プール附属棟	備考
建築確認番号		第93仙土8号	第94仙土4号	富谷第39号	
建築確認年月日		H5.12.21	H6.6.30	H7.5.1	
検査済証 （建築物）		H7.2.23	H7.3.20	H7.7.10	
検査済証 （昇降機）		H7.2.23			
建築面積	申請部分	1433.78㎡	1277.79㎡	84.81㎡	
	申請以外の部分		1433.78㎡		
	合計	1433.78㎡	2811.57㎡	2896.38㎡	
延べ面積	申請部分	3461.38㎡	1253.75㎡	73.34㎡	
	申請以外の部分		3461.38㎡		
	合計	3461.38㎡	4715.13㎡	4788.47㎡	
構造・階数		RC造・3階	RC+S造・1階	木造・1階	
備考					

増築建物面積表

	既存校舎	増築部分	合計
1階床面積	1,173.75	228.80	1,402.55
2階床面積	1,242.82	228.80	1,471.62
3階床面積	1,044.81	228.80	1,273.61
延床面積	3,461.38	686.40	4,147.78

特記事項

(1) 鉄部見えがかりは特記無き限り２－ＵＥ塗装仕上げとする。
(2) 壁と天井の見切は特記無き限り内部は塩ビ製回り縁を使用する。
(3) カーテンボックス、見切り等の特記無き木部の仕上げはＥＰ－Ｇ塗装とする。
(4) 軽量鉄骨壁下地は特記無き限りスラブ下、梁下での固定とする。
　ＬＧＳ仕様：８通り　W=90　・　Ｂ通り、Ｃ通り　W=65　とする。
(5) 壁　けい酸カルシウム板の出隅部は木製見切り30×30ＥＰ－Ｇ塗装とする。
(6) 造付け家具や黒板等部分の仕上げは下地ボードまでとし仕上げは行わないものとする。
(7) 設備配管スペース（ＰＳ）床はコンクリートスラブ打設とする。

耐火　仕様

・外壁（非耐力壁）：ァ60押出成形セメント板縦張り　1時間耐火：FP060NE-9035
・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991　耐火帯厚み12.5㎜

・防火上主要な間仕切壁：８通り、Ｂ通り、Ｃ通り間仕切壁
　ＬＧＳ下地両面ァ12.5強化石膏ボード2重張り（接着剤使用）：コンクリート躯体との区画
　1時間耐火：FP060NP-0174

耐火・防火認定番号

1	石膏ボードｔ12.5	ＮＭ－8619
2	石膏ボードｔ9.5	ＱＭ－9828
3	化粧石膏ボードｔ9.5	ＮＭ－0441
4	ケイカル板ｔ6	ＮＭ－8599
5	化粧ケイカル板ｔ6	ＮＭ－9144
6	化粧石膏吸音ボードｔ9.5	ＮＭ－0879
7	ＥＰ－Ｇ塗装(不燃下地)	ＮＭ－8585

記号凡例

1	ＥＰ－Ｇ	水性合成樹脂エマルションペイント塗り
2	ＵＣ	水性着色ウレタン木部用クリア塗り
3	ＵＰ	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗り
4	２－ＵＥ	2液形ポリウレタンエナメル塗り
5	ＣＬ	クリアラッカー塗
6	ＦＰ	フタル酸樹脂エナメル塗
7	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗

外部仕上表

部位		仕上
屋根	勾配屋根	ァ0.4カラ-ガルバリウム鋼板　横段葺き　下葺き：ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 下地：ハット型金属タルキ@490　下地：ｔ25硬質押出発砲ｽﾁﾛｰﾙ板　（※耐風圧性8500Pa）
	陸屋根	コンクリート金ゴテ押え下地 アスファルト露出防水（絶縁工法）
	内樋	コンクリート金ゴテ押え、勾配調整モルタル下地　アルミ笠木：W=175 アスファルト露出防水（絶縁工法）
	ＥＸＰ．Ｊ	アルミ製、耐火仕様
軒天井		コンクリート打放し　複層仕上塗材Ｅ
外壁		コンクリート打放し　複層仕上塗材Ｅ ァ60押出成形セメント板マスチック塗材塗
巾木		コンクリート打放し　補修
バルコニー		床：防水モルタル金ゴテ　手摺：アルミ68.4×43　支柱：63.8×41.5@1,000程度 壁立上り：コンクリート打放し　複層仕上塗材Ｅ
テラス		床：モルタル金ゴテ　ノンスリップタイル 60×150 落蓋式Ｕ型側溝300Ａ
建具		アルミサッシュ見込70
縦樋		竪樋：ＳＧＰ100　２－ＵＥ
避難ハッチ		埋設式避難器具　溶融亜鉛メッキ+ＳＵＳ304 開口寸法600×520

内部仕上表

※ 床、壁、天井に使用する建材類（接着剤等含む）は全て、Ｆ☆☆☆☆認定品を使用する

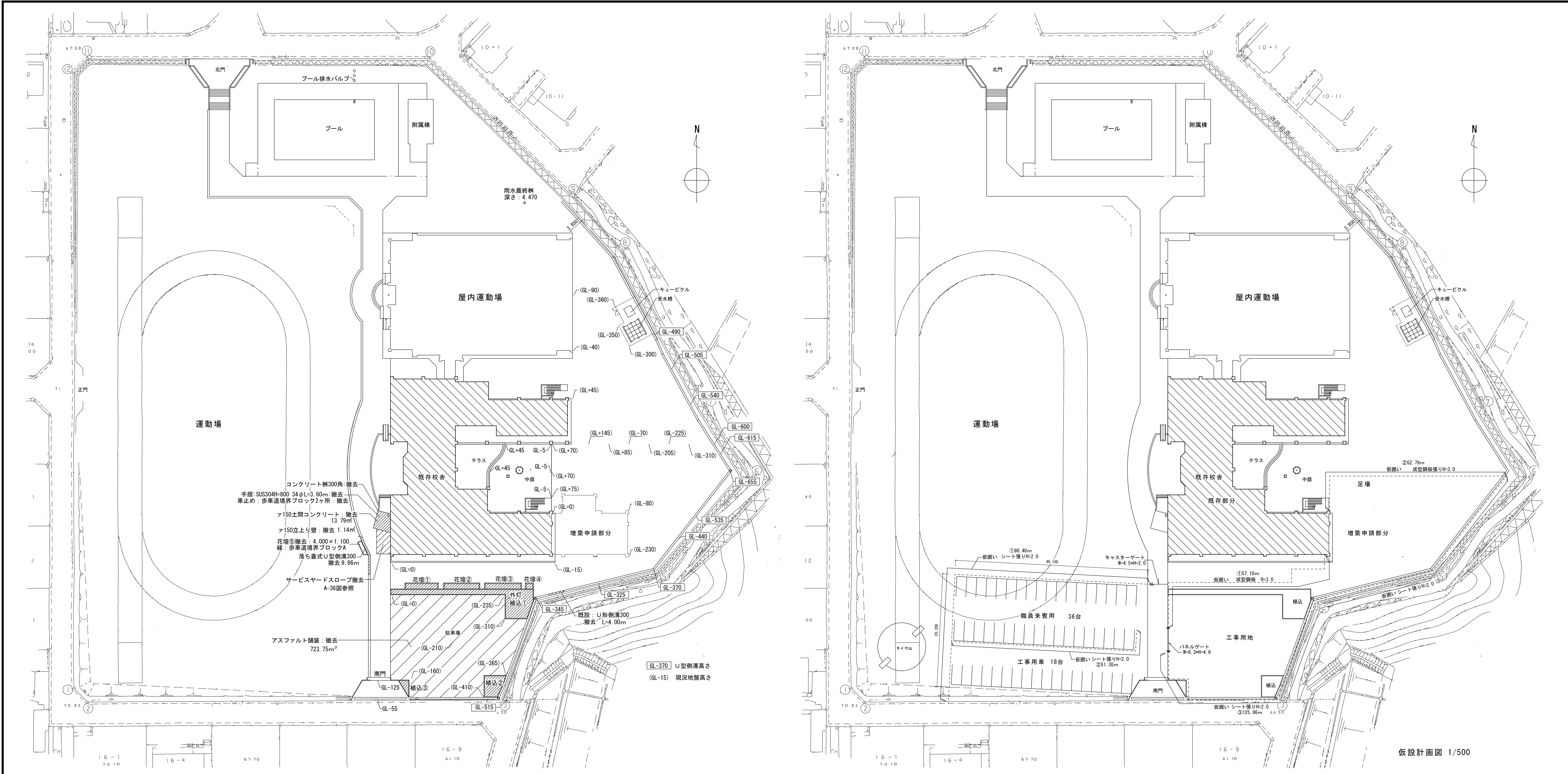
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
普通教室	ァ10 セルフレベリング下地 ァ15ナラフローリング直貼りタイプ塗装品 表層単板３㎜	木製Ｈ=100ＥＰ－Ｇ	ＲＣ壁面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ ※掲示板面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ5.5合板下地掲示クロス ＬＧＳ面(防火上主要な間仕切壁)：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ ※掲示板面：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ5.5合板下地掲示クロス	化粧石膏吸音ボード　ァ9.5　910×910 ＬＧＳ下地	3.050	半曲面黒板、小黒板、図掛パイプ、ＯＨＰスクリーン ＴＶ台兼教師用戸棚、掃除具入、背面ロッカー、掲示板 カーテンボックス、室名札
教材室	ァ10 セルフレベリング下地 ァ2.5ビニル床シート	ソフト巾木Ｈ=100	ＲＣ壁面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ ＬＧＳ面：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ 既存ＲＣ面：水洗い洗浄の上ＥＰ－Ｇ 一部既存ＲＣ壁面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ	化粧石膏ボード　ァ9.5　910×910 ＬＧＳ下地	3.050	教材棚、室名札、ＥＸＰ．Ｊ
男子便所	ァ10 セルフレベリング下地 ァ2.5ビニル床シート（防滑仕様）	ァ2.5ビニル床シート立上 Ｈ=100	ＲＣ壁面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー） ＬＧＳ面：ァ12.5石膏ボード+ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー） ＬＧＳ面(防火上主要な間仕切壁)：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー）	化粧石膏ボード　ァ9.5　910×910 ＬＧＳ下地	2.500	トイレブース、ライニング、カウンター、ピクトサイン 床下点検口、釜場
女子便所	ァ10 セルフレベリング下地 ァ2.5ビニル床シート（防滑仕様）	ァ2.5ビニル床シート立上 Ｈ=100	ＲＣ壁面：ァ12.5石膏ボード（ＧＬ工法）＋ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー） ＬＧＳ面：ァ12.5石膏ボード+ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー） ＬＧＳ面(防火上主要な間仕切壁)：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ6化粧けい酸カルシウム板（ジョイナー）	化粧石膏ボード　ァ9.5　910×910 ＬＧＳ下地	2.500	トイレブース、ライニング、カウンター、ピクトサイン 床下点検口、釜場
廊下	ァ10 セルフレベリング下地 ァ2.5ビニル床シート	ソフト巾木Ｈ=100	ＲＣ面：コンクリート打放しＥＰ－Ｇ ＬＧＳ面：ァ12.5石膏ボード+ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ ＬＧＳ面(防火上主要な間仕切壁)：ァ12.5強化石膏ボード（2重張り）＋ァ6けい酸カルシウム板ＥＰ－Ｇ 既存ＲＣ面：水洗い洗浄の上ＥＰ－Ｇ	化粧石膏吸音ボード　ァ9.5　910×910 ＬＧＳ下地	2.500	ＥＸＰ．Ｊ

特記事項

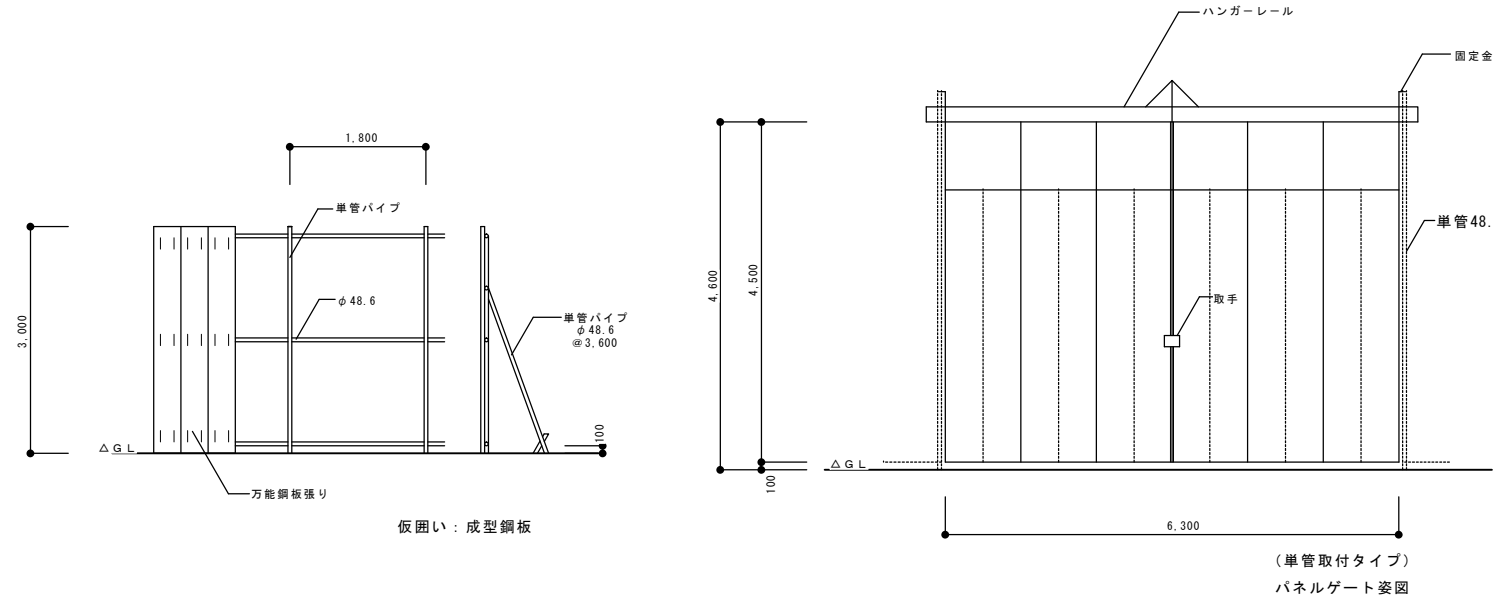
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図		設計名称	平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
製図		図面内容	配置図・案内図・仕上表・面積表
日付	平成25年1月	縮尺	A-1：1/500　A-3：1/1000
		図面番号	Ａ－　５　枚ノ内
		設計番号	

面積算定表

符号	計算式			計
①	19.00×10.10			191.90
②	8.00×4.50			36.00
③	1.50×0.60			0.90
④	(4.00+2.00)×0.56+(6.00+7.30)×0.40			8.68
建築面積	増築部分	①+②+③+④		237.48
	既存部分			1,433.78
	合計			1,671.26
床面積	増築部分			
	1階	①+②+③		228.80
	2階	①+②+③		228.80
	3階	①+②+③		228.80
	合計			686.40
	校舎全体	既存部分	増築部分	合計
	1階	1,173.75	228.80	1,402.55
	2階	1,242.82	228.80	1,471.62
	3階	1,044.81	228.80	1,273.61
	合計	3,461.38	686.40	4,147.78

既設　撤去

	数量	備　考
アスファルト舗装：撤去	723.75m²	表層ァ50　路盤(C-40)ァ150
ァ150土間コンクリート：撤去	13.79㎡	ァ150砕石
ァ150立上り壁：撤去	1.14㎡	
車止め：歩車道境界ブロック	2ヶ所	歩車道境界ブロックA　2本
手摺:SUS304H=800 34φL=3.60m	1ヶ所	
落ち蓋式U型側溝300	L=9.86m	ァ20敷モルタル　ァ100砕石
U形側溝300	L=4.00m	ァ20敷モルタル　ァ100砕石
コンクリート桝300角	1ヶ所	ァ20敷モルタル　ァ100砕石

	面積	縁　歩車道境界ブロックA	縁　木製電柱	土の高さ	樹　木
花壇①	10.19㎡		11.40m	GL+200	
花壇②	11.08㎡		12.10m	GL+200	
花壇③	11.34㎡		12.30m	GL+200	
花壇④	2.12㎡		5.10m	GL+200	
花壇⑤	2.78m²	9.86m			
植込①	80.22㎡	85.11m		GL+200	サツキツツジ H0.3 W0.4 (9本/㎡)
植込②	22.41㎡	20.55m		GL+200	
植込③	4.82㎡	4.16m		GL+200	
計	144.96㎡	119.68m	40.90m		

	形状・寸法	単位	数量	
仮囲い	成型鋼板 H=3,000	m	109.89m	①57.10m ②52.79m
	シート張り H=2,000	m	257.56m	①80.40m ②51.30m ③125.86m
パネルゲート	W：6.3×H：4.6	箇所	1	
キャスターゲート	W：4.5×H：2.0	箇所	1	
誘導員	交通	人	1	

【特記事項】

1．工事車両駐車場、現場仮設事務所、資材置場、発生材置場については監督員と協議すること。

2．誘導員については、工事車両出入口付近に配置すること。

3．道路は工事車両等で汚した場合、速やかに清掃を行うこと。

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022−245−2333	検図 / 製図 / 日付 平成25年1月	設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	図面内容 現況状況図・仮設計画図 縮尺 A-1:1/500　A-3:1/1000	図面番号 A− 7　枚ノ内 設計番号

現況配置図 1/500

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 平成25年1月	設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	図面内容 現況配置図 縮尺 A-1:1/500 A-3:1/1000	図面番号 A－ 8 枚ノ内 設計番号

法規チェック表

室名	室面積 A	必要面積 A／5	採光面積　採光補正係数A＝3		
			建具記号	有効面積	
普通教室(15)	62.40㎡	12.48	AD－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3＝29.24 1.79×(1.9+0.8)×3＝14.50	43.74
普通教室(16)	62.40㎡	12.48	AD－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3＝29.24 1.79×(1.9+0.8)×3＝14.50	43.74
室名	室面積 A	必要面積 A／20	換気面積		
			建具記号	有効面積	
普通教室(15)	62.40㎡	3.12	AD－101	0.85×(1.1+0.8)×3＝4.85 0.95×0.8＝0.76	5.61
普通教室(16)	62.40㎡	3.12	AD－101	0.85×(1.1+0.8)×3＝4.85 0.95×0.8＝0.76	5.61

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333

検図
製図
日付　平成25年1月

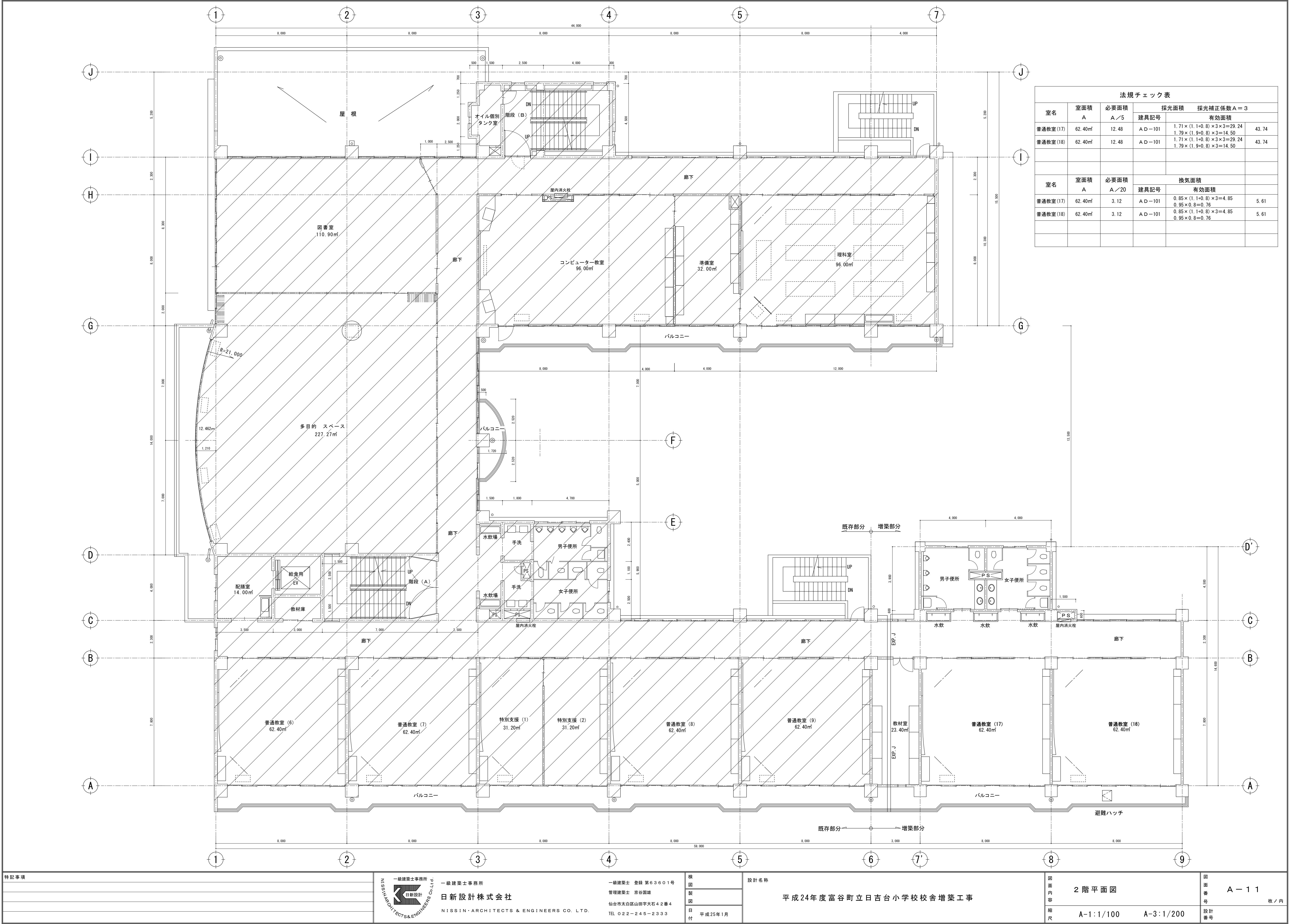
設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　1階平面図

縮尺　A-1:1/100　A-3:1/200

図面番号　A－10

枚ノ内

設計番号

法規チェック表

室名	室面積 A	必要面積 A／5	採光面積　採光補正係数Ａ＝３ 建具記号	有効面積	
普通教室(17)	62.40㎡	12.48	ＡＤ－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3＝29.24 1.79×(1.9+0.8)×3＝14.50	43.74
普通教室(18)	62.40㎡	12.48	ＡＤ－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3＝29.24 1.79×(1.9+0.8)×3＝14.50	43.74
室名	室面積 A	必要面積 A／20	換気面積 建具記号	有効面積	
普通教室(17)	62.40㎡	3.12	ＡＤ－101	0.85×(1.1+0.8)×3＝4.85 0.95×0.8＝0.76	5.61
普通教室(18)	62.40㎡	3.12	ＡＤ－101	0.85×(1.1+0.8)×3＝4.85 0.95×0.8＝0.76	5.61

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022－245－2333

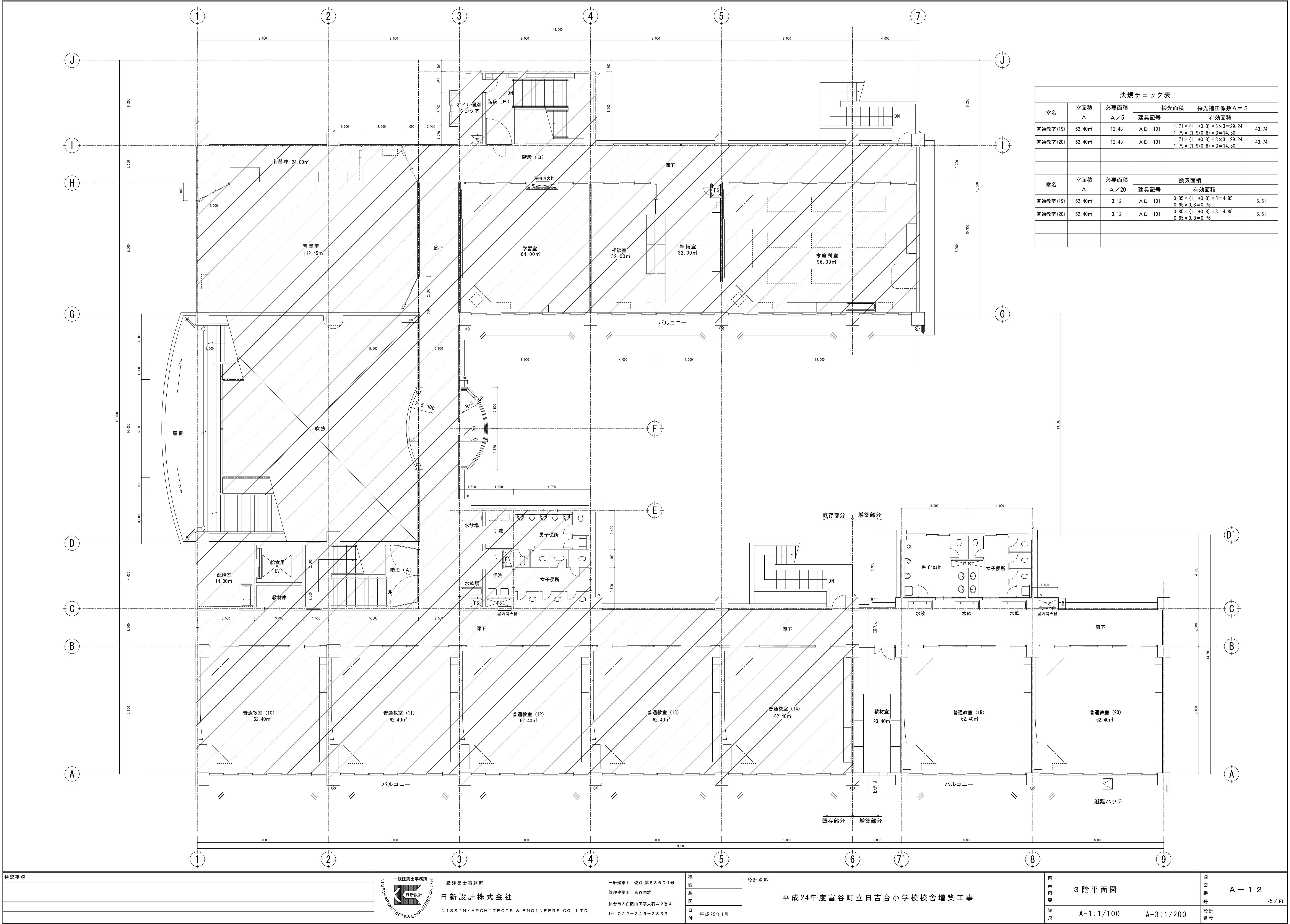
検図
製図
日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　２階平面図

縮尺　A-1:1/100　A-3:1/200

図面番号　Ａ－１１　枚ノ内

設計番号

法規チェック表

室名	室面積 A	必要面積 A／5	採光面積　採光補正係数Ａ＝３ 建具記号	有効面積	
普通教室(19)	62.40㎡	12.48	ＡＤ－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3=29.24 1.79×(1.9+0.8)×3=14.50	43.74
普通教室(20)	62.40㎡	12.48	ＡＤ－101	1.71×(1.1+0.8)×3×3=29.24 1.79×(1.9+0.8)×3=14.50	43.74

室名	室面積 A	必要面積 A／20	換気面積 建具記号	有効面積	
普通教室(19)	62.40㎡	3.12	ＡＤ－101	0.85×(1.1+0.8)×3=4.85 0.95×0.8=0.76	5.61
普通教室(20)	62.40㎡	3.12	ＡＤ－101	0.85×(1.1+0.8)×3=4.85 0.95×0.8=0.76	5.61

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図	
製図	
日付	平成25年1月

設計名称：平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容：３階平面図

図面番号：Ａ－１２　枚ノ内

縮尺：A-1:1/100　A-3:1/200

設計番号：

既存部分
増築部分
北　立面図
〈凡例〉
既存部分
西立面・断面図
断面図
断面図
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333
平成25年1月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
北・西立面図、断面図
1/100
A−15

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 1階平面詳細図
縮尺 A-1:1/50 A-3:1/100
図面番号 A−17
枚ノ内
設計番号

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 平成25年1月	設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	図面内容 平面詳細図 / 縮尺 A-1:1/50 A-3:1/100	図面番号 A－19 枚ノ内 / 設計番号

天井開口補強リスト				
	1階	2階	3階	計
照明器具 B 開口寸法：1250×200	4	4	4	12
照明器具 N 開口寸法：150φ	2	2	2	6
便所 天井換気扇 開口寸法：310×310	2	2	2	6
普通教室 吸気口 開口寸法：200×200	4	4	4	12
天井点検口 開口寸法：450×450	31	19	20	70

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 1階天井伏図

縮尺 A-1：1/100 A-3：1/200

図面番号 A－22

枚ノ内

設計番号

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図 / 製図 / 日付 平成25年1月

設計名称：平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容：1階建具・家具配置図

図面番号：A－24

縮尺：A-1:1/100　A-3:1/200

枚ノ内

設計番号

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 2階建具・家具配置図
縮尺 A-1:1/100 A-3:1/200
図面番号 A－25
枚ノ内
設計番号

符号 個数
取付場所
姿図
▽FL
種別
ガラス
備考
AD-1 14
特別活動室、普通教室、理科室、家庭科室
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-2 3
普通教室
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-3 3
昇降口
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-4 1
配膳室
引分けアルミサッシュ
ｱ4 型板ガラス
AD-5 1
昇降口
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-6 1
昇降口
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-7 1
廊下
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-8 1
会議室A・B、保健室
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-9 1
廊下
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ6.8 網入ガラス
AD-10 2
廊下
片開ドア＋引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-11 2
廊下
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-12 2
廊下
ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-13 1
視聴覚室
片開ドア＋ランマ付引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-14 1
図書室 廊下
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-15 2
廊下
片開ドア＋引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AD-16 1
高架水槽室
片開ドア
ｱ6.8 網入ガラス
AW-1 5
廊下・配膳室
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AW-2 3
廊下
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AW-3 4
廊下
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AW-4 3
女子便所
引違アルミサッシュ
ｱ4 型板ガラス
AW-5 3
男子便所
引違アルミサッシュ
ｱ4 型板ガラス
AW-6 2
職員便所
引違アルミサッシュ
ｱ4 型板ガラス
AW-7 1
倉庫
引違アルミサッシュ
ｱ4 型板ガラス
AW-8 1
スタジオ
引違アルミサッシュ
ｱ5 透明ガラス
AW-9 1
廊下
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AW-10 3
廊下
引違アルミサッシュ
ｱ3 透明ガラス
AW-11 4
階段B
嵌め殺しアルミサッシュ
ｱ6.8 網入型板ガラス
防火設備
AW-12 2
階段B
縦軸回転アルミサッシュ
ｱ6.8 網入透明ガラス
防火設備
ｱ6.8 網入ガラス
FIX
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333
検図
製図
日付 平成25年1月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容
既存校舎建具表(1)
縮尺
A1:1/100
A3:1/200
図面番号
A−27
枚ノ内
設計番号

符号 個数	AW-13　1	AW-14　1	AW-15 、 AW-15´　1 、 1	AW-16　1		
取付場所	消火ポンプ室	オイルポンプ室	更衣室	校長室、職員室		
種別	縦軸回転アルミサッシュ	嵌め殺しアルミサッシュ	引違アルミサッシュ	引違アルミサッシュ		
ガラス	ア6.8 網入型板ガラス	ア6.8 網入型板ガラス	AW-15：ア4 型板ガラス　AW-15´：ア6.8網入型板ガラス	ア5 透明ガラス		
備考						

符号 個数	AW-17　1		AW-18　2	AW-19　2	AW-20　1	
取付場所	多目的スペース		視聴覚室、図工室	視聴覚室、図工室	図書室	
種別	ランマ付縦軸回転アルミサッシュ		ランマ付引違アルミサッシュ	ランマ付引違アルミサッシュ	引違アルミサッシュ	
ガラス	ア6.8 線入透明ガラス		ア3 透明ガラス	ア3 透明ガラス	ア5 透明ガラス	
備考						

符号 個数	AW-21　2	AW-22　3	AW-23　4	AW-24　1	AW-25　1	
取付場所	図書室、楽器庫	オイルタンク室	高架水槽室	多目的スペース	音楽室、楽器庫	
種別	引違アルミサッシュ	嵌め殺しアルミサッシュ	嵌め殺しアルミサッシュ	嵌め殺しアルミサッシュ	嵌め殺しガラスブロック付引違アルミサッシュ	
ガラス	ア3 透明ガラス	ア6.8 網入型板ガラス	ア4 型板ガラス	ア6 型板ガラス	ア5 透明ガラス	
備考						

符号 個数	AW-26　1	AW-27　2	SD-1　3	SD-2　1	SD-4　3	SW-1　2
取付場所	音楽室、廊下	階段B	階段A	EV機械室	階段A	階段A
種別	引違アルミサッシュ	嵌め殺しアルミサッシュ	くぐり戸付両開きスチールドア	親子両開きスチールドア	くぐり戸付片開きスチールドア	嵌め殺しスチールサッシュ
ガラス	ア3 透明ガラス	ア6.8 網入型板ガラス				
備考		防火設備	特定防火設備（煙感連動閉鎖）	特定防火設備（常閉）	特定防火設備（煙感連動閉鎖）	特定防火設備（第0006号）

符号 個数	SW-2　1	SW-3　1		SP-1　3	SP-2　3	SP-3　6
取付場所	階段A	階段A		特別活動室、資料室	普通教室	普通教室
種別	嵌め殺しスチールサッシュ	嵌め殺しスチールサッシュ		スチールパーテーション	スチールパーテーション	スチールパーテーション
ガラス						
備考	特定防火設備（第0006号）	特定防火設備（第0006号）				

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　既存校舎建具表(2)

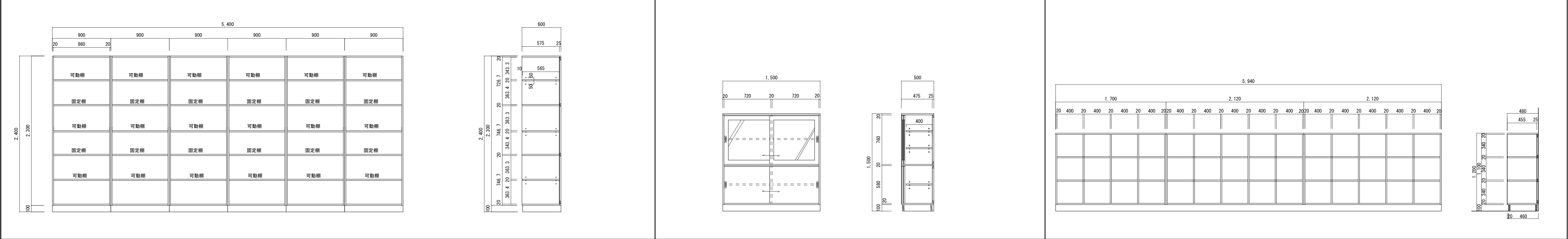
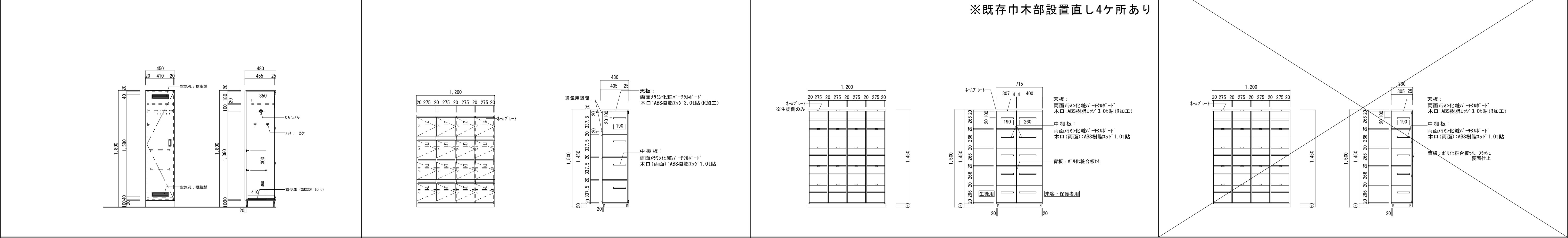
縮尺　A1:1/100　A3:1/200

図面番号　A−28　枚ノ内

符号 個数
SP-4 3
SP-6 1
SP-9 1
SP-10 1
取付場所
普通教室
職員室
多目的ホール
多目的スペース
姿図
▽FL
2,485
2,500
7,439
7,410
15,739
13,731
種別
スチールパーテーション
可動スチールパーテーション
ガラス
備考
SP-11 1
SP-12 2
SP-14 1
SS-1 1
SS-2 2
視聴覚室
家庭科室、理科室
図工室
3階 廊下
2,485
2,500
1,750
750
10,200
11,694
11,825
4,200
4,495
電動防火シャッター
特定防火設備（煙感連動閉鎖）
増築校舎建具表
符号・個数
AD-101 6
AD-102 1
AW-101 2
AW-102 6
AW-103 3
AW-104 3
T-1 3
取付場所
普通教室
廊下
男子・女子便所
形式
800
100
1,100
1,900
1,360
450
600
FIX
1,710
70
1,790
7,130
1,920
1,930
5,910
1,400
450
種別・見込
ランマ付引違アルミサッシュ 70
引違アルミサッシュ 70
同 左
点検口 50
仕上
アルミ（シルバー）
ガラス
ｱ4 学校用強化ガラス 透明タイプ
金物
レール 引手 引戸錠 クレセント
ドレープカーテン、カーテンレール
クレセント
横すべり出し金物
横すべり出し窓
内倒し金物
内倒し窓
ワンタッチ平面ハンドル（鍵付）
備考
アルミ露受播板 アルミ縦額縁
アルミ露受播板 3方アルミ縦額縁
同 左、ステンレス網 戸
同 左
溶融亜鉛メッキ鋼板
SS-3 3
SP-101 3
SP-102 6
SP-103 3
TB-1 3
TB-2 3
TB-3 6
配膳室
普通教室
男子・女子便所
教材室
女子便所
男子便所
天井面
手動開閉装置
エレベータードア
昇降路
FL
1,500
380
145
187
2,200
2,500
1,300
75
両面掲示板
1,800
1,650
7,110
ｱ4.0学校用強化ガラス 型板タイプ
1,060
1,100
1,200
1304
829
2,840
828
850
870
100 550 700
特定防火設備：大臣認定番号 EA-0277
防火区画の設備：大臣認定番号 CAT-0428
遮煙性能を有する防火設備：大臣認定番号 CAS-0429
スチールパーティション
ランマ付スチール製片引戸
ランマ付スチール製親子ドア
トイレブース 40
化粧鋼板 0.6mm
メラミン樹脂化粧板
ｱ4 学校用強化ガラス 透明タイプ
スクリーン：シリカクロス 0.7t
座板：ステンレス
ガイドレール：ステンレス
まぐさ：ステンレス
ケース：スチール
手動開閉装置
音摺レール 手つめ防止パッキン 引手 クレセント 引戸錠
廊下側：フック（40個）
上吊レール 制動装置 把手 戸先パッキン
戸当りクッション ガラリ
丁番 フランス落 円筒錠
クレセント ドアチェック
ラバトリーヒンジ 表示器錠
SUS製つなぎ 引手
SUS製つなぎ
区画王IIミニ シートシャッター
左右タイプ有
特記事項
一級建築士事務所
日新設計
NISSIN-ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷國雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333
検図
製図
日付 平成25年1月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容
既存校舎建具表（3）及び
増築校舎建具表
縮尺
A1:1/100
A3:1/200
図面番号
A－29
枚ノ内
設計番号

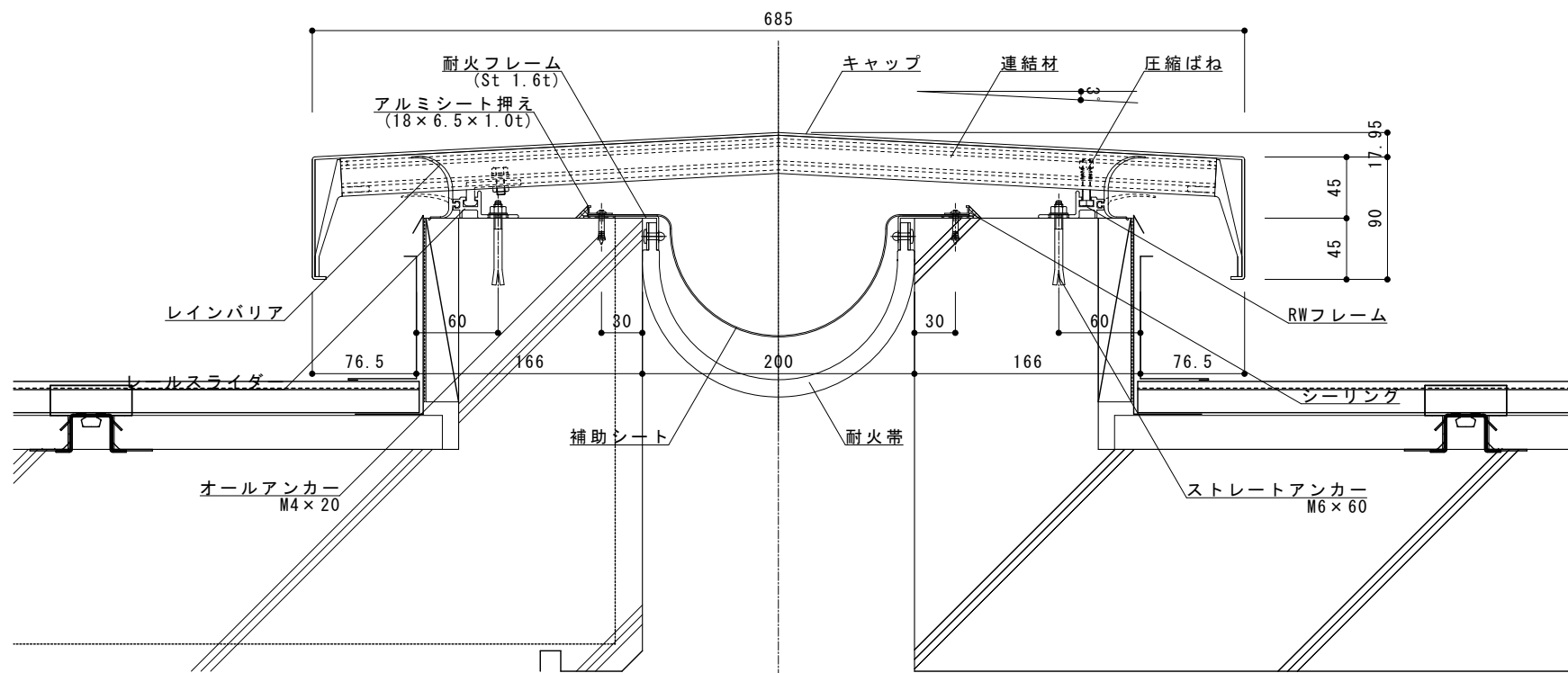
家具共通仕様

天板	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
	〔低戸棚の天板は、木口 ABS樹脂エッジ 3.0t貼(R面処理)〕
側板・中仕切	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
棚板	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
背板	ポリ化粧合板 4t貼 片面フラッシュ
可動棚	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
	棚受ダボ:ニッケルメッキ仕上 10φ @=50
開戸	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 3.0t貼
	スライドヒンジ付 マグネットキャッチ付
引違戸	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
	上下レール:ABS押出成型品 引手:ABS樹脂製
引違硝子戸	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 1.0t貼
	トーメイガラス 5t アルミハカマ付 上下アルミレール
開き硝子戸	エコクリアボード F☆☆☆☆ 20t 木口:ABS樹脂エッジ 3.0t貼(R面処理)
	トーメイガラス 3t スライドヒンジ付 マグネットキャッチ付
巾木	ポリ化粧板貼（下地ランバーコア 18t）
	※図中特記ある場合は特記による

各木口形状詳細
引違硝子戸・引違パネル戸詳細
硝子開戸・パネル開戸詳細
（上図）天板、側板、可動棚詳細 （下図）背板詳細
（上図）本体連結部詳細（下図）木ダボ詳細
K-1 教材棚 W5,400×D600×H2,400
1階・2階・3階 教材室 計6ヶ所
K-2 教師用戸棚 W1,500×D500×H1,500
1階・2階・3階 普通教室 計3ヶ所
K-3 背面ロッカー W5,940×D480×H1,200
1階・2階・3階 普通教室 計3ヶ所
K-4 掃除用具入 W450×D480×H1,800
1階・2階・3階 普通教室 計3ヶ所
K-5 職員用下足入 W1,200×D430×H1,500
昇降口 計4ヶ所
K-6 来客・保護者/児童用両面式下足入 W1,200×D715×H1,500
昇降口 計4ヶ所
※既存巾木部設置直し4ケ所あり
K-6a 児童用片面式下足入 W1,200×D330×H1,500
昇降口 計1ヶ所
K-7 手洗いカウンター W1,800×D600×H600
1階・2階・3階 男子・女子便所 計3ヶ所
K-8 水飲み流し台 W1,500×D600×H600/800
1階・2階・3階 男子・女子便所前廊下 計3ヶ所
K-9 ﾗｲﾆﾝｸﾞ W795/2,518/813 XD150Xt20
1階・2階・3階 男子・女子便所 計3ヶ所
男子便所ＳＫ用ﾗｲﾆﾝｸﾞ
男子便所小便器用ﾗｲﾆﾝｸﾞ
女子便所ＳＫ用ﾗｲﾆﾝｸﾞ
※天板のばし、現地すり合わせ
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333
日 130221N
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
家具リスト
A−30
1/30
130301修
130302修

屋根ＥＸＰ．Ｊ詳細図　S=1/5

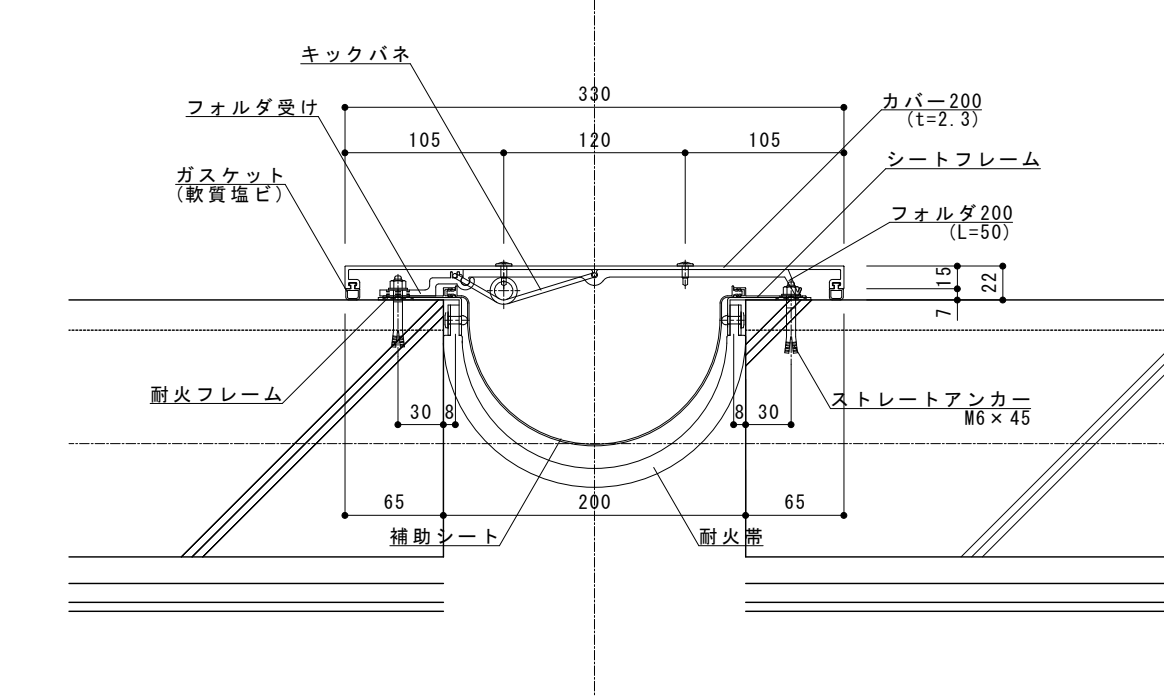
・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991　耐火帯厚み12.5mm

※可動量

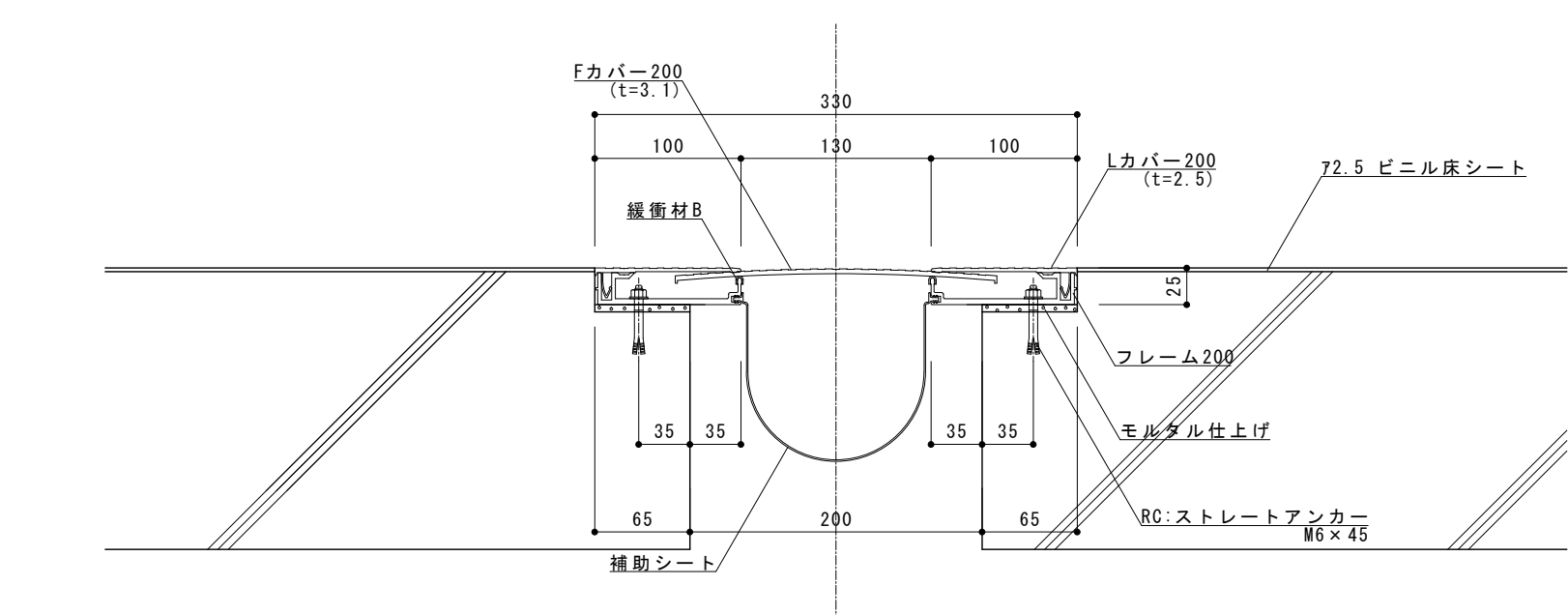
タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-RW685	＋76.5、－76.5	＋ﾌﾘｰ、－ﾌﾘｰ	＋30、－30

外壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991　耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-200G	＋73、－139	＋ﾌﾘｰ、－75	＋ﾌﾘｰ、－ﾌﾘｰ

バルコニー床ＥＸＰ．Ｊ詳細図　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-200F	＋82、－82	＋ﾌﾘｰ、－ﾌﾘｰ	＋40、－40

バルコニー立上り部ＥＸＰ．Ｊ詳細図　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-200G	＋73、－139	＋ﾌﾘｰ、－75	＋ﾌﾘｰ、－ﾌﾘｰ

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図 / 製図 / 日付　平成25年1月

設計名称：平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容：外部EXP.J、各部詳細１

縮尺：A-1:1/5　A-3:1/10

図面番号：Ａ－３１　枚ノ内

設計番号

床ＥＸＰ．Ｊ詳細図(1F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-50F	＋50、－25	＋フリー、－フリー	＋30、－30

床ＥＸＰ．Ｊ詳細図(2F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-100F	＋63、－48	＋フリー、－フリー	＋30、－30

内壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(1F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-50N	＋55、－50	＋フリー、－30	＋フリー、－フリー

内壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(2F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-100N	＋60、－100	＋フリー、－35	＋フリー、－フリー

間仕切壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(1F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-50N	＋55、－50	＋フリー、－30	＋フリー、－フリー

間仕切壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(2F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-100N	＋60、－100	＋フリー、－35	＋フリー、－フリー

天井ＥＸＰ．Ｊ詳細図(1F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-50T	＋55、－50	＋フリー、－フリー	＋フリー、－30

天井ＥＸＰ．Ｊ詳細図(2F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-100T	＋60、－100	＋フリー、－フリー	＋フリー、－35

床ＥＸＰ．Ｊ詳細図(3F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-150F	＋63、－60	＋フリー、－フリー	＋30、－30

内壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(3F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-150N	＋60、－150	＋フリー、－40	＋フリー、－フリー

間仕切壁ＥＸＰ．Ｊ詳細図(3F)　S=1/5

・EXP.J耐火仕様　適合証番号：EAJ-防炎-14991
耐火帯厚み12.5mm

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-150N	＋60、－150	＋フリー、－40	＋フリー、－フリー

天井ＥＸＰ．Ｊ詳細図(3F)　S=1/5

※可動量

タイプ	Ｘ方向	Ｙ方向	Ｚ方向
SL-100N	＋60、－150	＋フリー、－フリー	＋フリー、－40

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図 製図 日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　内部EXP.Ｊ　詳細図(1)

縮尺　A-1：1/5　A-3：1/10

図面番号　Ａ－３２

枚ノ内

設計番号

スチール製学校間仕切り仕様

区分	部材名	見込(mm)	見付(mm)	材料仕様
枠	竪枠	80	30	溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2mm
	上枠・下枠	79	30	
	無目・巾木	74	40,97	
	上下レール			溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2mm
	出入口下枠・下レール	99	25	SUS304 1.5mm HL 一体型Ｍ型レール
扉	表面材	引戸 30 開戸 33		化粧鋼板 0.6mm
	補強材			溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2mm
	芯材			ペーパーコア
	鋼製戸車			ニードルベアリング入り
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ)　ブラウン色
	エッジ(開戸)			溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2mm(扉同色)
	小窓	34,37		A-6063S-T5 アルミ アルマイト仕上
障子	竪・召合框	22	30,26	A-6063S-T5 アルミ
	上・中・下框	18	40	
	樹脂製戸車			樹脂製ベアリング入り
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ)　ブラウン色
掲示板パネル	表面材	36		ラワン合板 4mm(掲示用クロス貼)
				化粧鋼板 0.6mm
	補強材			針葉樹材
	芯材			ペーパーコア
	ステー・アンカー			溶融亜鉛メッキ鋼板 1.6mm
仕上げ	枠・障子：エポキシ樹脂粉体塗装			
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする ・製品はISO9001且つISO14001認証取得工場での生産及び管理製品とする ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること			

自閉式上吊引戸一般タイプ仕様

区分	部材名	材料仕様	板厚(mm)
枠	上枠・竪枠・方立	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.6
	点検カバー	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.6
	レール受	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.6
	レール	A-6063S-T5 アルミ	
	ランマ部パネル表面材	化粧鋼板	0.6
	ランマ部パネル下地材	ＰＢ	9.5
扉	表面材	化粧鋼板	0.6
	補強材	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.2
	芯材	ペーパーコア	
	把手	ステンレス	L=450 25Φ
	手詰防止パッキン	PVC(ブラウン色)	
仕上げ	枠:エポキシ樹脂系静電粉体塗装		

※ISO9001且つISO14001認証取得工場での生産及び管理製品とする

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図

製図

日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　各部詳細図２

縮尺　A-1:1/5　A-3:1/10

図面番号　Ａ－３３

枚ノ内

設計番号

凡 例

GL-400	既存：U型側溝高さ
(GL-55)	既存：地盤・仕上面高さ
[GL+100]	計画：地盤・仕上面高さ

外構　工事

ビオトープ広場　一部（25%）パーミアカラー吹付け	764.83m²	ア80パーミアコン 路盤（C-40）ア150
駐車スペース　アスファルト舗装	844.54m²	表層ア50 路盤（C-40）ア150
通路　アスファルト舗装	170.63m²	表層ア50 路盤（C-40）ア150
準備スペース　アスファルト舗装	499.19m²	表層ア50 路盤（C-40）ア150
歩道　ア50インターロッキングブロック	12.79m²	ア30敷砂 ア100砕石
落ふた式U形側溝300	14.86m	コンクリート蓋付
落し蓋式U型側溝250	81.66m	コンクリート蓋付
U型側溝300	4.04m	ア20敷モルタル　ア100基礎コンクリート ア100砕石
溜桝450角H=400　コンクリート蓋付	4ヶ所	同　上
溜桝300角H=400　グレーチング蓋付	3ヶ所	
歩車道境界ブロックA	18.24m	ア20敷モルタル　ア100基礎コンクリート ア100砕石　植込、花壇は除く
地先境界ブロックA	27.38m	同　上
車止めブロック　120/150×120×600	64ヶ所	アンカーピン止め 32台×2=64ヶ所
駐車場ライン引き　巾150	172.15m	32台 5.00×29+27.15+19.00=191.15m
駐車場ライン引き　車いすマーク	1ヶ所	33.46m　線巾150
駐車場ライン引き　番号表示	32ヶ所	1～9=3.78m　10～19=6.20m　20～29=8.00m 30～32=2.32m　延べ長さ：19.40 m
管理用門扉	1ヶ所	W:4.00×H:1.50
ネットフェンスH=800　埋込タイプ	11.83m	テラス前
メッシュフェンスH=1.000　埋込タイプ	9.05m	サービスヤード　NM型H100
足洗い場	1ヶ所	2.300×750　H=600

名　称	面　積	歩車道境界ブロックA	ア100コンクリートブロック仕切	客土：深さ	備　考
植込①	14.32m²	22.61m		300	サツキツツジ H:0.3*W:0.4(9株/㎡) バーク堆肥 0.06袋/㎡
植込②	10.33m²	9.98m			
植込③	18.63m²	18.39m			
植込④	5.56m²	12.81m			
植込⑤	21.64m²	46.24m			
植込⑥	6.87m²	20.64m			
花壇①スペース	103.14m²	70.15m		300	
花壇②スペース	121.84m²				
花壇③スペース	79.86m²				
菜園スペース	234.31m²		23.61m		
計	616.50㎡	270.97m	23.61m	184.72m3	

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333

検図	
製図	
日付	平成25年1月

設計名称：平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容	外構図	図面番号	A－35　枚ノ内
縮尺	A-1:1/200　A-3:1/400	設計番号	

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図 / 製図 / 日付：平成25年1月

設計名称：平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容：サービスヤード詳細図

縮尺：A-1:1/50　A-3:1/100

図面番号：Ａ－３６　枚ノ内

設計番号

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録 第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022−245−2333	検図 / 製図 / 日付 平成25年1月	設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	図面内容 外構　詳細 縮尺 A-1:1/20　A-3:1/40	図面番号 Ａ－３７ 枚ノ内 設計番号

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称　平成24年度日吉台小学校校舎増築工事
　建築場所　宮城県黒川郡富谷町日吉台一丁目１３番１号

(2) 工事種別　□新築　■増築　□増改築　□改築

(3) 構造種別
□木造（Ｗ）　□補強コンクリートブロック造（ＣＢ）　□鉄骨造（Ｓ）
■鉄筋コンクリート造（ＲＣ）　□壁式鉄筋コンクリート造（ＷＲＣ）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＷＰＲＣ）
■プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＰＲＣ）　□

(4) 階　数
地下　ー　階　地上　３　階　塔屋　ー　階

(5) 主要用途　小学校

(6) 屋上付属物
□広告塔　□高架水槽　ｋＮ　□　□
□煙　突　□キュービクル　ｋＮ　□　□

(7) 増築計画　□有（　　）　■無

(8) 付帯工事
□門塀　□擁壁　□　□　□

(9) 特別な工事
□エレベータ　１１人乗（機械室レス方式）　□リフト　ｋＮ　□ホイスト　ｋＮ
□倉庫積載床用　Ｎ／㎡　□受水槽　ｋＮ　□駐車装置

(10) 構造計算ルート　Ｘ方向　ルート３　Ｙ方向　ルート１
定着長は（ルート２同等）

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

		調合管理強度 (N/mm²)	設計基準強度 (N/mm²)	耐久設計基準強度：計画併用期間の級：一般，標準，長期	スランプ (cm)	適用箇所
	普通コンクリート	Fc=27	Fc=24	標準	15	基礎，１階床梁
		Fc=27	Fc=24	標準	18	１階床より上部
	ラップルコンクリート	Fc=18	Fc=18	―――	15	

ａ．　軽量コンクリート気乾単位容積重量（1種　KN/m³）
ｂ．　特記なき限りＪＡＳＳ５（２００９）による。

(2) コンクリートブロック（ＣＢ）
□Ａ種　□Ｂ種　□Ｃ種　厚 □１００、□１２０、□１５０、□１９０、

(3) 鉄筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■ＳＤ２９５Ａ	Ｄ１０～Ｄ１６		□
	□ＳＤ２９５Ｂ			
	■ＳＤ３４５	Ｄ１９～Ｄ２５		□
	□ＳＤ３９０			□
高強度鉄筋	□ ＳＢＰＤ１２７５／１４２０　（Ｄ１３）　ＪＩＳ　Ｇ３１３７規格品			□

(4) 鉄骨

	種　類		使用箇所	現場溶接	備　考
鋼　材	□ＳＳ４００	□ＳＭ４００Ａ、Ｂ	間仕切受け	□有■無	
	□ＳＴＫ４００	□ＳＴＫＲ４００		□有□無	
	□ＳＭ４９０Ａ	□ＳＭ４９０Ｂ		□有□無	
	□ＳＳＣ４００	□ＢＣＲ２９５		□有□無	

(5) ボルト
□トルシア形高力ボルト　Ｓ１０Ｔ（□Ｍ１２、■Ｍ１６、■Ｍ２０、□Ｍ２２、□Ｍ２４）
□ＪＩＳ形高力ボルト　Ｆ１０Ｔ（□Ｍ１２、□Ｍ１６、□Ｍ２０、□Ｍ２２、□Ｍ２４）
□溶融亜鉛めっき高力ボルト　Ｆ８Ｔ（□Ｍ１２、□Ｍ１６、□Ｍ２０、□Ｍ２２、□Ｍ２４）
□普通ボルト　（□Ｍ１２、□Ｍ１６、□Ｍ２０、□Ｍ２２、□Ｍ２４）
□構造用アンカーボルト　Ｍ２０　Ｌ＝７００㎜
□建方用アンカーボルト　Ｍ　Ｌ＝　㎜

(6) 屋根、床、壁　　使用箇所
□ＡＬＣ版　厚
□折　版　型式　Ｈ＝　厚
□デッキプレート　型式：　厚：
□キーストンプレート　型式　厚
□特殊デッキプレート

3. 地　盤

(1) 地盤調査資料
■有（■敷地内　□近隣）　■ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定
□無　（調査予定　□有　□無）

(2) 地盤調査
□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
□土質試験　□物理探査　□平板載荷試験　□

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎・杭の位置を明記すること）

ボーリング位置図

4. 地業工事

(1) 直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　■独立基礎　試験堀　□有　□無
深さGL－　m、支持層－　地盤の長期許容応力度　400KN/㎡　載荷試験　□有　□無

(2) 杭基礎　支持層　ー　砂礫

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
■コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５（２００９）による。
■セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調合計画は、工事開始前に工事監督員の承諾を得ること。
■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督員の承諾を得ること。
■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測　定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承諾を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一材料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
■建築物（仮設建築物を除く）の構造耐力上主要な部分のコンクリートに含まれる塩化物イオンの含有量は、0.3kg/m³以下とする。
■構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ－６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が１５０ｍ³をこえる場合は１５０ｍ³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５°Ｃ以下の場合は１２０分、２５°Ｃを超える場合は９０分以内とする。

(2) 鉄　筋
■鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を規準とする。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
■Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
■ガス圧接部の抜き取り検査は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年度版　５．４．９による。
外観検査　■有　□無、引張試験　□有　■無、超音波探傷試験　■有　□無
■柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工法は、■Ｈ型（タガ型）□Ｗ型（溶接型）□Ｓ型（スパイラル型）とする。
□

(3) 型　枠
■材料　合板厚　１２ｍｍを標準とする。
■型枠存置期間

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間の平均気温		せき板 基礎、梁側、柱、壁		せき板 スラブ下、梁下		支柱 スラブ下		支柱 梁下
		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種
コンクリートの材令(日)	15°C以上	２	３	支柱を取り外した後に取り外す		８	１７	２８
	5°C～15℃	３	５			１２	２５	２８
	5°C未満	５	８			１５	２８	２８
コンクリートの圧縮強度		５Ｎ／㎜²				設計規準強度の ８５%		１００%

注）１　片持ばり、庇、スパン９．０ｍ以上のはり下は、工事監督員の指示による。
注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛りかえは、小はりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）６　上表以外のセメントを使用する場合は工事監督員の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
□日本建築学会「ＪＡＳＳ６（２００７）」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□

(2) 工事監督員の承諾を必要とするもの
□製作工場　□製作要領書　□工作図　□施工計画書
□指定性能評価機関認定　（　Ｍグレード　以上又は　ランク）
□材料規格証明書または試験成績書
□鋼材　□高力ボルト　□普通ボルト　□アンカーボルト
□社内検査表　□　□

(3) 工事監督員が行う検査項目
（□印以外の項目の検査結果については、工事監督員に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　□製品検査
□建方検査　□　□

(4) 接合部の溶接は下記によること
□日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□
□

(5) 接合部の検査
□溶接部の検査（検査結果は後日工事監督員に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
□突き合わせ溶接部	超音波探傷試験	%	個	% 個	検査数は特記の外共通仕様書による
□	外観（目視）検査	%	%	%	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注）　現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

□高力ボルトは「　トルシア型（大臣認定品）　」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、シェットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
□高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として２度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装
□防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、ＪＩＳ　Ｋ５６７４、２回塗りを標準とする。
□現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
□意匠図による

7. 設備関係

□特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は工事監督員の承諾を得ること。
□設備機器の架台及び基礎については工事監督員の承諾を得ること。
□

8. その他

■諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督員に報告すること。
□必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
□

9. 特記

□積載荷重表　（Ｎ／㎡）

名称	床用，小梁用	ラーメン用	地震用	備　考
屋上	900	650	300	
教室	2,300	2,100	1,100	
便所	1,800	1,300	600	
バルコニー	3,500	3,200	2,100	
廊下	3,500	3,200	2,100	

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL　０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付　平成25年3月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容　構造設計標準仕様書
縮尺
図面番号　Ｓ-０１　枚ノ内
設計番号

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）記号

ｄ・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　Ｄ・・・部材の成　　Ｒ・・・直径

＠・・・間隔　ｒ・・・半径　℄・・・中心線　ｌＯ・・・部材間の内法距離　ｈＯ・・・部材間の内法高さ

ＳＴ・・・あばら筋　HOOP・・・帯筋　S.HOOP・・・補強帯筋　φ・・・直径又は丸鋼

２．鉄筋の加工

（１）鉄筋末端部の折曲げの形状

表２−１　鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度			１８０°	１３５°	９０°	１３５°及び９０°（幅止め筋）
折曲げ図			4d以上	6d以上	8d以上	4d以上
折曲げ内法直径R	SD295A SD295B SD345	D16以下	３ｄ以上			
		D19～D38	４ｄ以上			
	SD390	D19～D38	５ｄ以上			

１．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
２．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

３．鉄筋の継手及び定着

（１）鉄筋の重ね継手の長さ

表３−１　鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	L1（フックなし）	L1h（フックあり）
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
ＳＤ３４５	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
ＳＤ３９０	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

（注）１．L1、L1h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
２．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
４．主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、表２-２と40d（軽量コンクリートの場合は50d）の大きい値とする。
５．フックありの場合のL1hは、図３-１に示すようにフック部分ｌを含まない。

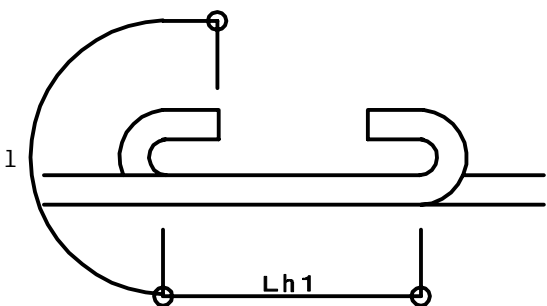



図３−１

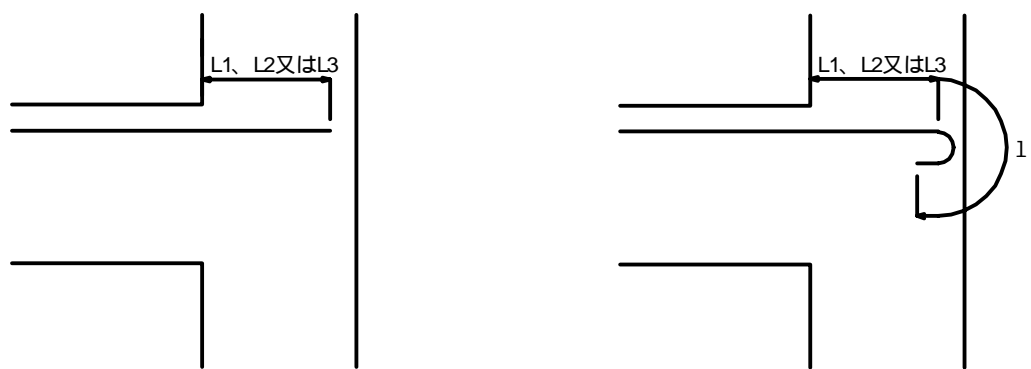
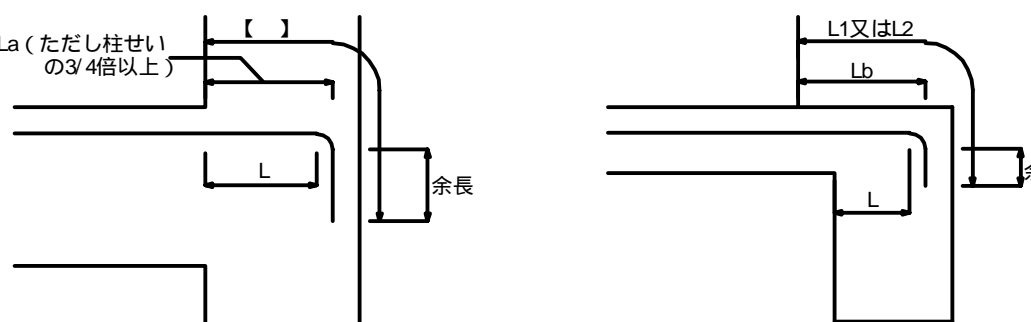
表３−２　隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	Ｌ１ｈ　１．５Ｌ１ｈ以上	Ｌ１ｈ　０．５Ｌ１ｈ
	フックなしの場合	Ｌ１　１．５Ｌ１以上	Ｌ１　０．５Ｌ１
圧接継手	−	圧接継手　ａ≧４００	
機械式継手	−	カップラー　ａ≧４００、かつ、ａ≧（ｂ+４０）mm	

（２）鉄筋の定着の長さ

表３−３　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	フックなし L1	フックなし L2	フックなし L3 小梁	フックなし L3 スラブ	フックあり L1h	フックあり L2h	フックあり L3h 小梁	フックあり L3h スラブ
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ	18	45d	40d	20d	10dかつ150mm以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24, 27	35d	30d			25d	20d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
ＳＤ３４５	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24, 27	40d	40d			30d	25d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
ＳＤ３９０	21	50d	40d			35d	30d		
	24, 27	45d	40d			35d	30d		
	30, 33, 36	40d	35d			30d	25d		

（注）１．L1、L1h：２．以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
２．L2、L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
３．L3：小梁及びスラブ下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
４．L3h：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
５．フックあり定着の場合は、図３-２に示すようにフック部分ｌを含まない。また、中間部での折り曲げは行わない。
６．軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
７．柱に取付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは、表と40d（軽量コンクリートの場合は50d）の大きい値とする。

（イ）直線定着

※表３−３の長さを全長で確保する。
梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ

小梁及びスラブの上端筋の
梁内折り曲げ定着の投影定着長さ

（注）１．仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着の長さＬが、表３-３のフックあり定着長さを確保できない場合は、全長を表３-３に示すフックなし定着の長さとし、かつ余長を８ｄ、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表３-４に示す長さ（かつ梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの３/４倍以上）をのみ込ませる。

（ロ）折曲げ定着

図３−２　定着の方法

表３−４　投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	La	Lb
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
ＳＤ３４５	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
ＳＤ３９０	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

（注）１．La：梁主筋の柱内折り曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む）
２．Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折り曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く）
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

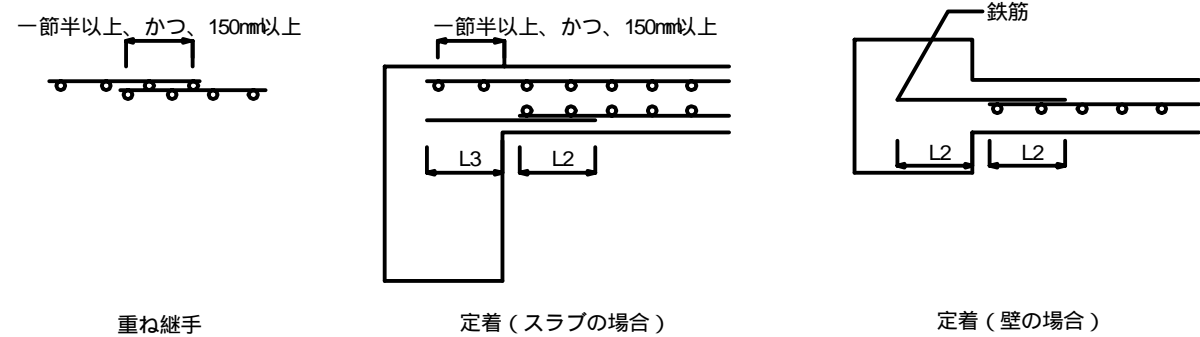



図３−３　溶接金網の継手及び定着

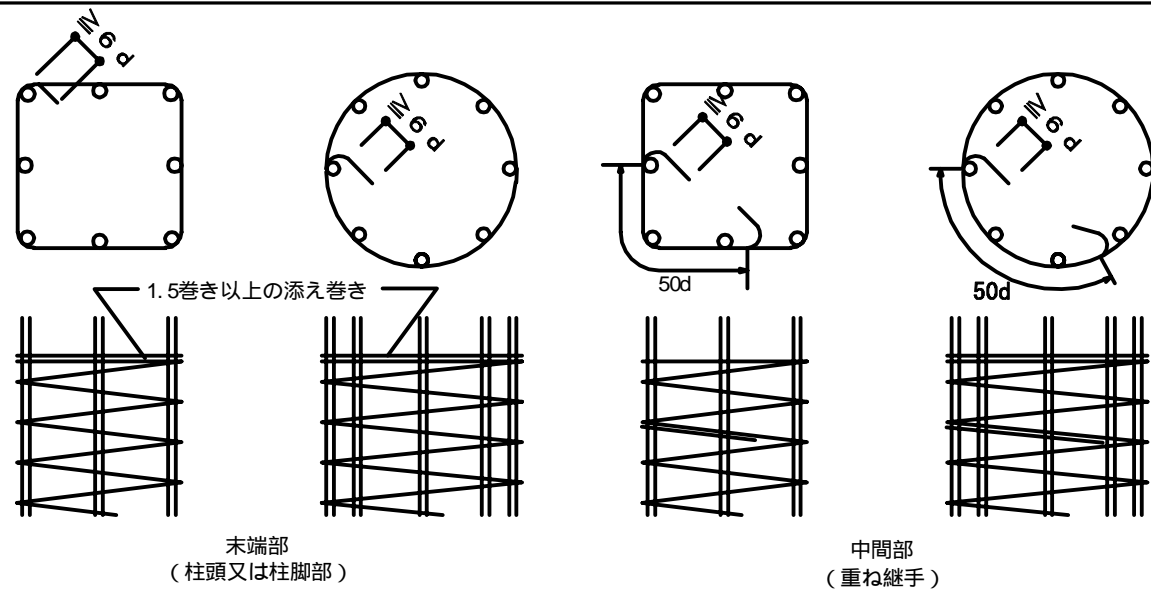



図３−４　スパイラル筋の継手及び定着

４．鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

（１）かぶり厚さ（単位：ｍｍ）

・柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表４−１　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

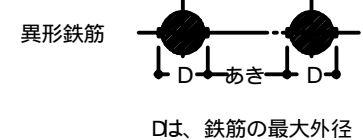
構造部分の種別				最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり		２０
		仕上げなし		３０
	柱、梁、耐力壁	屋　内	仕上げあり	３０
			仕上げなし	３０
		屋　外	仕上げあり	３０
			仕上げなし	４０
	擁壁、耐圧スラブ			４０
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			４０＊
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			６０＊
煙突等高熱を受ける部分				６０

（注）１．＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
３．スラブ、梁、基礎、及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
４．杭基礎の場合のかぶり厚さには、杭天端からとする。
５．塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

・柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。。
・鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（２）鉄筋相互のあき

・鉄筋相互のあきは図４-１により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、特記による。
１．粗骨材の最大寸法の1.25倍
２．25mm
３．隣り合う鉄筋の平均径（呼び名数値）の1.5倍

Dは、鉄筋の最大外径
図４−１　鉄筋相互のあき

・鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは上記による。
・貫通口に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（３）鉄筋のフック　（ａ～ｅに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける）

ａ．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合
ｂ．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）
ｃ．煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
ｄ．杭基礎のベース筋
ｅ．帯筋、あばら筋及び幅止め筋

※図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

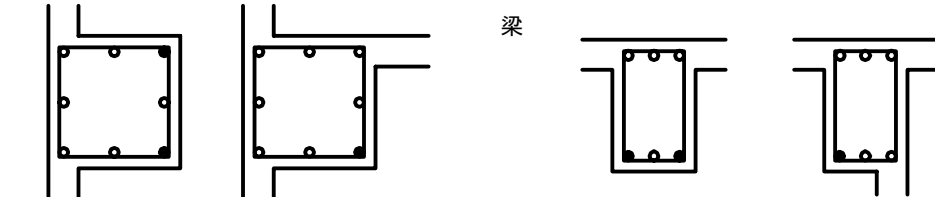
５．基礎

（１）直接基礎の配筋

図５−１　独立基礎の配筋

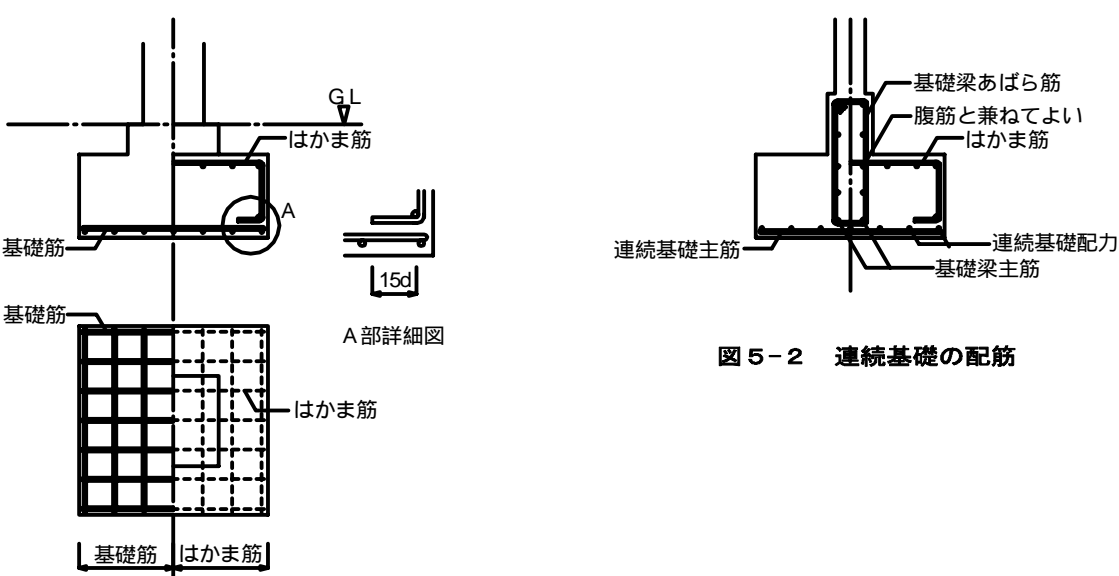



図５−２　連続基礎の配筋

（２）基礎接合部の補強配筋

※L2hを確保できない場合は、図３-２によることができる。

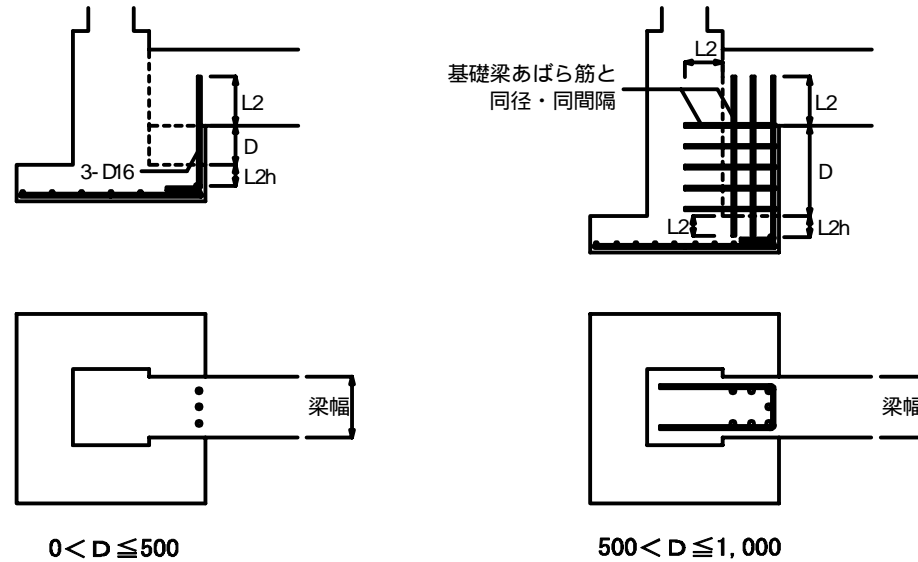



図５−３　基礎接合部の補強配筋

５．基礎梁

（１）梁筋の基礎梁内への定着

・梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は図５-１による。
・梁筋を柱内に定着する場合は、７.(１).ｂによる。

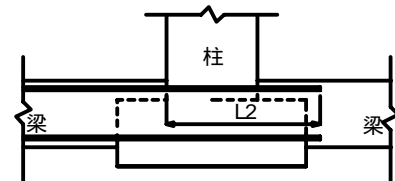



図５−１　梁筋の基礎梁内への定着

（２）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長

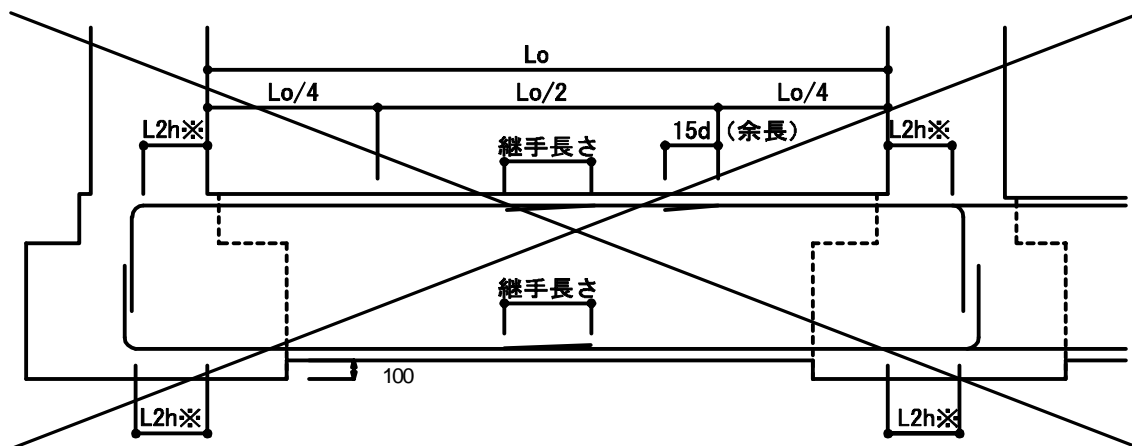



図５−２　主筋の継手、定着及び余長（その１）

（３）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長
ただし、耐圧スラブが付く場合は、（４）による。

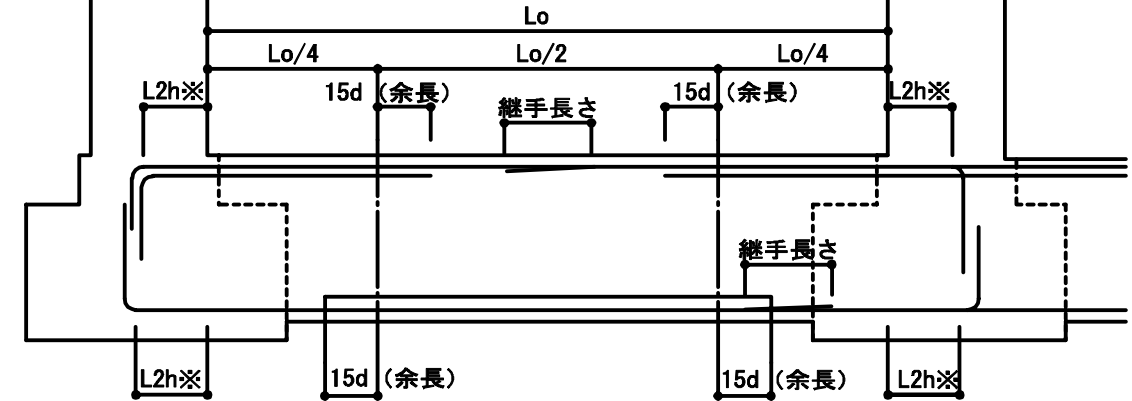



図５−３　主筋の継手、定着及び余長（その２）

（４）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長

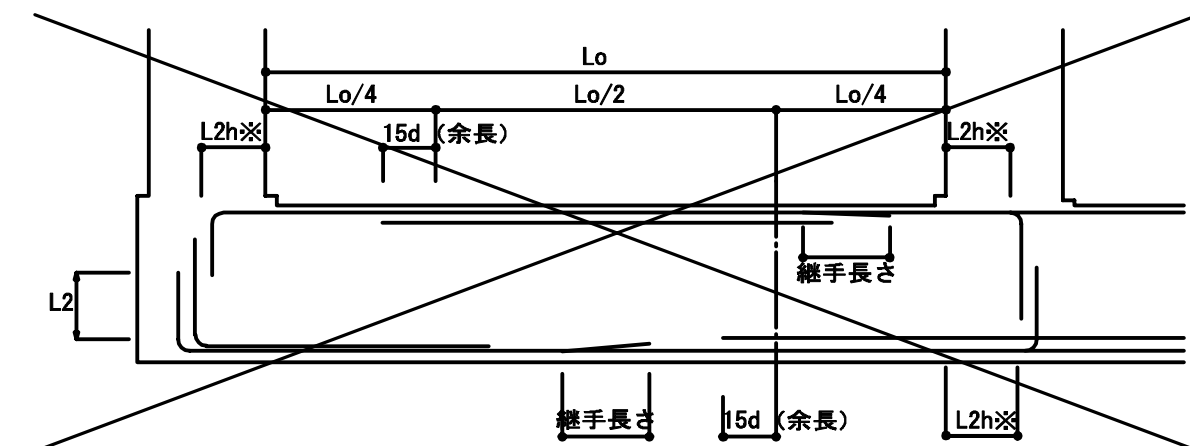



図５−４　主筋の継手、定着及び余長（その３）

１．図示のない事項は０００による。
２．——印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
※L2hを確保できない場合は、図３-２による。

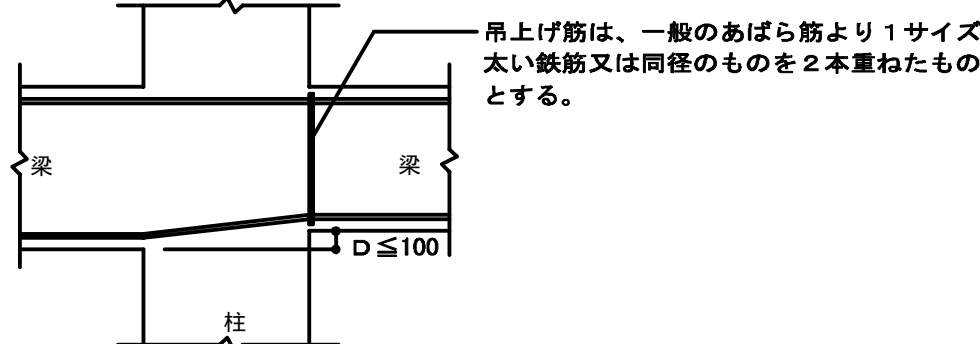
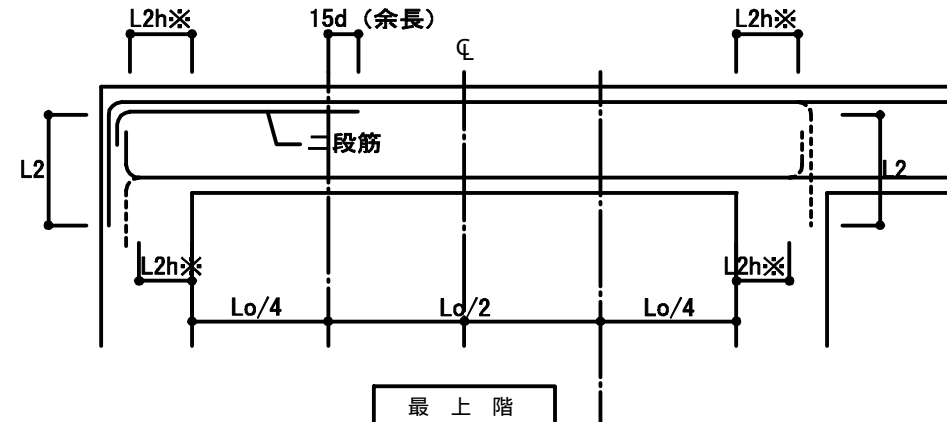
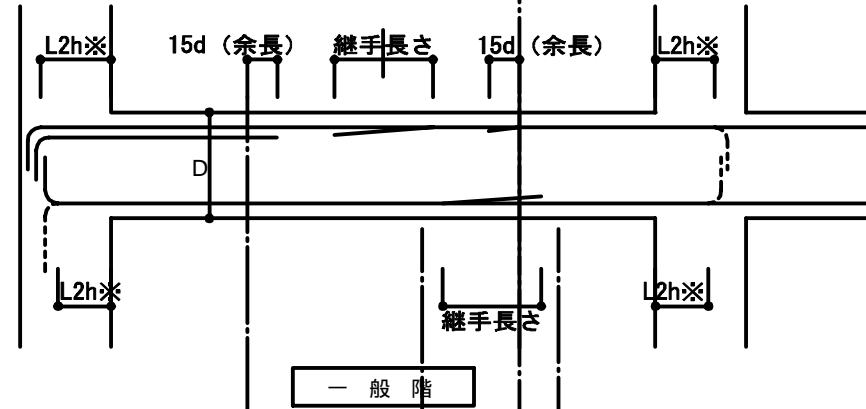
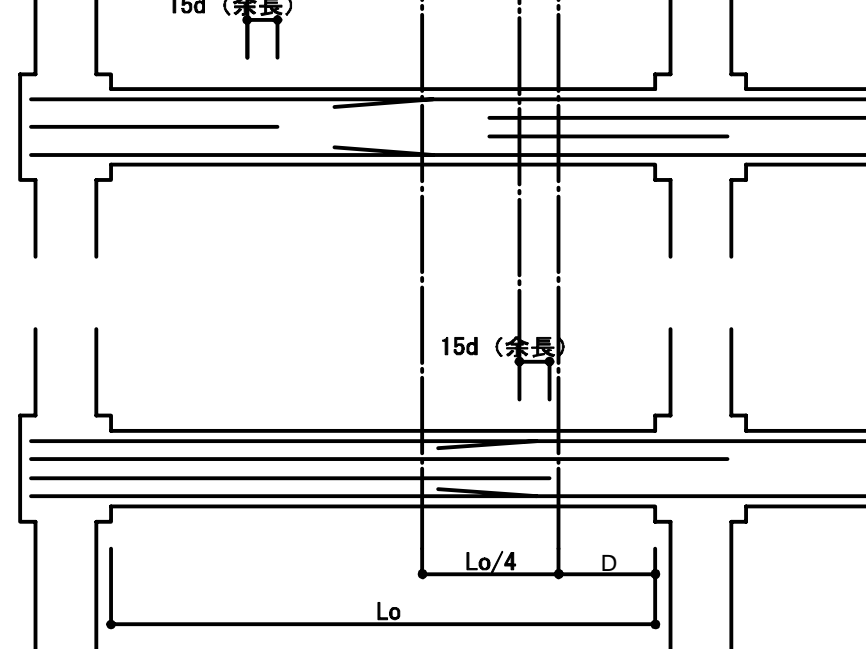
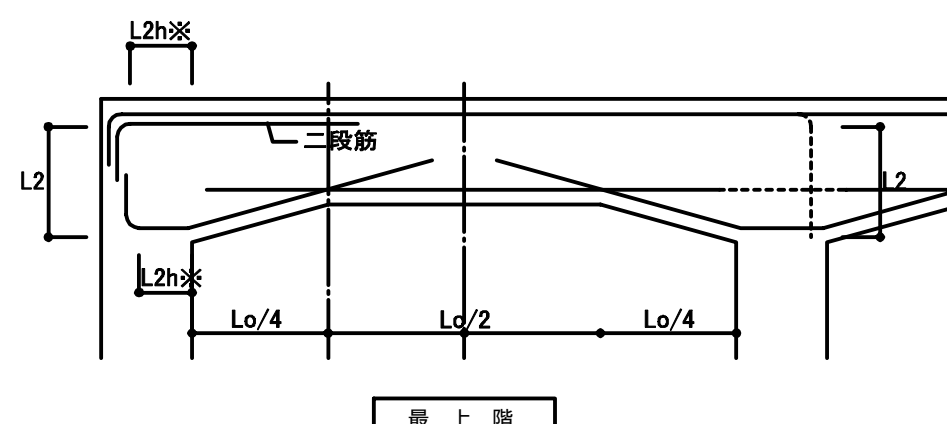
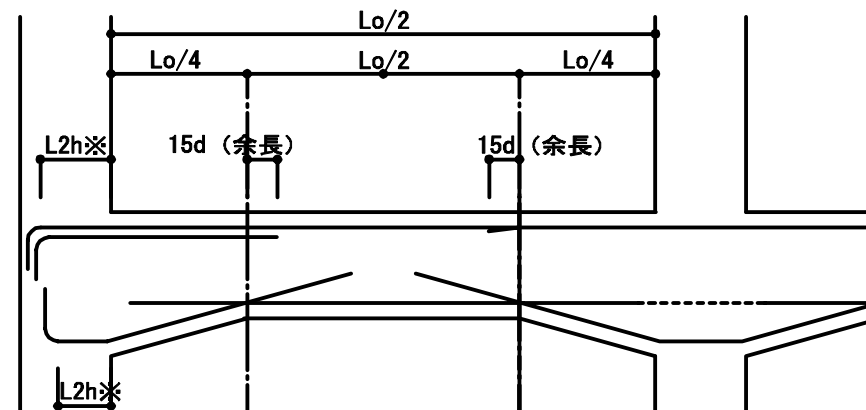
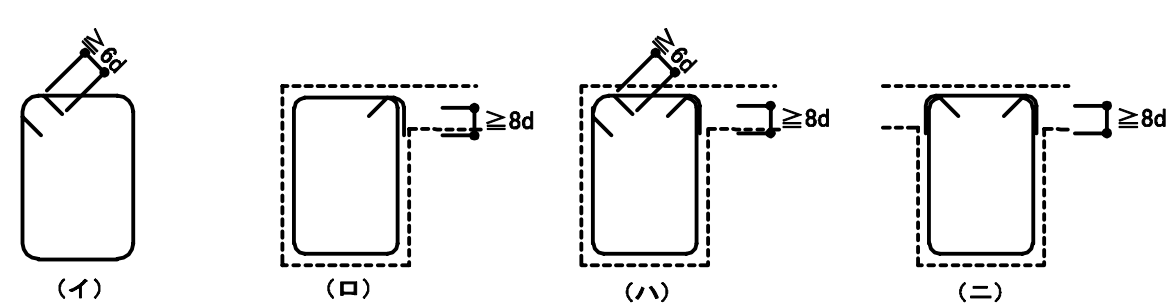
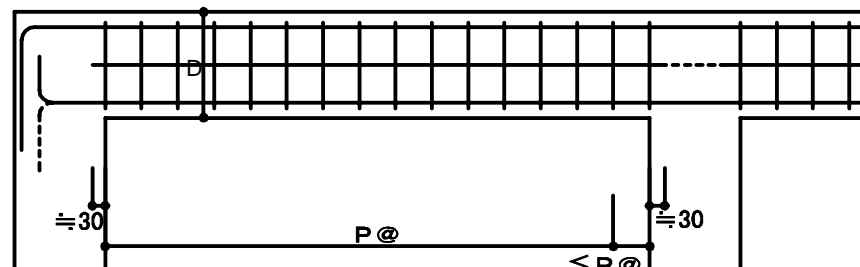
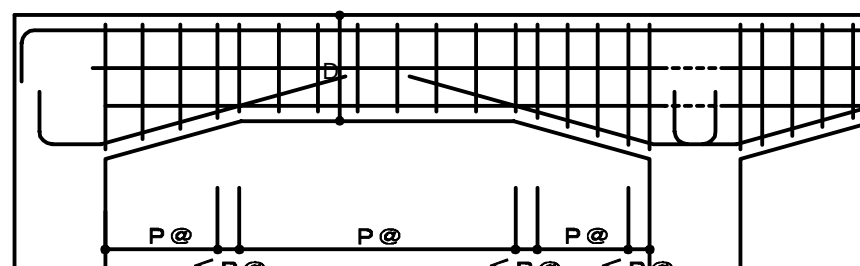
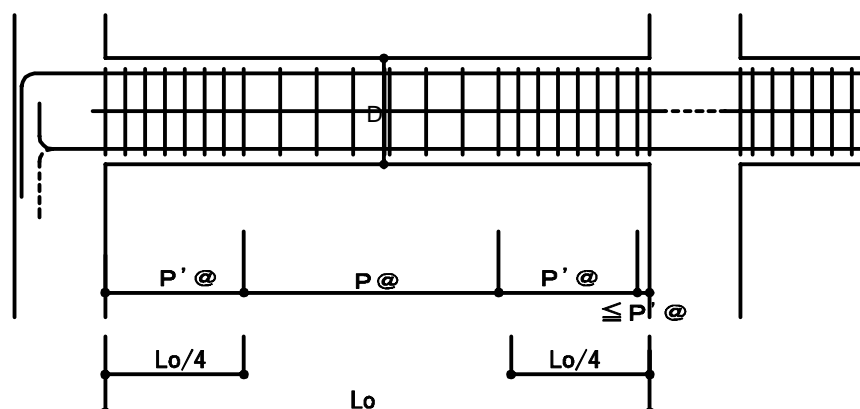
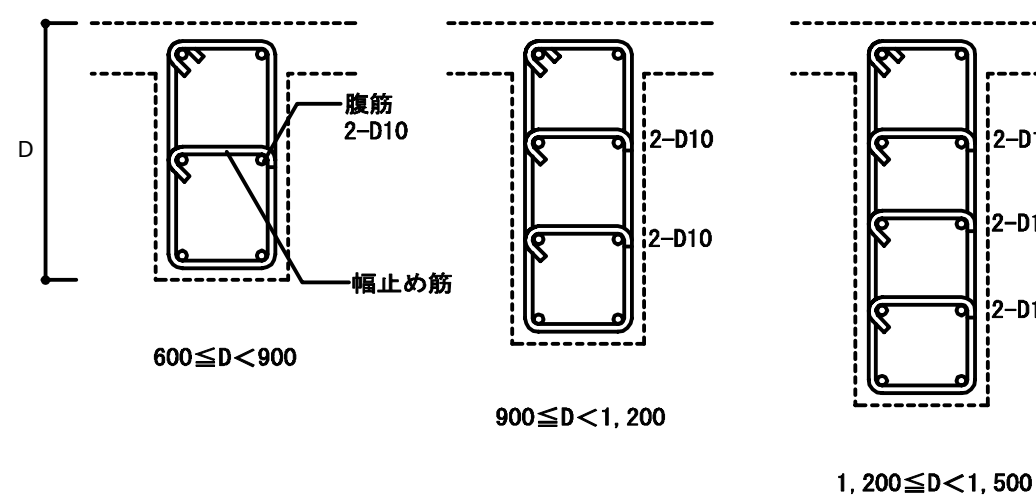
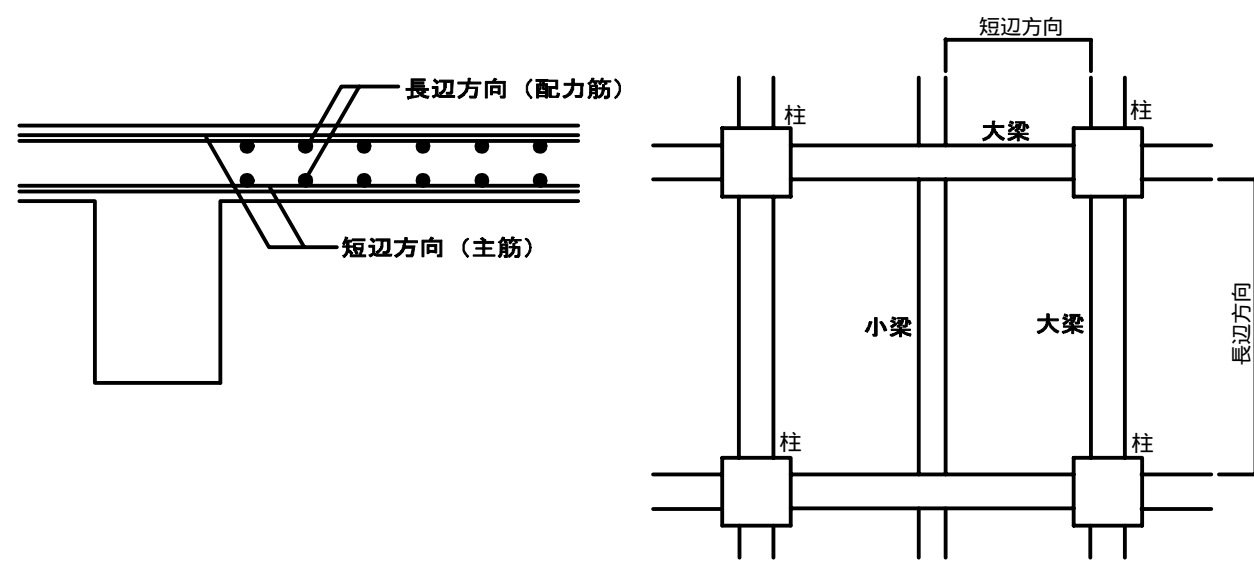
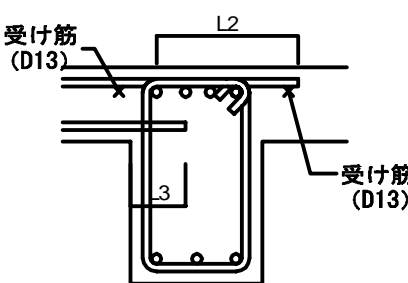
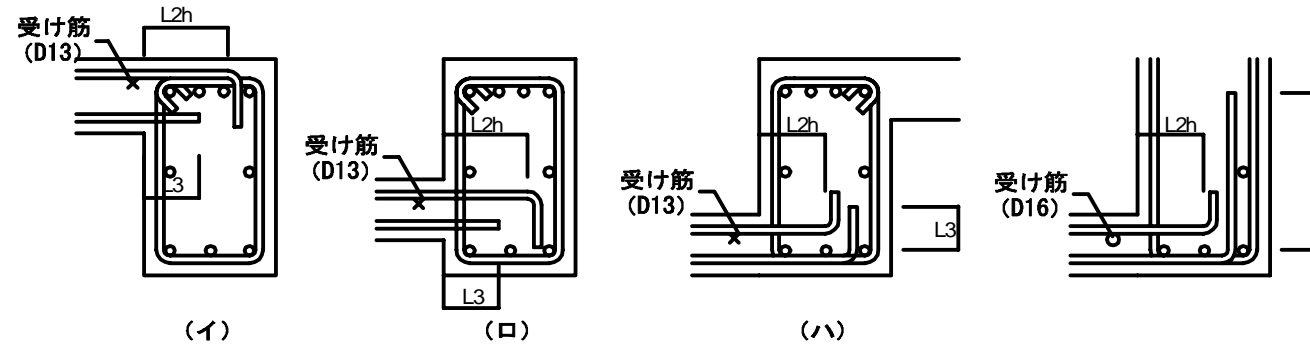
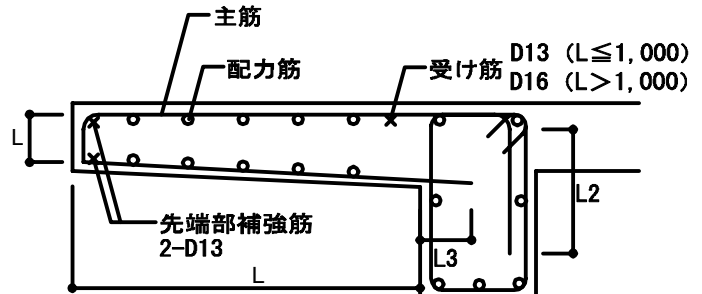
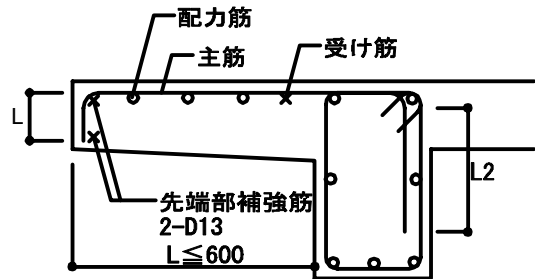
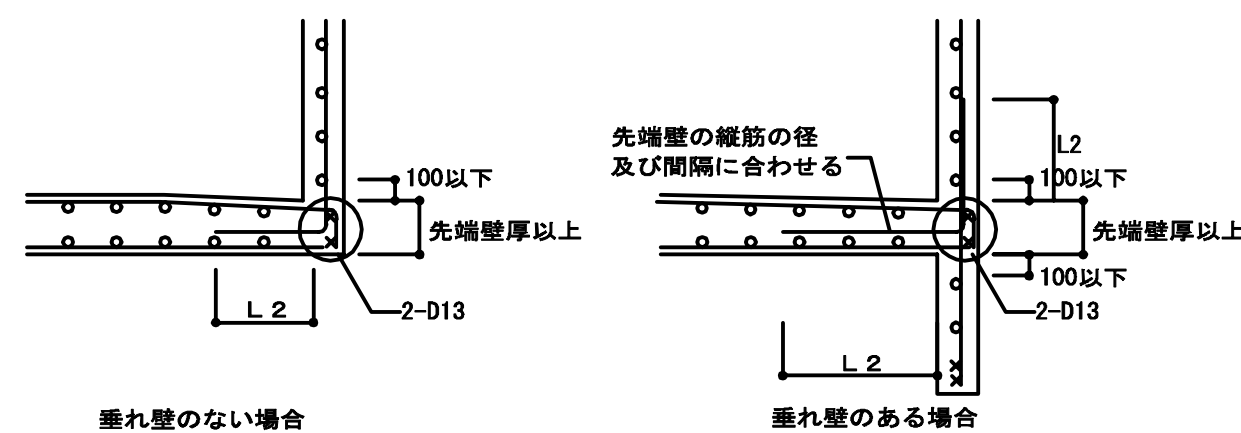
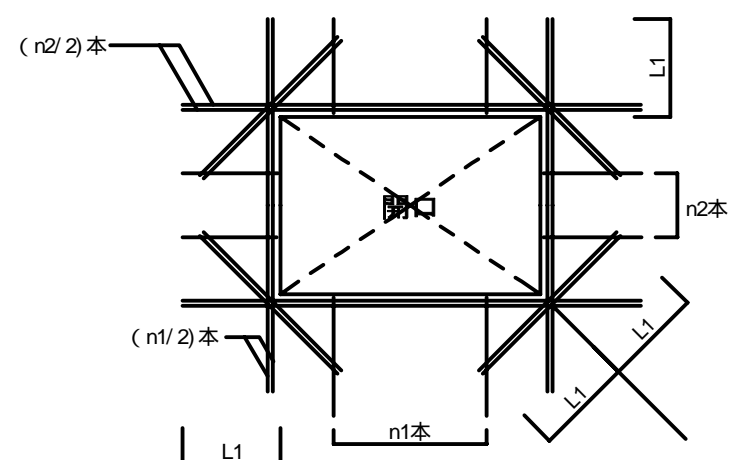
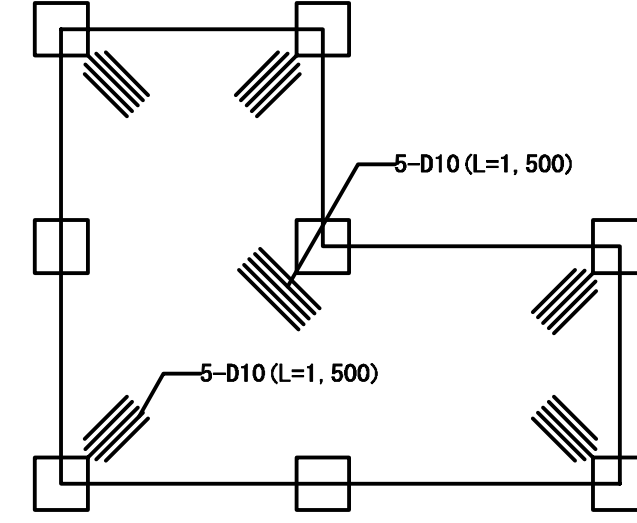
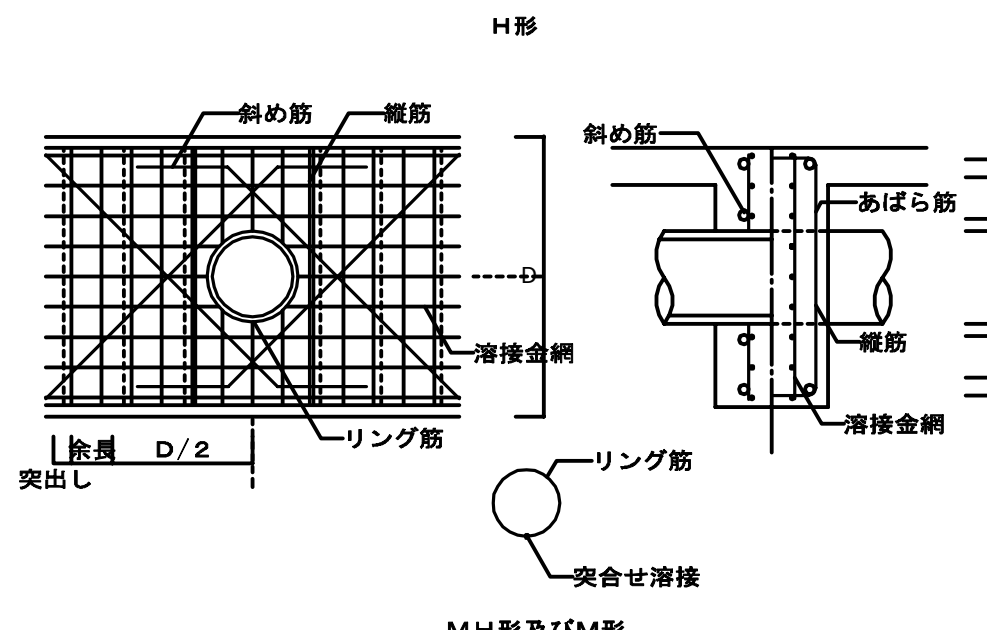
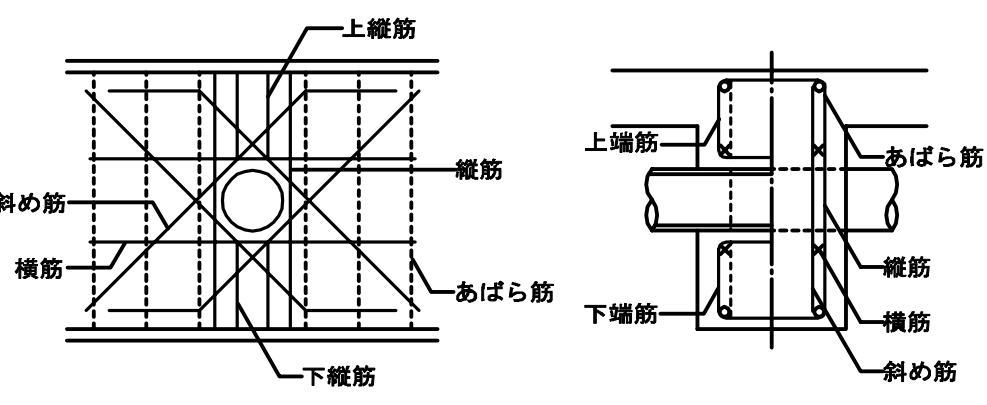
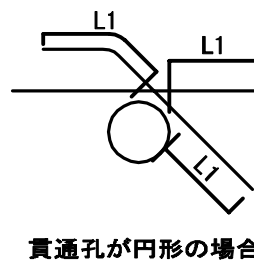
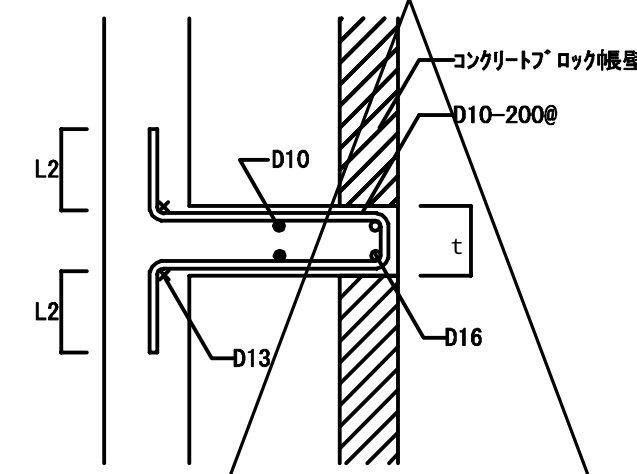
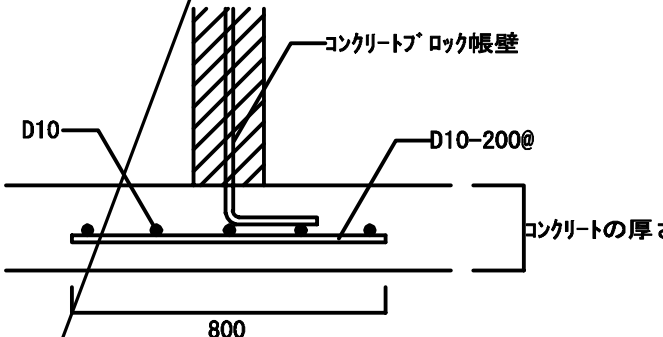
特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２−２４５−２３３３

検図
製図
日付　平成25年3月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
縮尺
図面番号　Ｓ-０２
枚ノ内
設計番号

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
（５）基礎梁のあばら筋
・あばら筋組立の形及びフックの位置は、７.(4)による。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図1.8によることができる。
一般の場合
重ね継手とする場合
図５－５　あばら筋組立の形及びフックの位置
６．柱の配筋
（１）　柱主筋の継手、定着及び余長
かぶり厚さ
500以上、かつ1,500以下
上階の鉄筋が多い場合
下階の鉄筋が多い場合
継手
定着
図６－１　柱主筋の継手、定着及び余長
（注）１．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
２．隣り合う継手の位置は、表３－２による。
（２）　帯筋の組立の形及び割付け
①　Ｈ形
②　Ｗ－１形
（注）溶接は、鉄筋の組立前に行う。
③　ＳＰ形（スパイラル筋）
④　丸形
図６－２　帯筋組立の形
１．Ｈ形を標準とする。
２．フック及び継手の位置は、交互とする。
３．溶接する場合の溶接長さＬは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
４．ＳＰ形において、柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。
５．Ｈ形の135°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ－１形とする。
帯筋
上下の断面寸法が異なる場合、帯筋は、一般の帯筋帯筋より１サイズ太い鉄筋又は同径のものを２本重ねたものとする。
梁面より割り付ける
（注）１．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1@または1.5P2@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P1@、P2@は、特記された帯筋の間隔を示す
図６－３　帯筋の割付
（３）　柱の打増し補強
帯筋と同径、同材質、同間隔
打増し部分
一方向の打増し
二方向の打増し
（注）１．柱の打増し幅（a、a1、a2）が70mm以上の場合の補強を示す。
２．帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
３．軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。
図６－４　柱の打増し補強配筋
７．梁の配筋
（１）　大梁主筋の継手、定着及び余長
ａ．梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、ｂにより柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図３．１による。
図７－１　梁主筋の梁内定着
ｂ．梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は、図３－２による。
・上端筋：曲げ降ろす。
・下端筋：原則として曲げ上げる。
ｃ．段違い梁は、図７－２による。
吊上げ筋は、一般のあばら筋より１サイズ太い鉄筋又は同径のものを２本重ねたものとする。
図７－２　段違い梁
（２）　ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長
二段筋
最上階
一般階
継手長さ
（注）１．継手中心位置は次による。
上端筋：中央Lo/2以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、Lo/4を加えた範囲以内
２．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合にはフックを付ける。
３．印は、継手及び余長を示す。
４．破線は、柱内定着の場合を示す。
※　L2hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
図７－３　大梁の重ね継手、定着及び余長
（３）　ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長
（注）１．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合にはフックを付ける。
２．印は、継手及び余長を示す。
３．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、------のように引き通すことができる。
４．破線は、柱内定着の場合を示す。
※　L2hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
図７－４　ハンチのある大梁の定着及び余長
（４）　あばら筋組立の形及びフックの位置
（注）１．（イ）形を標準とする。ただし、Ｌ形梁の場合は、（ロ）又は（ハ）、Ｔ形梁の場合は、（ロ）～（ニ）とすることができる。
２．フックの位置は、（イ）の場合は交互とし、（ロ）の場合は、Ｌ形ではスラブの付く側、Ｔ形では交互とする。
なお、（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。
図７－５　あばら筋組立の形
（５）　あばら筋の割付け
ａ．間隔が一様で、ハンチのない場合
図７－６　あばら筋の割付け（その１）
ｂ．間隔が一様で、ハンチがある場合
図７－７　あばら筋の割付け（その２）
ｃ．梁の端部で間隔の異なる場合
（注）１．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
２．図中のＰ@、Ｐ'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
図７－８　あばら筋の割付け（その３）
（６）　腹筋及び幅止め筋
腹筋 2-D10
幅止め筋
600≦D＜900
900≦D＜1,200
1,200≦D＜1,500
（注）１．腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
２．幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。
図７－９　腹筋及び幅止め筋
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３
検図
製図
日付　平成25年3月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容　鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
縮尺
図面番号　S-03
設計番号
枚ノ内

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）
（7） 小梁主筋の継手、定着及び余長
a 連続小梁の場合
図７－１０ 小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）
b 梁の端部で間隔の異なる場合
図７－１１ 小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）
（注）１．━印は、余長位置を示す。
２．梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
３．図示のない事項は５．基礎梁（１）～（４）及び７．梁の配筋（１）～（３）に準ずる
４．破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L2h、L3hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
a 先端に小梁のない場合
一般階
最上階
（注）１．━印は、余長位置を示す。
２．先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
３．図示のない事項は７．梁の配筋（１）～（３）に準ずる
※ L2h、L3hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
図７－１２ 片持梁主筋の定着及び余長
b 先端に小梁がある場合
先端小梁（頭つなぎ梁）
片持梁
先端小梁
片持梁鉄筋折り下げ
小梁外端部
小梁連続端部
垂直断面
（注）１．図示のない場合は、aによる。
２．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
３．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。
図７－１３ 片持梁主筋の定着
８．壁及びその他の配筋
（１） 壁の基準配筋
種別 | 縦筋及び横筋 | 断面図（mm）
W12 | D10-200@シングル | 120
W15A | D10-150@シングル | 150
W15B | D10-100@シングル
W18A | D10-200@ダブル | 180
W18B | D10-150@ダブル
W20A | D10-200@ダブル | 200
W20B | D10-150@ダブル
（注）壁筋の配筋順序は、規定しない。
表８－１ 壁の基準配筋
種別 | 縦筋及び横筋 | 断面図（mm）
KW1 | 縦筋 D13-200@ダブル | 横筋 D10-200@ダブル | 180
KW2 | 縦筋 D13-150@ダブル | 横筋 D10-200@ダブル | 200
（注）縦筋は、横筋の外側に配筋する。
表８－２ 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋
（２） 壁の継手及び定着
柱
梁
主筋位置
≦P@
P@
（注）１．図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
２．壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL2とする。
３．幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
図８－１ 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋
（３） 壁の交差部及び端部の配筋
継手L2
1-D13
2-D13
交差部（水平断面）
端部（垂直及び水平断面）
外壁の端部（垂直及び水平断面）
4-D13
図８－２ 壁の交差部及び端部の配筋
（４） 壁の開口部補強
耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表８－３、B形は表８－４とする。
壁の種別 | 補強筋 縦横 | 斜め
W12、W15 | 1-D13 | 1-D13
W18、W20 | 2-D13 | 2-D13
表８－３ 壁開口部補強筋（A形）
壁の種別 | 補強筋 縦横 | 斜め
W12、W15 | 2-D13 | 1-D13
W18、W20 | 4-D13 | 2-D13
表８－４ 壁開口部補強筋（B形）
開口
図８－３ 壁開口部補強筋の定着長さ
９．スラブの配筋
（１） スラブの基準配筋
配筋種別 | 短辺方向（主筋）全域 | 長辺方向（配力筋）全域
S1 | D13-100@ | D13-100@
S2 | 同上 | D13-150@
S3 | 同上 | D10,13-150@
S4 | D13-150@ | D13-150@
S5 | 同上 | D10,13-150@
S6 | 同上 | D10-150@
S7 | D10,13-100@ | D10、D13-150@
S8 | D10、D13-150@ | D10-150@
S9 | 同上 | D10-200@
S10 | D10、D13-200@ | D10,13-200@
S11 | 同上 | D10-200@
S12 | 同上 | D10-250@
S13 | D10-200@ | D10-200@
S14 | 同上 | D10-250@
（注）上端筋、下端筋とも同一配筋とする。
表９－１ スラブの基準配筋
長辺方向（配力筋）
短辺方向（主筋）
短辺方向
長辺方向
大梁
小梁
柱
（注）１．配筋の割付は、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
２．鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
図９－１ スラブの配筋
（２） スラブ筋の定着及び受け筋
受け筋（D13）
図９－２ スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）
受け筋（D16）
（イ） （ロ） （ハ）
一般スラブの場合
耐圧スラブの場合
（注）１．L2hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
図９－３ スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）
（３） 片持スラブの基準配筋
配筋種別 | | 主筋
CS1 | 上 | D13-100@
| 下 | D13-200@
CS2 | 上 | D13-150@
| 下 | D13-300@
CS3 | 上 | D10,13-150@
| 下 | D10,13-300@
CS4 | 上 | D10,13-200@
| 下 | D10-200@
CS5 | 上 | D10-200@
| 下 | D10-400@
CS6 | 上 | D10,13-200@
| 下 | —
CS7 | 上 | D10-200@
| 下 | —
表９－２ 片持スラブの基準配筋
主筋
配力筋
受け筋
D13（L≦1,000）
D16（L＞1,000）
先端部補強筋 2-D13
図９－４ 片持スラブの配筋（CS1からCS5）
L≦600
図９－５ 片持スラブの配筋（CS6からCS7）
１．先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
２．スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。
（４） 片持スラブの先端に壁が付く場合の配筋
先端壁の縦筋の径及び間隔に合わせる
100以下
先端壁厚以上
2-D13
垂れ壁のない場合
垂れ壁のある場合
図９－６ 先端に壁が付く場合の配筋
（５） スラブの開口部
（n2/2）本
n2本
（n1/2）本
n1本
開口
（注）１．スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（L=2L1）シングルを上下筋の内側に配筋する。
２．スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
図９－７ スラブ開口部の補強配筋
（６） 出隅部及び入隅部の補強
a．屋根スラブの出隅及び入隅部
5-D10（L=1,500）
補強筋を上端筋の下側に配置する
図９－８ 出隅及び入隅部の補強配筋
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３
検図
製図
日付 平成25年3月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）
縮尺
図面番号 S-04
枚ノ内
設計番号

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）
b．片持ちスラブの出隅部
出隅部分の補強筋
一般スラブ配力筋
補強筋の定着
(注)　L'1≧L'2とする
出隅部分補強配筋
出隅部
出隅受け部
(注)　１．L'1≧L'2とする
２．出隅受け部配筋は柱又は梁にL1定着する。
出隅受け部配筋
図９－９　片持スラブ出隅部の補強配筋
（７）　スラブの打継ぎ補強筋
・土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
・ａ＞300mmの場合は特記による
スラブ筋と同径、同材質、同間隔
中間部
端部
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。
図９－１０　打継ぎ補強配筋
土間コンクリート補強筋
土間コンクリート補強筋の鉄筋径及び間隔に合わせる
図９－１１　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋
１０．階段の配筋
（１）　片持スラブ形階段の基準配筋
配筋種別 KA1 KA2 KA3 KA4
配筋図
D10-300@ D13 2-D13
表１０－１　片持ちスラブ形階段の基準配筋
(注) １．壁配筋は表８－２による
２．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす
３．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表３－３のL3とする。
図１０－１　片持ちスラブ形階段配筋の定着
（２）　二辺固定スラブ形階段の基準配筋
配筋種別 | 上端筋、下端筋とも（全域）
KB1 | D13-200@
KB2 | D13-150@
KB3 | D13-100@
KB4 | D13、D16-150@
KB5 | D16-150@
KB6 | D16-125@
KB7 | D16-100@
表１０－２　二辺固定スラブ形基準配筋
図１０－２　二辺固定スラブ形階段配筋（その１）
(注)下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。
図１０－３　二辺固定スラブ形階段配筋（その２）
※　L2hを確保できない場合は、図３－２によることができる。
１１．梁貫通孔及びその他の配筋
（１）　梁貫通孔の配筋
ａ．梁貫通孔補強筋の名称等は、図１１－１による。
ｂ．孔の径は、梁せいの１／３以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
ｃ．孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より１／３Dの範囲には設けてははならない。
ｄ．孔は柱面から、原則として1.5D（Dは梁せい）以上離す。ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。
ｅ．孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
ｆ．縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
ｇ．補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図１１－２による。
ｈ．孔の径が梁せいの１／１０以下、かつ150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
ｉ．溶接金網の余長は１格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
ｊ．溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取付ける。
なお、リング節は、溶接金網に４箇所以上溶接する。
ｋ．溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
上縦筋 縦筋 斜め筋 横筋 あばら筋 下縦筋 上端筋 下端筋
H形
溶接金網 リング筋 突出し 余長 かぶり 貫通孔外径 突合せ溶接
MH形及びM形
図１１－１　梁貫通孔補強筋の名称等
貫通孔が円形の場合
図１１－２　補強筋の定着長さ
（２）　梁貫通孔の補強形式
表１１－１　H形配筋
配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 横筋 | 上下縦筋
H1 | 2-2-D13 | なし | なし | なし
H2 | | 2-2-D13 | なし | なし
H3 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13
H4 | 4-2-D16 | | |
H5 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13
H6 | 4-2-D19 | | |
H7 | 4-2-D22 | | |
(注)-------は、一般部分のあばら筋を示す。
表１１－２　M形配筋
配筋種別 | 斜め筋 | 溶接金網
M1 | 2-2-D13 | なし
M2 | 4-2-D13 |
M3 | 4-2-D13 | 2-6φ-100@
M4 | 6-2-D13 |
(注)-------は、一般部分のあばら筋を示す。
表１１－３　MH形配筋
配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 溶接金網
MH1 | 2-2-D13 | なし | なし
MH2 | | 2-2-D13 |
MH3 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-6φ-100@
MH4 | 4-2-D13 | |
MH5 | 4-2-D16 | |
MH6 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-6φ-100@
MH7 | 4-2-D19 | |
(注)-------は、一般部分のあばら筋を示す。
（２）　コンクリートブロック帳壁との取合い
コンクリートブロック帳壁
D10-200@
図１１－３　控壁の配筋（水平、垂直とも）
コンクリートの厚さ
図１１－４　壁付き土間コンクリートの補強配筋
特記事項
一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３
検図 製図 日付 平成25年3月
設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）
図面番号 S-05
枚ノ内
縮尺
設計番号

テノコラム地業特記仕様書

1．工事概要

本地業は、テノコラム工法による地盤改良地業である。テノコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材（以下、固化材液と称す）を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した撹拌装置を用いて、原地盤土と機械的に撹拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

2．一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(日本建築センター)および「建築工事標準仕様書・同解説 JASS4 杭・地業および基礎工事」(日本建築学会)による。

3．特記事項

(1) コラムの径、掘削深度（設計コラム長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
(2) コラムの設計基準強度はＦｃ＝ 1800 kN/m2 （ 1.8 N/mm2)とする。
(3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。
(4) 本工事工法は、技術審査証明取得工法とする。又、事前にその証明書を監理者に提出し、承認を得ることとする。

4．施工計画

(1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、テノコラム協会に所属する会員とする。
(2) 施工計画書
工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

① 工事件名及び工事場所
② コラム仕様及び数量
〔コラム径・掘削深度（設計コラム長＋空掘長）・本数・設計基準強度 〕
③ 工事期間及び工程
④ 工事の組織(建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名及び責任者、各種作業の主たる従事者）
⑤ 施工手順
⑥ 施工機器
⑦ 固化材配合条件
⑧ 施工管理（立会い、管理項目、施工記録）
⑨ 品質検査
⑩ 安全衛生対策
⑪ 地盤概要（土質柱状図）
⑫ コラム伏図
⑬ 技術審査証明書（写）

5．施工

(1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
(2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
ａ．撹拌混合装置をコラム心に合わせる。
ｂ．固化材液を吐出せずに、空掘り部を所定の深度まで掘進する。
ｃ．固化材液を吐出しながら掘進・撹拌混合する。
ｄ．注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
ｅ．先端練り返し工程が終了したら、撹拌軸を逆回転し引上げ撹拌混合する。
(3) 設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長という。
(4) 本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6．施工機械

(1) 共回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に撹拌混合できる撹拌装置を用いること。
(2) 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。
(3) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
(4) ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7．配合管理

(1) 固化材液に使用する材料は、セメント又はセメント系固化材とする。
(2) 配合強度
変動係数を25%と想定し、９項に規定する抜き取り箇所数N、合格確率 80%とした下表を用いて設定する。

N	1	2	3	4～6	7～8	9
α	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

Ｘf＝α×Ｆc　［α：割り増し係数、Ｘf：配合強度］

(3) 室内配合試験
固化材液の配合（Ｗ／Ｃ）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて、現場室内強度比を考慮して、配合強度を満足するように決定する。あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。

8．施工管理

(1) 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について施工管理する。

項目		管理項目	管理方法
①形状・寸法	：	鉛直性	改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する
		コラム心	事前にコラム心にマークを設ける
		掘削深度	深度計で計測し記録する
		コラム径	撹拌装置の形状・寸法を記録する
②固化材	：	材料計量	水、固化材の重量
		固化材液の密度	マッドバランス等
		固化材液の添加量	スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する
③撹拌混合度	：	撹拌混合回数	スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する
④支持地盤	：	仕事量	スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する

（着底判定仕事量は、先行コラムの施工状況により、監督員と協議して決定する）

(2) コラムの芯ズレ
コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員（監理者）と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、設計図書で示された仕様を満足しているものとする。
(3) 施工の立会い
建築工事の請負者は、本地業責任者(請負業者の中から選定)及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立ち会うものとする。

9．品質検査

(1) 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数
① 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5ｍとする。
② 検査対象層は　盛土　，　砂質粘土　であり、設計対象層を　砂質粘土　とする。
設計対象層の平均強度は他の検査対象層の平均強度を超えないこと。
超えている場合は、最も低い平均強度の層を設計対象層とする。
③ 調査箇所数
頭部コア　100コラムを1単位とし、1単位毎に1ヶ所
深度コア　100コラムを1単位とし、1単位毎に1ヶ所
(2)コア採取率による調査
コアボーリング調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でコア採取率を調査する。
コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%以上、深さ1m毎に粘性土85%以上、砂質土で90%以上あることを確認する。
(3) 合否の判定
① 設計対象層についての抜取箇所数をＮとする。1ヶ所あたりは３個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
③ 検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Ａによる。
④ 検査手法Ａによる品質検査
合否の判定は検査対象層におけるＮヶ所（抜取箇所数）の一軸圧縮試験結果が下式を満足すれば合格とする。

$\overline{X}_N \geqq X_L = Fc + ka \cdot \sigma$

$\overline{X}_N$： Ｎヶ所の一軸圧縮強度の平均値(N/mm2 ,kN/m2)
X_L： 合格判定値(N/mm2 ,kN/m2)
Ｆc： 設計基準強度(N/mm2 ,kN/m2)
ｋa： 合格判定係数
σ ： 標準偏差(N/mm2 ,kN/m2) $= v \cdot \overline{q}_{ud}$

（ v ：変動係数、品質確認書により想定する
$\overline{q}_{ud}$：想定した平均一軸圧縮強さ(N/mm2 ,kN/m2) ）

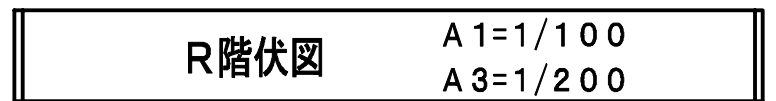
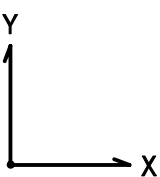
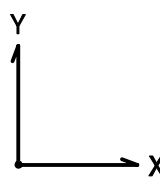
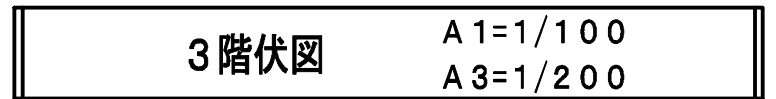
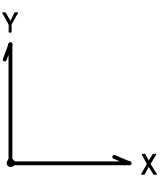
抜き取りヶ所数N	1	2	3	4～6	7～8	9
合格判定係数 ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

10．報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に３部提出する。

① コラムの伏図及び番号
② コラムの施工日
③ コラムの径及び実施コラム長
④ 掘削深度
⑤ 撹拌混合回数
⑥ 仕事量
⑦ 固化材液の配合と固化材の使用量
⑧ コア供試体の一軸圧縮強度試験結果及びボーリングコアを用いたコア採取率
⑨ 合否判定結果

11．その他

2階伏図 A1=1/100 A3=1/200
特記外 ・スラブ天端 2FL−15
・梁天端 2FL−30
・（ ）内は2FLからの梁天端を示す
・スラブ符号 S2
・壁符号 W15
・▲印は、構造用スリットを示す。
R階伏図 A1=1/100 A3=1/200
特記外 ・スラブ梁天端は水勾配による
・スラブ符号 S1
RFL±0
RFL+2,003
水勾配 3.5/10
RG4 (+995.75)
RG3 (−450)
下部ピット
深層混合処理工法下端
基礎・1階伏図 A1=1/100 A3=1/200
特記外 ・スラブ天端 1FL−15
・地中梁天端 1FL−165
・（ ）内は1FLからの地中梁天端を示す
・スラブ符号 S3
・壁符号 W15
・▲印は、構造用スリットを示す。
3階伏図 A1=1/100 A3=1/200
特記外 ・スラブ天端 3FL−15
・梁天端 3FL−30
・（ ）内は3FLからの梁天端を示す
・スラブ符号 S2
・壁符号 W15
・▲印は、構造用スリットを示す。
特記事項
一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333
検図
製図
日付 平成25年3月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容 各階伏図
縮尺 1/100
図面番号 S-07
枚ノ内
設計番号

地中大梁リスト

A1=1/30
A3=1/60

特記外
- ・STP □−D13−@200
- ・腹筋 6−D10
- ・巾止メ筋 D10−@1，000以下

符号	FG1		FG2		FG3		FG4	
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面								
BxD	400×1200		400×1200		400×1200		400×1200	
上端筋	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25
下端筋	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	6-D25	4-D25	3-D25
スターラップ								
腹筋								

符号	FG5	FG6		FG7	FG8	FG9	FCG1	FCG2	FCG4
位置	全断面	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面									
BxD	400×1200	400×1200		400×1200	400×1200	400×1200	400×1200	400×1200	400×1200
上端筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
下端筋	4-D25	4-D25	7-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
スターラップ									
腹筋									

柱リスト

A1=1/30
A3=1/60

特記外
- ・柱梁交差部HOOP □−D13−@100

階	符号	3C1	3C2	3C3
3階	断面	750×750	750×750	750×750
	主筋	12−D25	16−D25	20−D25
	HOOP	□−D13−@100	⊟−D13−@100	⊞−D13−@100
	備考			
	符号	2C1	2C2	2C3
2階	断面	750×750	750×750	750×750
	主筋	12−D25	16−D25	20−D25
	HOOP	□−D13−@100	⊟−D13−@100	⊞−D13−@100
	備考			
	符号	1C1	1C2	1C3
1階	断面	750×750	750×750	750×750
	主筋	12−D25	16−D25	20−D25
	HOOP	□−D13−@100	⊟−D13−@100	⊞−D13−@100
	備考			

地中小梁リスト

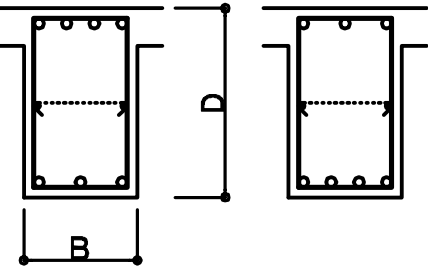
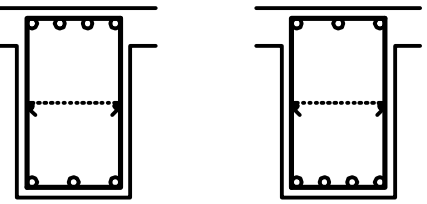
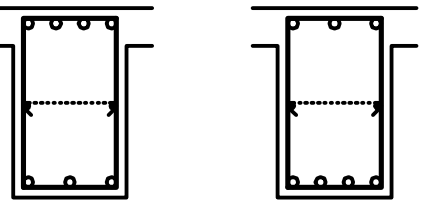
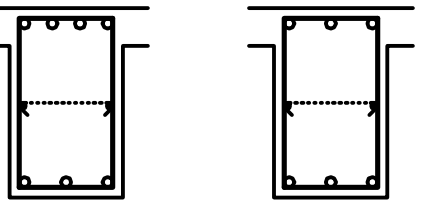
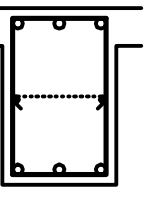
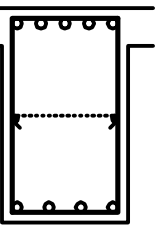
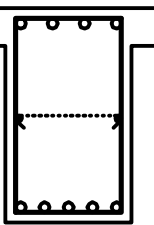
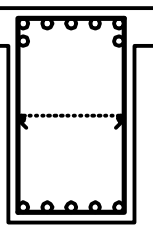
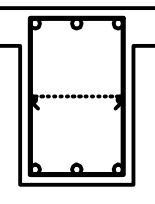
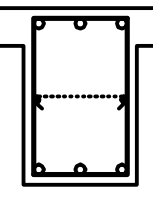
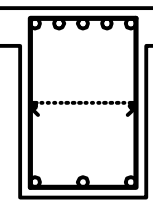
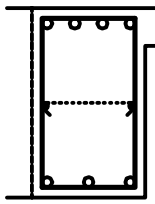
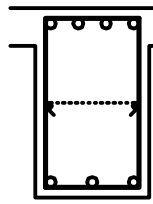
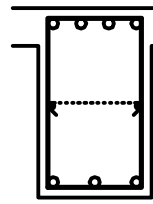
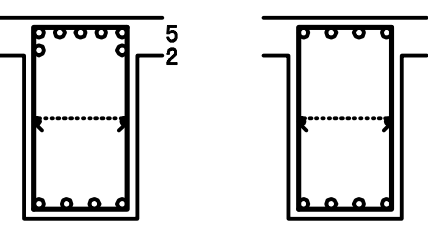
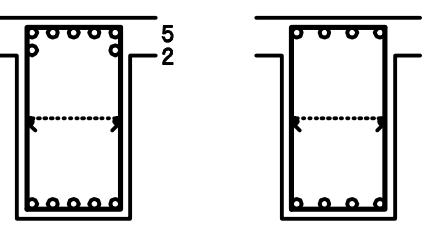
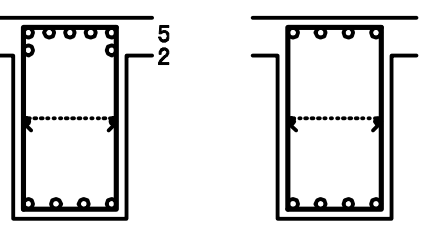
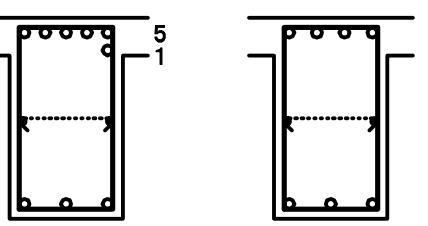
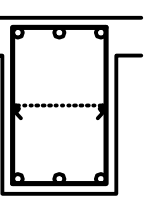
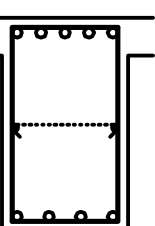
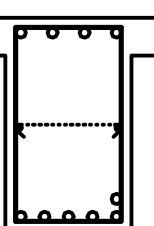
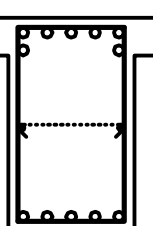
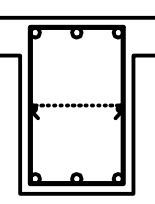
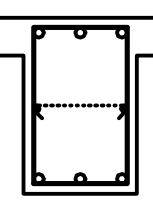
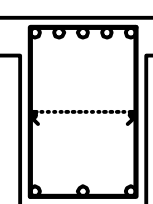
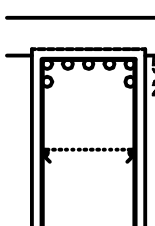
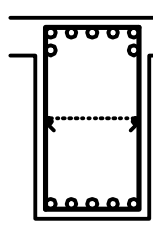
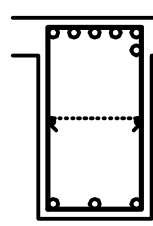
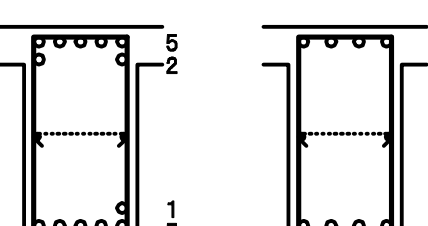
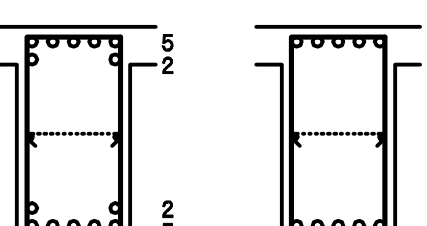
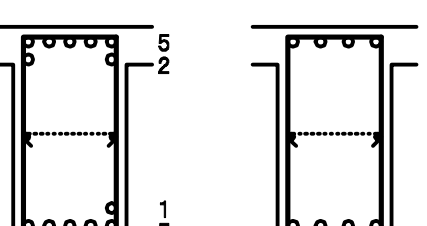
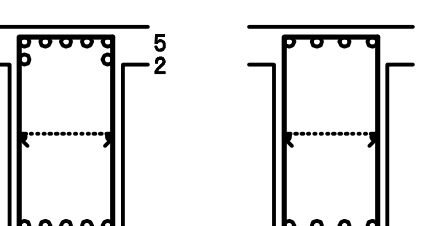
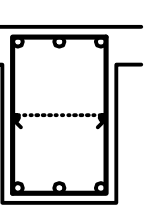
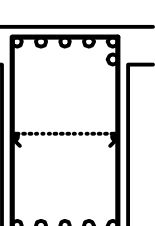
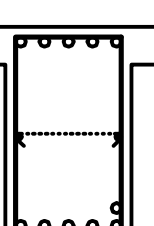
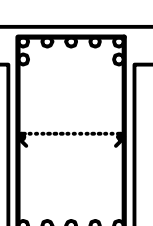
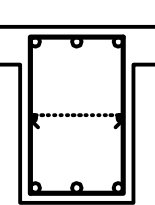
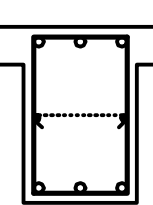
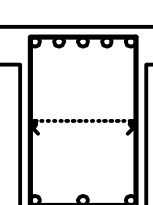
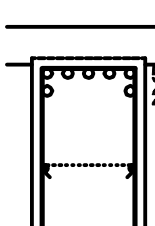
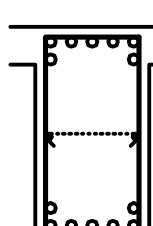
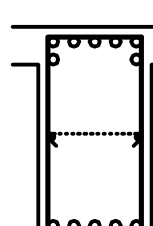
A1=1/30
A3=1/60

特記外
- ・STP □−D13−@200
- ・腹筋 2−D10
- ・巾止メ筋 D10−@1，000以下

符号	FB1			FB2	FB3		FB4
位置	7、9 端	中央	8 端	全断面	端部	中央	全断面
断面							
BxD	300×700			300×500	250×700		250×700
上端筋	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22
下端筋	3-D22	5-D22	4-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22
スターラップ							
腹筋				——			

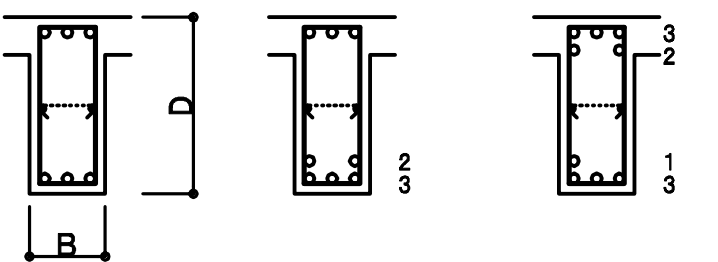
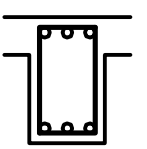
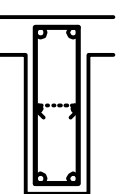
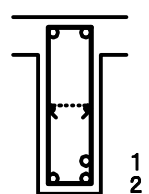
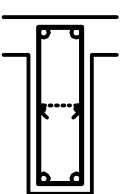
特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022−245−2333

検図	
製図	
日付	平成25年3月

設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容	地中大梁リスト 地中小梁リスト 柱リスト
縮尺	1/30
図面番号	S-11
設計番号	

枚ノ内

大梁リスト	A1=1/30 A3=1/60

特記外
- ・STP □-D13-@200
- ・腹筋 2-D10
- ・巾止メ筋 D10-@1,000以下

階	符号	RG1		RG2		RG3		RG4		RG5	RG6			RG7	RG8	RG9	CG1	CG2	CG4
R階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	A端	中央	B端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面																		
	BxD	450×750		450×750		450×750		450×750		450×700	500×850			450×700	450×700	500×750	450×750	450×750	450×750
	上端筋	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	5-D25	4-D25	7-D25	3-D25	3-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	下端筋	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
	スターラップ																		
	腹筋																		

階	符号	3G1		3G2		3G3		3G4		3G5	3G6			3G7	3G8	3G9	CG1	CG2	CG4
3階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	A端	中央	B端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面																		
	BxD	450×800		450×800		450×800		450×800		450×700	500×850			450×700	450×700	500×750	450×800	450×800	450×800
	上端筋	7-D25	4-D25	7-D25	4-D25	7-D25	4-D25	6-D25	4-D25	3-D25	5-D25	4-D25	7-D25	3-D25	3-D25	5-D25	7-D25	7-D25	6-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	6-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	5-D25	3-D25
	スターラップ	2-D13@150		2-D13@100													2-D13@150	2-D13@100	
	腹筋																		

階	符号	2G1		2G2		2G3		2G4		2G5	2G6			2G7	2G8	2G9	CG1	CG2	CG4
2階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	A端	中央	B端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面																		
	BxD	450×850		450×850		450×850		450×850		450×700	500×850			450×700	450×700	500×750	450×850	450×850	450×850
	上端筋	7-D25	4-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D25	7-D25	4-D25	3-D25	6-D25	5-D25	7-D25	3-D25	3-D25	5-D25	7-D25	7-D25	7-D25
	下端筋	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	3-D25	5-D25	6-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	6-D25	7-D25	5-D25
	スターラップ	2-D13@100		2-D13@100		2-D13@100											2-D13@100	2-D13@100	
	腹筋																		

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付 平成25年3月

設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

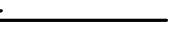
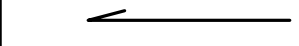
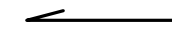
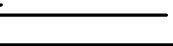
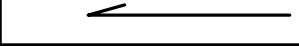
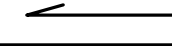
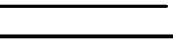
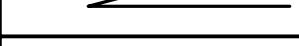
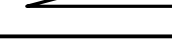
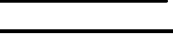
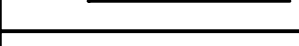
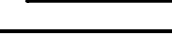
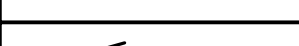
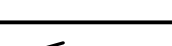
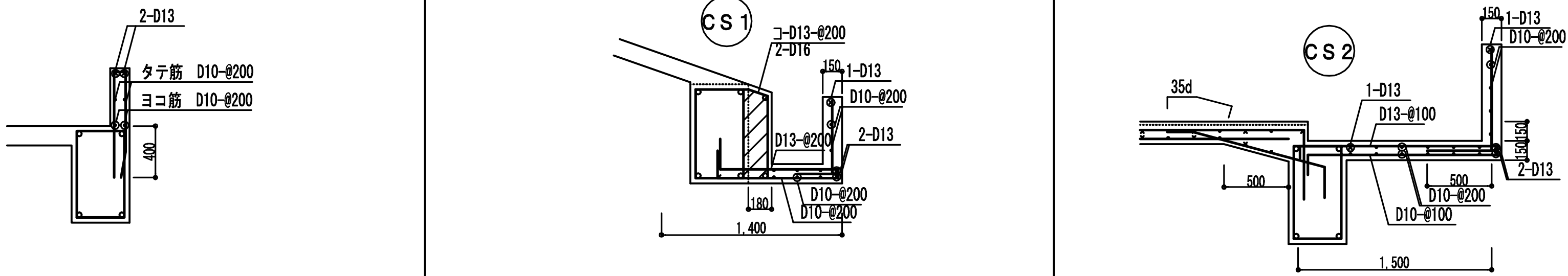
図面内容 大梁リスト

縮尺 1/30

図面番号 S-12

枚ノ内

設計番号

小梁リスト A1=1/30 A3=1/60

特記外
・STP □-D13-@200
・腹筋 2-D10
・巾止メ筋 D10-@1,000以下

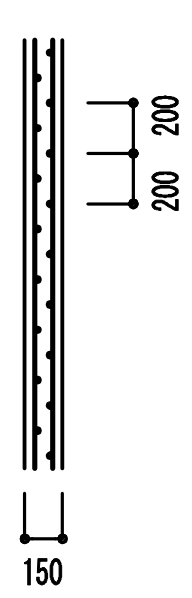
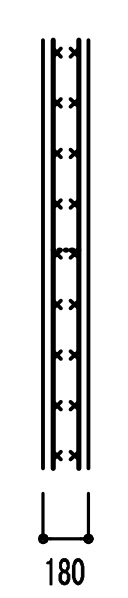
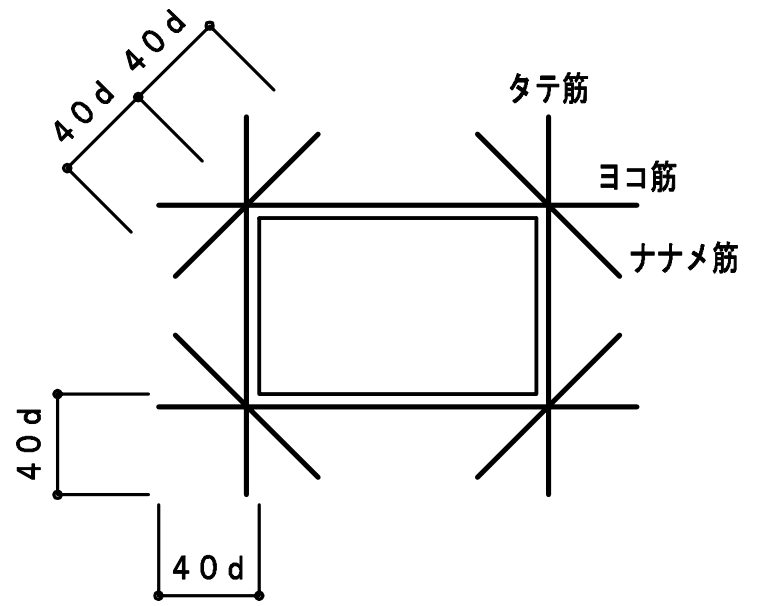
符号	B1			B2	B3		B4
位置	7、9 端	中央	8 端	全断面	端部	中央	全断面
断面							
BxD	300×700			300×500	250×700		250×700
上端筋	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22
下端筋	3-D22	5-D22	4-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22
スターラップ							
腹筋				——			

壁リスト A1=1/30 A3=1/60

特記外 ・巾止メ筋 D10-@1,000以下

符号		W15	EW18	開口補強
断面		150	180	40d 40d タテ筋 ヨコ筋 ナナメ筋 40d 40d
タテ筋		D10-@200 (ダブルチドリ)	D13-@200 (ダブル)	
ヨコ筋		D10-@200 (ダブルチドリ)	D13-@200 (ダブル)	
開口補強	タテ筋	2-D13	4-D13	
	ヨコ筋	2-D13	4-D13	
	ナナメ筋	2-D13	2-D13	
備考				

床版リスト

・注) 床版開口部 上端筋には、フックをつける。
バー型スペーサーを使用する。

符号	厚さ	位置	短辺方向 端部 Ⓐ	短辺方向 中央 Ⓑ	短辺方向 側部 ⒸⒹ	長辺方向 端部 Ⓓ	長辺方向 中央 Ⓑ	長辺方向 側部 ⒶⒸ	備考
S1	150	上端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	RF
		下端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	
S2	150	上端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	2, 3F
		下端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	
S3	150	上端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	1F
		下端筋	D10・D13-@200	←	←	D10・D13-@200	←	←	

構造スリット詳細図

水平スリット　垂直スリット

30

耐火スリットしようのこと
下記による

有限会社 あさひ建装	ダブルガードスリット
岡部株式会社	スリットン
エキスパンウォール株式会社	カンタンスリット
株式会社東京パイロン	パイロンスリット

パラペット配筋図 A1=1/30 A3=1/60　軒先配筋図 A1=1/30 A3=1/60　バルコニー配筋図 A1=1/30 A3=1/60

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 平成25年3月	設計名称 平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	図面内容 小梁リスト 床版リスト 壁リスト 雑配筋図	縮尺 1/30	図面番号 S-13 枚ノ内	設計番号

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

2．工事場所　黒川郡富谷町日吉台1丁目13番1号

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
校舎	ＲＣ	２	全体　4,147.7896	1433.788	７項	
			増築部分　686.40			

4．工事種目（・⊙印のついたものを適用する。）

工事種目＼建物別及び屋外	工事種別			屋外	備考
⊙電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護(避雷)設備					
・受変電設備					
・静止形電源設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
⊙拡声設備	新設一式				
⊙誘導支援設備	新設一式				
⊙テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
⊙防犯・入退室管理設備	新設一式				
⊙自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
・					
⊙構内配電線路	新設一式				外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※ なし　・ あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　　　　　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

一般共通事項

項目	特記事項
① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施行に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は，工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には，中止時点における工事の出来高，搬入材料及び建設機械器具等の調書，中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
⑩ 工事実績情報の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。
⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
⑬ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
⑭ 工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
⑮ 監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事）
⑯ 足場，さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
⑰ 工事表示板	※ 設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課･設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない
⑱ 工事用通路	※ 指定しない　・指定する（図示）
19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（　） ・ 特別管理産業廃棄物（・ ＰＣＢ使用機器　・　） 受入施設名・所在地　： ・ 現場において再利用を図るもの（　） ・ 再資源化を図るもの （下表） ・ その他安定型廃棄物（　） 受入施設名・所在地　： ・ その他管理型廃棄物（　） 受入施設名・所在地　： ＰＣＢを含有する機器等については飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後監督職員に引き渡す。
⑳ 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出
21. 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（・ 特定の施設　・ 一般の施設）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
22. 風圧加重	※ 風速６０ｍ／ｓ　・　　ｍ／ｓ ・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

再資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（ｋｍ）	備考

設計用標準震度

設置場所＼設計用標準震度	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

項目	特記事項
㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
㉔ 保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＭＥＥＳ）
㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
27. 二種金属製可とう管	露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
28. 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
㉙ インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
㉚ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２㎜以上のビニル被覆鉄線を通線する。
㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製）とする。
32. フロアプレート･ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 銅合金製　・ アルミ合金製
33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
34. 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
35. あと施工アンカー	施工方法　・ 接着系（※ 有機系　・ 接着剤） ・ 金属拡張系（※ 本体打込式　・　） 性能・施工確認　※ 行わない　・ 行う
36. 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００㎜とする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００㎜，Ｗ＝３０は１，２００㎜とする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・	雷保護設備用接地	ＥLA	Ω以下	ＥＰ×２
・	雷保護設備用接地	ＥLA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×　連－　組
・	共同接地	ＥA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	共同接地	ＥA・ＥC・ＥD	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ａ種	ＥA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ｂ種	ＥB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×２
・	Ｃ種	ＥC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ｄ種	ＥD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・				
・	構内交換機（陽極）用	Ｅt	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－　組
・	本配線盤の保安装置	ＥＡt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	電話引込口の保安器	ＥDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	拡声増幅器	ＥDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	防犯装置用	ＥS	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－　組
・				
・	測定用	Ｅo	――	ＥＢ(Ｄ＝10又はW＝30)×１
・	避雷器用（低圧用）	ＥLL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	避雷器用（高圧用）	ＥLH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	避雷器用（モデム用）	ＥMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

項目	特記事項
37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。 ・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 照明装置　・ 構内交換設備　・
38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外　※ 居室　・
○	
○	

電灯設備

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　・ 分電盤類
② 電気方式	・ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ⊙ 分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
③ 施工方法	分岐　電灯　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　⊙ ケーブル配線 コンセント　⊙ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　⊙ 合成樹脂製　・ 金属製
4．蛍光灯	図面に特記がない場合のＨｆ型蛍光灯の入力電圧・周波数は，入力電圧100/200V，周波数50Hzとする。
5．非常用照明器具	※ 電池内蔵形　・ 電源別置形 ※ 飛び出し形　・ 外部固定形
⑥ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
7．ハイテンションアウトレット	※ 銅合金製　・ アルミ製
8．人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
9．予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類
2．電気方式	・ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
3．施工方法	幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 分岐　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
4．警報盤	※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置）　・
5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具　・
6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
9．電気自動車用急速充電装置	・ 機器類　・ ・ 定格容量　ｋＶＡ

電熱設備

項目	特記事項
1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Hz 分岐　相　線式　Ｖ
2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

雷保護設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
2．受雷部	・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など
3．避雷導線	・ 引下げ導線　※ 建築構造体利用
4．接地極	※ 接地極埋設　・ 建築構造体利用
5．測定用補助接地極	・ 設置

受変電設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 機器類　・
2．電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
3．引込ケーブル	・ ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・ ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・ ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
4．配電盤	・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・
5．主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
6．高圧機器類	・ 油入式　・ 乾式
7．変圧器	・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2005適合品 乾式：JIS C4306-2005適合品）
8．進相用コンデンサ	※ 低圧　・ 高圧　・ ６％　・ １３％
9．リアクトル	・ ６％　・ １３％
10. 自動力率制御装置	※ 無効電力検出方式　・ 力率検出方式
11. 測定用補助接地極	・ 設置

電力貯蔵設備

項目	特記事項
1．直流電源装置	※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
2．交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）

発電設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 機器類　・
2．形式	・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
3．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
4．原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋW以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
5．燃料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・ なし　・ あり（・ 別途　・ 本工事：　）
6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋW パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋW

構内交換設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（・ 全部　・ 端子盤以降）
2．電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・ ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ（・ ２０ｍ　・　） ・ ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ（・ ２０ｍ　・　） ・ ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（・ 納入する　・ 取り付ける） ※ 銅合金製　・ アルミ製
5．保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事

通信・情報設備

① 工事範囲及び施工方法

項目	工事範囲 配管	工事範囲 配線	工事範囲 機器類	施工方法 合成樹脂管配線	施工方法 金属管配線	施工方法 ケーブル配線
・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・ 情報表示	・	・	・	・	・	⊙
・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・
⊙ 拡声	⊙	⊙	⊙	⊙	・	⊙
⊙ 誘導支援	・	・	⊙	・	・	・
⊙ テレビ共同受信	⊙	⊙	⊙	⊙	・	⊙
・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・ 駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
⊙ 防犯・入退室管理	⊙	・	・	・	・	・

ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製　・

項目	特記事項
2．構内情報通信網設備	種類　・ １０ＢＡＳＥ－Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ ＡＴＭ　・　・
3．情報表示設備	・ 情報表示盤（・ 発光ダイオード式　・ プラズマ式　・ 液晶式） ・ 親時計　回線（※ 壁掛形　・ 自立形） （・ 電子チャイム組込　・ プログラムタイマー組込）
4．映像・音響設備	・ 増幅器　Ｗ ・ ＶＴＲ（・ ＤＶＤ　・ ＤＶ　・ Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・ プロジェクタ（※ 前面投射式　・ 背面投射式） ・ 音響設備（・ ＣＤ　・ ＭＤ　・ カセット　・　）
⑤ 拡声設備	・ 一般放送用　⊙ 非常放送兼用 ・ 増幅器　Ｗ（※ 卓上形　・ キャビネットラック形）
⑥ 誘導支援設備	・ 身体障害者用インターホン　⊙ トイレ呼出装置　・ 音声誘導装置　⊙ 機器移設のみ
⑦ テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（・ ＡＵ－　・ ＣＳＢＡ－　・ ＣＳＡ－　） ・ 地上波アンテナマスト（※ 壁面取付形　・ 自立形） ・ ＢＳ用アンテナマスト（・ 壁面取付形　・ 自立形）
8．監視カメラ設備	・ 白黒方式　・ カラー方式
9．駐車場管制設備	・ 管制盤　・ 検知器（・ 光線式　・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー
⑩ 防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（※ 本工事　・ 別途）　⊙ 配管のみ

火災報知設備

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 機器類
② 火災報知装置	⊙ 壁掛形　・ 自立形 ・ 受信機　型　級　回線（　アドレス） ・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・ 副受信機　型　級　回線 ⊙ 機器収容箱　・ 専用形（・ 埋込形　・ 露出形）　⊙ 屋内消火栓箱に組込み ⊙ 感知器類　型用　総数　個（・ 自動試験機能付）
3．非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
4．自動閉鎖装置	・ 連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 自動閉鎖機構　・ 防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・ 防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・ 防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・ 自動開放機構　・ 排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
5．ガス漏れ警報装置	・ 受信機　回線（・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 感知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧（・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ） ・ ガス検知出力信号（・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式）
6．消火器類	・ 消火器　種別　・ 数量　本 ・ 消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量　面

中央監視制御設備

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
2．監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
3．表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・ ・　・
4．監視制御装置	構成機器　・ グラフィックパネル　・ ミニグラフィックパネル ・ プラズマディスプレイ　・内照式液晶ディスプレイ　・ 操作卓 ・ ＣＲＴディスプレイ（・ キャラクタ　形　・ グラフィック　形） ・ 中央処理装置　・ 伝送端末局（子局） ・ 作表用印字装置　・ 雑印字装置　形 ・ ロギングタイプライタ

構内配電線路

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙ 管路　⊙ 配線　⊙ 機器類
② 電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Hz ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ・ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ　○
③ 布設方法	※ 地中埋設式（・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
4．柱上機器	・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用 ※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
⑦ 外灯設備	⊙ 定格電圧　１Φ２００Ｖ　２５０Ｗ　相当ＬＥＤ
8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
9．標識シート	・ 高圧ケーブル　・ 電力幹線ケーブル
10. 予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路

項目	特記事項
1．工事範囲	・ 管路　・ 配線
2．用途	・ 電話用　・ 時計，拡声用　・ 火災報知用
3．施工方法	※ 地中埋設式（・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
4．標識シート	・ 弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備

区分	名称	測点	取付高（㎜）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約　1,800
電力共通	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
電力共通	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
電力共通			
電力共通			
電力共通			
電灯	スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300
電灯	〃（和　室）	〃	1,200
電灯	コンセント(一　般)	〃	300
電灯	〃（和　室）	〃	150～ 200
電灯	〃（台　上）	台上～中心	100
電灯	〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端
電灯	〃（厨　房）	床上～中心	800～1,000
電灯	〃（車　庫）	〃	1,300
電灯	〃（機械室）	〃	500～1,000
電灯	〃（土　間）	〃	800～1,300
電灯	ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300
電灯	〃（踊　場）	〃	2,000～2,500
電灯	〃（鏡　上）	鏡上端～中心	150
電灯	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
電灯	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
電灯			
電灯			
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
動力	開閉器箱	〃	1,500
動力	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300
身障者用	非常ボタン(便所用)	床上～中心	900
身障者用	壁付インターホン(親機)	〃	1,300
身障者用	〃（玄関子機）	〃	1,100
身障者用	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300
身障者用	身障表示ランプ	〃	1,500
身障者用	スイッチ	〃	1,100

通信設備

区分	名称	測点	取付高（㎜）
電話	引込線留め高	地上～引込点	
電話	集合保安器箱	天井下～上端	200
電話	端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
電話	〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
電話	壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
電話	〃（和　室）		150～200
時計・拡声・通信設備	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
時計・拡声・通信設備	子時計	〃	2,300
時計・拡声・通信設備	壁掛形スピーカ	〃	2,300
時計・拡声・通信設備	壁付アッテネータ	〃	1,300
時計・拡声・通信設備	壁付インターホン(一　般)	床上～中心	1,300
時計・拡声・通信設備	〃（身体障害者）	〃	1,300
時計・拡声・通信設備	壁付アウトレット(一　般)	〃	300
時計・拡声・通信設備	〃（和　室）	〃	150～200
時計・拡声・通信設備	機器収容箱	天井下～上端	200
時計・拡声・通信設備	直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
時計・拡声・通信設備	〃（和　室）	〃	200
警報・表示等	表示盤	床上～中心	2,300
警報・表示等	壁付発信機	〃	1,300
警報・表示等	ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
警報・表示等	壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
警報・表示等	〃（身体障害者玄関）	〃	900
警報・表示等			
火災報知器	受信機	床上～中心	800～1,500
火災報知器	副受信機	〃	800～1,500
火災報知器	機器収容箱	〃	800～1,500
火災報知器	発信機	〃	800～1,500
火災報知器	表示灯	床上～中心	2,100
火災報知器	ベル	〃	2,300
火災報知器	液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
火災報知器	都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
火災報知器	〃（重質）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

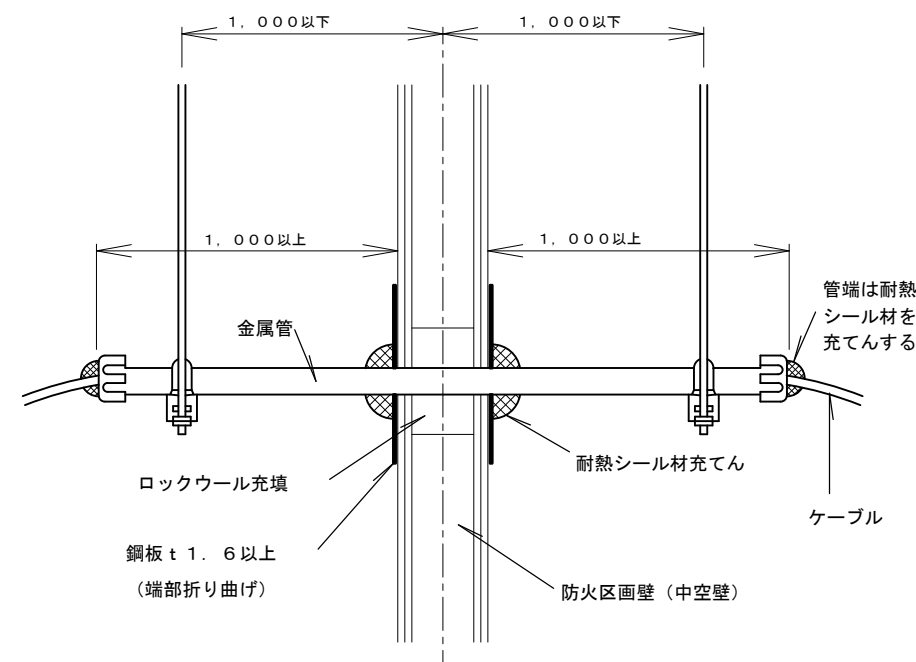
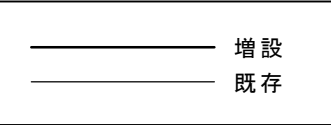
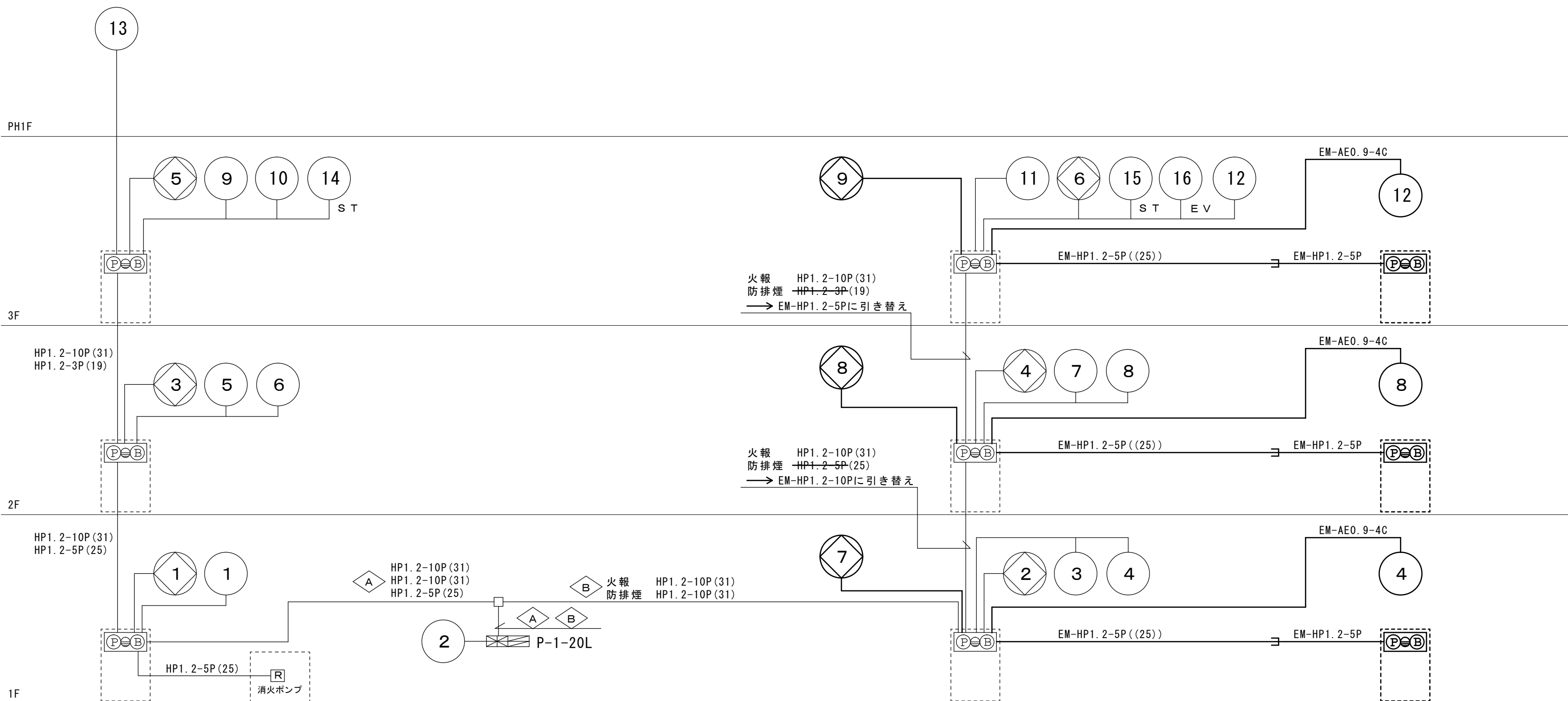
名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	１部	9　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（２　完成図書と合本可）	１部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０㎜を越える場合は分冊とする。）	１部	10　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
3　完成原図	三つ折りケース収納	１組			
4　完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
5　完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部	11　工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル（着手前，施工状況，完成の各写真）	１部
6　完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	ＣＤ１枚	②完成写真	Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	１部
7　施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	１部			１部
8　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（２　完成図書と合本可）	１部	12　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部

注記：機器参考図について
本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図	製図	日付	設計名称	図面内容	図面番号	縮尺	設計番号
		平成25年1月	平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事	特記仕様書	Ｅ － 01（枚ノ内）		

＜既存照明器具＞
A１ FSS４－４０１
A２ FSS４－４０２
B FRS１０－４０１
J FL４０W＊１
N FDL－２７W
P FL２０W＊１ WP
U HF２００W＊１ T４．５
●ガラス：ふちどりフロストガラス
◆防雨形 街路灯
＜増設照明器具＞
a１ LDL４０×１
a２ LDL４０×２
b LDL４０×１
埋込黒板灯
j LDL４０×１
n LED ダウンライト １００形タイプ
p LDL２０W×１ ウォールライト
防湿・防雨型
ボルトフリー（１００～２４２V）
壁面（縦向き・横向き）取付専用
カバー：クリーンアクリル（乳白）
光源寿命４００００時間
別売直管形LEDランプ素材：ガラス、光束維持率：９５％
z LED街路灯 水銀灯２５０形相当
昼白色、５０００K、Ra７０
６４００lm、消費電力６４W、電圧１００～２４２V
本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
パネル：強化ガラス（透明）
防雨型
落下防止ワイヤー付
光源寿命６００００時間（光束維持率７０％）
パナソニック モールライトXY４２０７KLF９ 相当品
鋼製電線管を使用した防火区画貫通工法例（コンクリート壁）
１．０００以下
１．０００以上
金属管
モルタル充てん
管端は耐熱シール材を充てんする
ケーブル
防火区画壁（コンクリート壁）
注意事項
１．金属管は防火区画の両側に１m以上突き出す。
２．耐熱シール材はBCJ－防火に規定されたものを使用する（非硬化性）
３．貫通部の壁心より１m以内で金属管を支持する。又は、ケーブルラックにより支持する。
４．貫通部処理の省力化工法を採用する場合は，国土交通省の評定品又は認定を受けた工法を使用する。
鋼製電線管を使用した防火区画貫通工法例（中空壁）
１．０００以下
１．０００以上
金属管
管端は耐熱シール材を充てんする
ロックウール充填
耐熱シール材充てん
ケーブル
鋼板ｔ１．６以上
（端部折り曲げ）
防火区画壁（中空壁）
注意事項
１．金属管は防火区画の両側に１m以上突き出す。
２．耐熱シール材はBCJ－防火に規定されたものを使用する（非硬化性）
３．貫通部の壁心より１m以内で金属管を支持する。又は、ケーブルラックにより支持する。
４．貫通部処理の省力化工法を採用する場合は，国土交通省の評定品又は認定を受けた工法を使用する。
※細線は既存とする
増設
既存
凡例
記号 | 名称 | 備考
複合盤 | 注記による
機器収容箱 | 埋込型
P型発信機 | １級 P B 収容
表示灯 | AC２４V，LED
火災警報ベル | DC２４V，１０mA
光電式煙感知器 | ２種，非蓄積型
光電式煙感知器 | ２種，非蓄積型，点検BOX付
差動式スポット型感知器 | ２種
定温式スポット型感知器 | １種，７５℃，防水型
定温式スポット型感知器 | 特種，６５℃
定温式スポット型感知器 | 特種，６５℃，防水型
光電式スポット型感知器 | ３種
自動閉鎖装置 | 防火戸用（建築工事）
終端抵抗 | １０KΩ
警戒区域番号 | 火災表示用
警戒区域線
配管配線 | いんぺい
配管配線立上げ引下げ
ジャンクションボックス
注記）複合盤仕様
１）P型１級
２）表示内訳 既存 改修後
・火災表示 １６／３５L
・防排煙 ６／１０L → ９／１０L
・警報 ５L
・ガス漏れ ４／１０L
計 ６０L
PH1F
3F
2F
1F
13
5 9 10 14
ST
HP1.2-10P(31)
HP1.2-3P(19)
3 5 6
HP1.2-10P(31)
HP1.2-5P(25)
1 1
HP1.2-5P(25)
消火ポンプ
A HP1.2-10P(31) HP1.2-10P(31) HP1.2-5P(25)
B 火報 HP1.2-10P(31) 防排煙 HP1.2-10P(31)
2
P-1-20L
9 11 6 15 16 12
ST EV
EM-AE0.9-4C
12
EM-HP1.2-5P((25))
EM-HP1.2-5P
火報 HP1.2-10P(31)
防排煙 HP1.2-3P(19)
→EM-HP1.2-5Pに引き替え
8 4 7 8
EM-AE0.9-4C
8
火報 HP1.2-10P(31)
防排煙 HP1.2-5P(25)
→EM-HP1.2-10Pに引き替え
7 2 3 4
EM-AE0.9-4C
4
校舎
自動火災報知設備系統図
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３
検図
製図
日付 平成25年1月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容
照明器具姿図・火災報知設備系統図
・防火区画貫通処理図
縮尺
図面番号
E － 03
枚ノ内
設計番号

屋根
オイル個別タンク室
階段（B）
廊下
屋内消火栓
図書室
コンピューター教室
96.00㎡
準備室
理科室
96.00㎡
バルコニー
多目的 スペース
12.462m
((L-2B))予備
MCB1P50/20*4
照明 1回路使用
コンセント 1回路使用
EH 2回路使用
未使用となる
※増築部分の立ち下げ配管は（PF）とする
既存部分
増築部分
EH1.75KW
男子便所
女子便所
水飲場
手洗
配膳室
給食用 EV
教材庫
階段（A）
L-2B
⑩容量計828VA
⑩100VA
L-2B
⑩容量増加 56W*6=336VA
⑧600VA
⑩容量増加 56W*7=392VA
予備回路に接続
予備回路に接続 700VA
普通教室（6） 62.40㎡
普通教室（7） 62.40㎡
⑨500VA
特別支援（1） 31.20㎡
特別支援（2） 31.20㎡
普通教室（8） 62.40㎡
普通教室（9） 62.40㎡
教材室 23.40㎡
普通教室（17） 62.40㎡
普通教室（18） 62.40㎡
避難ハッチ
特記事項
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333
検図
製図
日付 平成25年1月
設計名称
平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事
図面内容 コンセント設備2階平面図
縮尺 A1-1/100 A3-1/200
図面番号 E — 08
枚ノ内
設計番号

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成２４年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

2．工事場所　富谷町日吉台一丁目１３－１

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
校舎棟	ＲＣ	3	4147.78㎡	1433.78㎡		
屋内運動場	S	1	1253.75㎡	1277.79㎡		
プール	W	1	73.34㎡	84.81㎡		
計			4788.47㎡	2896.38㎡		

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	校舎棟	プール						屋外
・空気調和設備（暖房設備）	○							
・換気設備	○							
・排煙設備								
・自動制御設備								
・衛生器具設備	○							
・給水設備	○	○						○
・排水設備	○							○
・給湯設備								
・消火設備	○							
・厨房機器設備								
・ガス設備								
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　）

6．設備概要　（⊙印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	・空気調和：・全空気方式　・ファンコイルユニット，ダクト併用方式　・パッケージ方式
	・温風暖房：・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式　⊙ ＦＦ式石油温風暖房器＋油配管
	・直接暖房：・温水暖房　・　○
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	・水道直結方式　⊙ 高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・分流式　⊙ 合流式） 放流先　汚水　⊙ 下水道直放流　・浄化槽） 雑排水　⊙ 下水道直放流　・浄化槽　・側溝　・別途桝）
給湯方式	・局所式　・中央式
消火設備方式	⊙ 屋内消火栓　（⊙ 湿式　・乾式）　・連結送水管　・屋外消火栓 ・スプリンクラー　（・湿式　・乾式）　・不活性ガス消火　・泡消化 ・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　ｋＪ／ｍ３（Ｎ）（供給圧力　Ｐａ）　・液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準図という。），及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

一般共通事項

項目	特記事項
① 適用基準等	⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ⊙ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。
7．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報に登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
⑧ 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，請負者の負担とする。
⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
⑩ 電気保安技術者	※ 適用する　・ 適用しない
⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・配管（配管工事）　・建築板金（ダクト製作及び取付け）　・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
⑫ 足場等	⊙ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
13．監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事仕様書）
⑭ 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが　※ できる　⊙ できない
⑯ 残土処理	・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積
⑰ 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・なし　・あり（　） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・なし　・あり（　） （３）引渡しを要するもの　※ なし　・あり（　） （４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物　※ なし　・ あり　（　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート（　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　） ・木材（　） ・アスファルトコンクリート（　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　） ・木くず等の管理型の産業廃棄物（　） 建設リサイクル法 ・対象工事 落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・対象外工事
⑱ 総合調整	※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・ 別途 総合調整の項目 ⊙ 風量調整　・水量調整　・室内外空気の温湿度測定 ・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定　・初期運転状態の記録 ⊙ 末端水栓の水質測定　・し尿浄化槽放流水質の測定 ・機器の絶縁抵抗の測定　⊙ 水圧調整 測定箇所は，監督職員の指示による。
⑲ 容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 （2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
20．耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。

設計用標準水平震度（Ｋｓ）

設置場所	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中層階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
一階及び地下層	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（２）本工事の施設は（・一般の施設　・特定の施設）とする。
（３）地域係数は１．０とする。
（４）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
（５）重要機器類（高置タンク，受水タンクは機器表による。）
（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

項目	特記事項
㉑ 弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
㉒ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　１．１．１　電線類等　表１．１．１電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
23．溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス 検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）
㉔ はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉕ 支持及び固定	（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は，標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。
㉖ 支持金物・固定金具	（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 （３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
㉗ 埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。 ⊙ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・ 山砂の類
28．地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 （1）給水管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ （2）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ （3）油管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ （4）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
㉙ 保温	・ 主機械室は下記の室とし，他は各階機械室とする。 主機械室： ・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール）

ダクト		外装
屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい，ＰＳ内		・アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板

・ 配管の保湿の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール　・ポリスチレンフォーム）

配管		外装
屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	・合成樹脂製カバー　・
屋内隠ぺい，ＰＳ内		・アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・アスファルトプライマー　・

項目	特記事項
㉚ 塗装	（１）下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外露出　※ 居室 （２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。
㉛ 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
㉜ 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが１．５ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。
33．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
㉞ 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
35．予備品等	ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として，２０％納入する（種別ごと最低１個）。
36．施工条件	別添の施工条件明示書による。

空気調和・冷房・暖房設備

① 設計温湿度

	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	一般系統 温度(DB)	一般系統 湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	コンピューター室系統 温度(DB)	コンピューター室系統 湿度(RH)
夏期	℃	%	２６℃	５０％	２２℃	%	２４℃	４５％
冬季	－３.２℃	%	２２℃	４０％	℃	%	２４℃	４５％

項目	特記事項
2．ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。
3．煙突	※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　㎜、高さ　ｍ以上）
4．煙道	※ 煙道径３００mm以下は鋼板厚３．２mm，３００mmを超えるものは４．５mmとする。　・ 図示による。 （煙道径が４００mmを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。）
⑤ ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
6．長方形ダクトの工法	・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（・共板　・スライド）
7．風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
8．チャンバ	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
9．防煙ダンパ	（1）復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） （2）復帰動作　※ 順送り
10．配管材料	（１）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （２）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （３）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （４）油管，油用通気管（一般）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※ ポリエチレン外面被覆鋼管（ﾄﾗﾌ内共） （５）膨張管，空気抜き管，膨張タンクよりボイラ等への給水管　※ 配管用炭素鋼鋼管　・ （６）空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （７）冷媒管　※ 断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・ 銅管
⑪ 弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
⑫ 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ形　・ スリーブ形
13．温度計	※ 共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形，ダクト用は円形） ・ 空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
14．瞬間流量計	※ 着脱可能形（※ 全数　・ 図示による） 着脱可能形の場合，その指示部（・４０Ａ用　個　・１００Ａ用　個　・２５０Ａ用　個）を付属する。 ・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（３２mmピトー管流量計用）
15．オイルタンク	（１）オイルタンク本体は図示による。⊙ 既設再使用 （２）遠隔油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない （３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。
16．積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
17．注油口及び指示ﾎﾞｯｸｽ	標準図（機材　６　）による。 ・ 単独形　・ 共用形（・ローリーアース付）
18．消音内貼り	（１）施工箇所は図示による。 （２）内貼りチャンバー類の寸法表示は，外形寸法とする。 （３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
19．保温	（1）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。 （2）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。 （3）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要 （4）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） （5）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装 屋内露出部　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ 外装なし　・ 屋外　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ （6）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。
20．電気工事の範囲	（1）地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事 （2）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※ 別途　・ 本工事
21．塗装	（１）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は　※ 行わない　・ 行う （２）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う

換気設備

項目	特記事項
1．準拠事項	［ 空気調和　・冷房　・暖房設備 ］の当該事項に準ずる。 ・５　・６　・７　・９　・１８　・２１
2．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※ 別途　・ 本工事
3．厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板　・ ステンレス鋼版（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
4．厨房用排気ダクト工法	※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
5．厨房用排気フード	（1）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない （2）フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない （3）材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）　・ 亜鉛鉄板
6．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは，標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。 （　）

排煙設備

項目	特記事項
1．ダクト	・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（１．６mm以上）
2．排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
3．排煙口解放装置	・ ワイヤー式　・ 電気式（遠隔操作機能　・要　・不要）
4．排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

自動制御設備

項目	特記事項
① 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
② 計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は，図示に特記がなければケーブル配線とする。

衛生器具設備

項目	特記事項
① 大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式　⊙ 洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
2．便器洗浄用タンク	※ 手洗なし　・ 手洗付
3．小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（・小便器一体型　・小便器分離型）
④ 器具付属水栓	固定こま式（節水こま式）とする。
5．自動水栓	※ 電源供給方式（※ ＡＣ１００Ｖ）　・ 乾電池　・自己給電
6．温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式　・ 貯湯式
7．大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）

給水設備

項目	特記事項
1．量水器	（1）親メーター　※ 借用　・ 買取り　（隔測メーター　・有　・無） （2）子メーター　※ 買取り　（隔測メーター　・有　・無）
2．量水器桝	（1）親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５３） （2）子メーター用　※ 標準図（機材５３）　・ 水道事業者の指定品
3．配管材料	（1）一般用 ・ ステンレス鋼管（拡管） ・ 塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ） ⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（⊙ＰＡ　・ＰＢ） ・ （2）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ （3）屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ ビニル管（ＪＩＳ Ｋ ６７４２）（ＶＰ） ⊙ 〃（ＨＩＶＰ） ・ ポリエチレン管 ・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・
4．不凍水栓柱	化粧ケーシング（・アルミ合金製　・合成樹脂製）
⑤ 弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ （2）その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
⑥ 給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓　・ 耐寒水栓）　湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。 （2）屋外（※ 耐寒水栓　・ 一般水栓）　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
7．埋設深さ	（1）一般敷地内（　ｍ以上）　（2）敷地内車両道路（　ｍ以上） （3）公道部分（※ 水道事業者及び道路管理者規定による）
⑧ 保温	（1）量水器桝内の保温を行う。 （2）屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５mm以下は５０mm，呼び径３２mm以上は４０mmとする。
9．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない
10．水道加入金等	水道加入金　・ 要（・本工事　・別途）　・ 不要 ・ その他（　）
11．ステンレス管の接合方法	（1）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
12．その他	給水管の最小口径は２０mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

項目	特記事項
① 配管材料	（1）屋内汚水管 ⊙ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 排水用鉛管 ⊙ 排水用鋳鉄管（ﾒｶﾆｶﾙ） （2）屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ （3）屋外土中汚水，雑排水管 ⊙ ビニル管（ＶＰ） ・ ビニル管（ＶＵ） ・ ビニル管（再生ＶＵ） ⊙ ヒューム管 （4）土間配管用 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ （5）通気管 ⊙ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ビニル管（ＶＰ） ・ （6）ポンプアップ排水管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、ビニル管でもよい。
② 排水桝	・ 桝リストは図面番号（　） （1）材料　⊙ ＲＣ　⊙ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ （2）ふた　・鋳鉄製（・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ　） ⊙ 桝リスト　・樹脂製 ※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 （3）規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ・ 市町村別基準（・有　・無）
3．グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。
4．満水試験継手	図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。
5．試験	・ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
6．放流負担金等	・ 不要　・ 要（・別途工事　・本工事）
7．基礎材	※ 再生クラッシャーラン

給湯設備

項目	特記事項
1．配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管　<膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>
2．弁類	給水設備の当該事項による。
3．湯沸器の排気筒	厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
4．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・Ｘ）
5．ステンレス管の接合方法	（1）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合

消火設備

項目	特記事項
① 配管材料	（1）一般 ⊙ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （2）地中埋設部 ・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 〃（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 〃（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ 〃（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （3）二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
② 屋内消火栓種別	⊙ 易操作性１号消火栓　・ ２号消火栓
3．消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ　・ ＪＩＳ２０Ｋ
4．保温	（1）屋外露出管については給水管に準ずる。 （2）充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する （3）消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
5．消火器類	（1）消火器　種別　・ 数量（　） （2）消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　）

厨房機器設備

項目	特記事項
1．厨房機器類	（１）図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。 （２）厨房機器据付要領は，標準図施工７３による。

ガス設備

項目	特記事項
1．配管材料	（1）一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ガス事業者の規定による ・ ・ （2）地中埋設部 ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・
2．都市ガス	（1）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事 （2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（・別途工事　・本工事）
3．液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　・５０ｋｇ　本） （2）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。 （3）集合装置　・ 標準図（施工７１）による（　本組） （4）転倒防止等　・ 標準図（施工７２）｛・（ａ）　・（ｂ）｝　・ ボルト，チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・ 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
4．ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける（・分離形　・一体形）　・ 別途電気工事 外部出力端子（・あり　・なし）
5．埋設深さ	（1）一般敷地内（　ｍ以上）　（2）敷地内車両道路（　ｍ以上） （3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
6．その他	配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　）

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）（作成は，主たる請負業者が，他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	１部	7 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	１部
2 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版（４ 機器完成図，５ 取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが，厚さ８０mmを越える場合は分冊とする。）	１部	②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	１部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部	③マイクロフィルム（完成図のみ）	３５mm ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り） １部は設備課保管	２部	8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
④原図	三つ折りケース収納	１部	9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
⑤完成図書電子データ	ＪＷＷ又はＤＸＦ形式のＣＡＤデータもしくはＴＩＦＦ形式（解像度２００ＤＰＩ程度）	ＣＤ １枚	10 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	１式
3 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，完成図の二つ折り製本と合本可）	１部			
②原図	三つ折りケース収納	１部			
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		１部
6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部			

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図		製図		日付	平成25年1月

設計名称　平成24年度富谷町立日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　機械設備工事特記仕様書

縮尺

図面番号　Ｍ－０１　枚ノ内

設計番号

機器表

機器番号	名称	形式・仕様	電気容量 電源	電気容量 容量(KW)	電気容量 接続.他	台数	設置場所 備考
ＥＰＨ－１	電気暖房器	壁掛形パネルヒーター、サーモスタット内臓（カバー付）	単相100V	1,750W	直入	６	増築 児童男子便所.女子便所
		ヒーター容量：左記電気容量による					
ＦＦ－１	ＦＦ式石油温風暖房機	密閉式強制給排気形、強制対流形、集中制御仕様、	単相100V	120W～43W	直入	６	増築 普通教室
		暖房出力 最大１１.0KW 最少 ４．01 KW					(ｺﾛﾅFF-B1110)
		燃料消費量（灯油） １.233L/h～０.45L/h					
		付属品 ： 給排気筒セット（壁貫通ｽﾘｰﾌﾞ、保護ｶﾞｰﾄﾞ共）、背面カバー、					
		バルブボックス (ｺｯｸ.ｽﾄﾚﾅｰ)					
		その他標準付属品一式、					
ＶＦ－１	パイプファン	壁付 （局所）１００m3/h x １５Pa	単相100V	12 W	直入	６	増築 児童男子便所.女子便所
							(VD-17ZSC9)
ＶＦ－２	天井埋込形換気扇	低騒音、（常時）２００m3/h x ４５Pa、スイッチ：常時換気標示	単相100V	21W	直入	３	増築 教材室 (VD-18ZC9)
ＶＦ－３	天井埋込形換気扇	既設局所換気用換気扇を常時換気排気機として再使用、				６	既設 児童男子便所.女子便所
		（常時）６００m3/h x １００Pa、 現況スイッチに常時換気標示				既設再使用	
ＨＢ－１Ａ	屋内消火栓（１号）	火報併設埋込形、消火器（ABC10型）スペース付、					
		消火栓40A、消火器ABC10型、他消防法適合規格付属品一式共、				３	増築 廊下
		参考寸法 1028W x 1363H x 200D					

衛生器具表

階	室名	品名	品番	付属品・等	数量
１・２・３	増築 児童 男子便所	洋風便器	ＣＦＳ４６９HNS	フラッシュ弁TV560CP、暖房便座、床フランジ、紙巻器TS116WR、	1 x 3F
		壁掛小便器	ＵＦＨ５００	（低リップ小便器）フラッシュ弁TG600PNX、陶器製標記板A21L1、	3 x 3F
		掃除用流し	ＳＫ２２Ａ	横水栓T23AE20、Ｓトラップ、	1 x 3F
		洗面器	Ｌ５２５ＲＣＵ	はめ込み楕円形洗面器（フレーム式）立水栓TLC11、Ｓトラップ、	2 x 3F
		化粧鏡	ＹＭ３５４５Ｆ	（耐食鏡）参考寸法 350 x 450	2 x 3F
１・２・３	増築 児童 女子便所	洋風便器	ＣＦＳ４６９HNS	フラッシュ弁TV560CP、暖房便座、床フランジ、紙巻器TS116WR、	4 x 3F
		掃除用流し	ＳＫ２２Ａ	横水栓T23AE20、Ｓトラップ、	1 x 3F
		洗面器	Ｌ５２５ＲＣＵ	はめ込み楕円形洗面器（フレーム式）立水栓TLC11、Ｓトラップ、	2 x 3F
		化粧鏡	ＹＭ３５４５Ｆ	（耐食鏡）参考寸法 350 x 450	2 x 3F
１・２・３	増築 廊下 水飲	ホーム水栓	Ｔ２００ＳＮＲ13	(13-F7)	6 x 3F
		化粧鏡	ＹＭ３５４５Ｆ	（耐食鏡）参考寸法 350 x 450	6 x 3F

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図		設計名称	図面内容	機械設備 機器表・器具表	図面番号	Ｍ－０２ 枚ノ内
製図		平成24年度日吉台小学校校舎増築工事	縮尺	1/100	設計番号	
日付	平成25年1月					

配置図 1/500

桝リスト 工場製品９００φ：片面斜壁600φ x 900φ x 600L、泥溜150H、

	桝 No.	種 別・接続管径		下流側管底（mmH）	蓋 種 別	備 考
既 設	Ｐ－０	ため桝（RC工場製品）	６００□	７００		内部清掃のみ
既 設	Ｐ－１	ため桝（RC工場製品）	６００□	1,１００		プール水抜弁BV150設置済、桝底改修
既 設	Ｐ－２	ため桝（RC工場製品）	６００□	1,３００		
新 設	Ｐ－３	ため桝（RC工場製品）	９００φ	1,４００	ＭＨＡ	
新 設	Ｐ－４	ため桝（RC工場製品）	９００φ	1,４５０	〃	
新 設	Ｐ－５	ため桝（RC工場製品）	９００φ	1,５５０	〃	
既 設	Ｐ－６	雨 水 接 続 桝	９００φ接続	1,６５０		
		ため桝（RC工場製品）	実管底	4,４７０		

特記事項

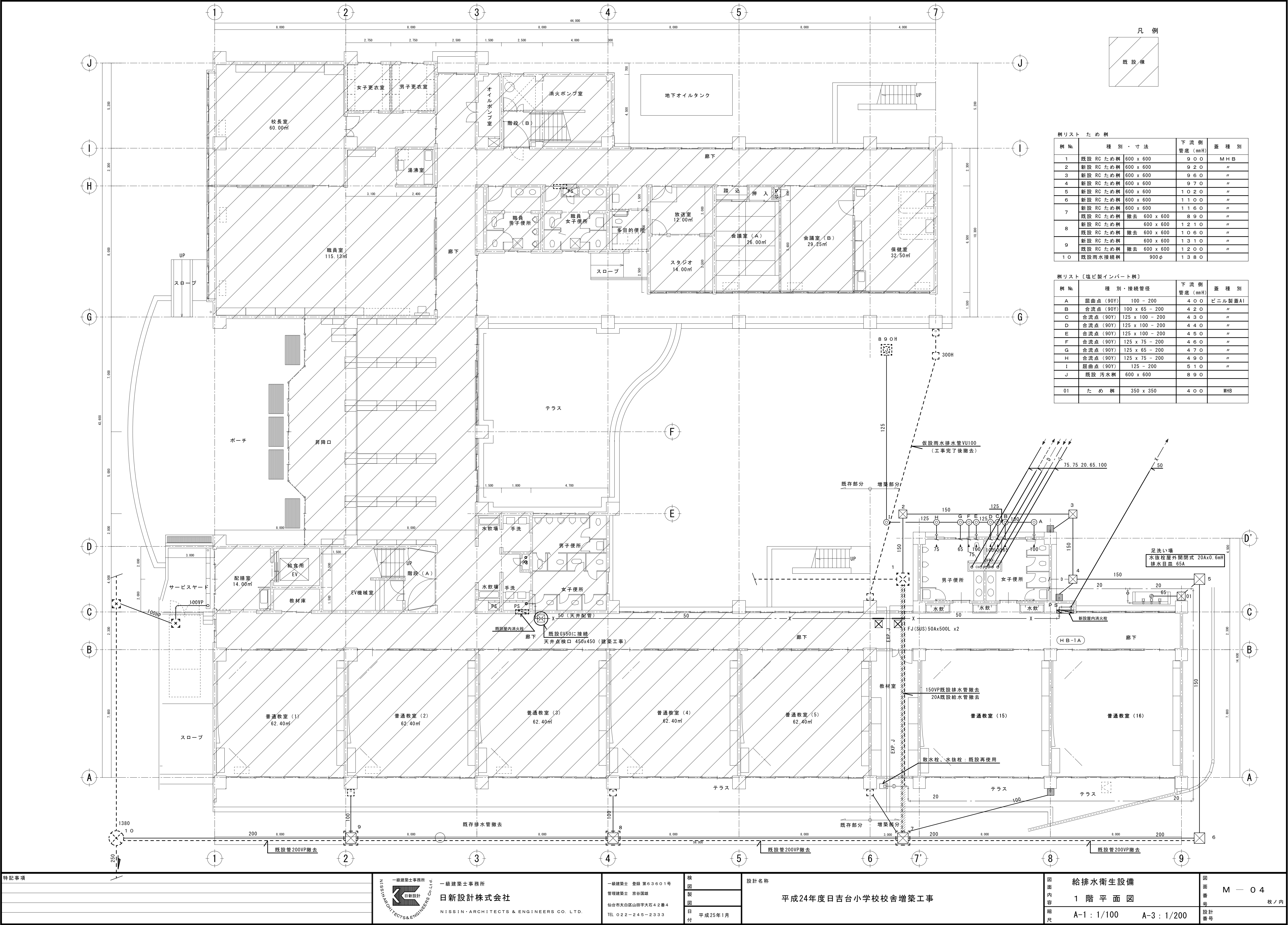
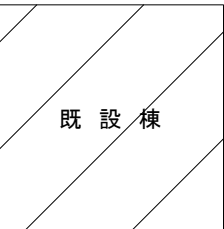
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称 平成24年度日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 配置図
縮尺 1/500

図面番号 Ｍ －０３
枚ノ内
設計番号

桝リスト　ため桝

桝 No.	種別・寸法		下流側管底（mmH）	蓋種別
1	既設 RC ため桝	600 x 600	９００	ＭＨＢ
2	新設 RC ため桝	600 x 600	９２０	〃
3	新設 RC ため桝	600 x 600	９６０	〃
4	新設 RC ため桝	600 x 600	９７０	〃
5	新設 RC ため桝	600 x 600	１０２０	〃
6	新設 RC ため桝	600 x 600	１１００	〃
7	新設 RC ため桝	600 x 600	１１６０	〃
	既設 RC ため桝	撤去 600 x 600	８９０	〃
8	新設 RC ため桝	600 x 600	１２１０	〃
	既設 RC ため桝	撤去 600 x 600	１０６０	〃
9	新設 RC ため桝	600 x 600	１３１０	〃
	既設 RC ため桝	撤去 600 x 600	１２００	〃
１０	既設雨水接続桝	900φ	１３８０	

桝リスト〔塩ビ製インバート桝〕

桝 No.	種別・接続管径		下流側管底（mmH）	蓋種別
A	屈曲点（90Y）	100 - 200	４００	ビニル製蓋AI
B	合流点（90Y）	100 x 65 - 200	４２０	〃
C	合流点（90Y）	125 x 100 - 200	４３０	〃
D	合流点（90Y）	125 x 100 - 200	４４０	〃
E	合流点（90Y）	125 x 100 - 200	４５０	〃
F	合流点（90Y）	125 x 75 - 200	４６０	〃
G	合流点（90Y）	125 x 65 - 200	４７０	〃
H	合流点（90Y）	125 x 75 - 200	４９０	〃
I	屈曲点（90Y）	125 - 200	５１０	〃
J	既設 汚水桝	600 x 600	８９０	
01	ため桝	350 x 350	４００	MHB

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第６３６０１号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図	
製図	
日付	平成25年1月

設計名称：平成24年度日吉台小学校校舎増築工事

図面内容	給排水衛生設備 1階平面図	図面番号	Ｍ－０４ 枚ノ内
縮尺	A-1：1/100　A-3：1/200	設計番号	

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付 平成25年1月

設計名称 平成24年度日吉台小学校校舎増築工事

図面内容 給排水衛生設備 2階平面図

縮尺 A-1：1/100 A-3：1/200

図面番号 M－05

枚ノ内

設計番号

集中制御操作部仕様

		仕様
電源		AC100V 50/60Hz
操作方法		タッチパネル
接続可能台数		32台/系統×8系統　最大256台
伝送距離		2000m以内/系統
伝送線		2芯シールド線
タイマー	ON/OFF設定回数	15回/日
	最小単位	1分
グループ制御機能		MAX：20グループ
温度設定・監視		有り
年間スケジュール機能		有り
週間スケジュール機能		有り
グループ別運転設定		有り
全機運転監視モニター		有り
運転情報		・エラー履歴
		・各暖房機の燃焼時間
		・各暖房機の消費電力
		・各暖房機の灯油消費量

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
PC-1	パネルコンピューター	PC-A001	装置付属品
PC-2	分配器	PC-B001	装置付属品
PC-3	警報入力	PC-C001	装置付属品

中央監視盤制御収納系統

・FF暖房器制御　パーソナルコンピュータによる監視制御

（記号凡例）

記号	種類
一点鎖線	床隠蔽配管
実線	天井内ケーブル配線
⊠	プルボックス

― 配線明細 ―

―A―
EM―KPEES1．25°　―　2C×2　（コロガシ）　FF暖房機（1階、2・3階系統）
―B―
EM―KPEES1．25°　―　2C×2　（PF22）×2　FF暖房機（1階、2・3階系統）
―C―
EM―KPEES1．25°　―　2C　（コロガシ）　FF暖房機（1階系統）
―D―
EM―KPEES1．25°　―　2C　（PF22）　FF暖房機（1階系統）
―E―
EM―KPEES1．25°　―　2C　（コロガシ）　FF暖房機（2・3階系統）
―UP―
EM―KPEES1．25°　―　2C　（PF22）　FF暖房機（2・3階系統）

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022－245－2333

検図
製図
日付　平成25年1月

設計名称　平成24年度日吉台小学校校舎増築工事

図面内容　計装設備　1階平面図

縮尺　A-1:1/100　A-3:1/200

図面番号　M － 14　枚ノ内

設計番号